

令和4（2022）年度決算  
主要施策等に関する報告

## 【一般会計】 2 款 総務費

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	政策推進事業			決算書 掲載ページ	110
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	7,463		0	1	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,462
目 的	多様化、高度化する行政課題に対して、的確に対応し政策の推進を図る。				
取組内容・実績	地域エネルギー会社の方向性、DXの推進方法、指定管理者制度の在り方、じよんのび村の経営再建及びパブリック・サービスの在り方などについて、政策コンサルティング業務の委託先である株式会社経営共創基盤と打合せを8回行い、専門家の知見を得た。				
成 果	本市の重要課題に対して専門家の知見を取り入れて、政策を推進することができた。また、打合せの場に担当課の職員が積極的に参加することで、職員としての資質向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	目まぐるしく変わる情勢に対応するため、今後も専門家の知見を取り入れながら、適切な政策推進を図っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	無料法律相談事業			決算書 掲載ページ	110
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	総務課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	1,056		0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,056
目 的	市民の法的課題解決のニーズに対応し、市民向けの弁護士相談の機会を設ける。				
取組内容・実績	毎月第1から第4までの水曜日の午後30分×4回の無料法律相談の機会を設け、市民178人が利用した。				
成 果	市内に事務所を持つ5人の弁護士に相談することができる身近な相談窓口として、家庭、地域社会、職場等における市民の様々な法律問題の解決に寄与した。				
課題・今後の方向性	予約が集中する時期があることから、予約の状況によっては、他の相談機関を紹介するなど、相談希望者が早めに相談できるように対応していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	職員採用・職員管理経費			決算書 掲載ページ	114
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,661		10,739	0	3,922
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	22	10,717
目 的	業務量に見合った適正な組織を構築するため、公平公正な職員採用試験を行い、優秀な人材を確保する。				
取組内容・実績	対面5回、オンライン2回の合同企業説明会に参加し、111人の学生が参加した。また、職員採用試験を5回実施し、計220人が受験した。 障がい者の雇用率向上のため、全庁における業務切り出し調査を行い、福祉事業所から3人の職場実習生を受け入れた。				
成 果	公平公正な職員採用試験を実施し、33人の新採用職員を確保することができた。また、障がい者雇用においては、職場実習終了後、1人を非常勤職員として任用した。				
課題・今後の方向性	より優秀な人材を確保するために、市職員として働くことの魅力を積極的にPRしていく必要がある。また、障がい者雇用においては、全庁的な理解を深めるとともに、職場実習生の受入れを積極的に行い、正式雇用につなげていく必要がある。				

事務事業名	職員研修費			決算書 掲載ページ	114
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人事課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,405		5,517	0	1,888
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	186	5,331
目 的	社会経済情勢の変化に敏感で、その変化に対応できるスキルを持った市職員の育成を図る。				
取組内容・実績	全ての職員に対しeラーニングを実施したほか、カスタマーハラスメント研修、子育て支援・女性活躍推進研修などの内部研修を実施した。また、外部研修では市町村総合事務組合等の開催する階層別研修のほか、より高度な知識を習得するための専門研修に参加した。そのほか、次期リーダーの育成を目的として柏崎リーダー塾に参加した。				
成 果	研修の受講により、事務の基礎知識や職位別に求められるスキルの習得のほか、社会情勢の変化への対応や、多様な働き方に対する意識改革につなげることができた。				
課題・今後の方向性	柏崎市人材育成指針に掲げる目指す職員像「柏崎市民のため、将来にわたるまちの持続的発展のために、使命感、責任感及び先見性を持った行動力のある職員」を育成するためには、今後も研修の受講等による職員一人一人の資質の向上が求められるが、研修で得た知識を受講した職員だけが享受するのではなく、職場内で共有できる仕組みづくりを整える必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	帰国家族支援事業			決算書 掲載ページ	116
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	125		22	0	103
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	22
目 的	拉致問題の早期解決に向け、拉致被害者関係市連絡会（柏崎市・佐渡市・福井県小浜市）を開催し、未帰国者の早期帰国実現や拉致問題の風化防止に取り組む。				
取組内容・実績	7月20日関係市連絡会をオンラインで開催し、11月8日に3市長が松野拉致問題担当大臣に拉致問題の早期解決を直接訴えた。あわせて、米国大使館でナイリン公使に支援要請と大使の拉致現場視察を要望した。拉致問題の風化防止では、新潟県などとの共催による巡回パネル展や映画上映会を市立図書館で実施した。				
成 果	ナイリン公使による新潟市と佐渡市の拉致現場視察が3月に実現できた。また、巡回パネル展及び映画「めぐみへの誓い」を同会場で開催したことで、拉致事件の実態や拉致問題の解決に向けた機運の醸成を図ることができた。				
課題・今後の方向性	拉致被害者及び御家族に残された時間は限りがある。関係市連絡会では、日朝首脳会談の早期実現に向けた政府への要望や北朝鮮に影響力を持つ関係国への支援要請を継続するとともに、拉致問題の風化防止に取り組む必要がある。				

事務事業名	男女共同参画啓発事業			決算書 掲載ページ	116
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,087		3,007	0	80
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	7	3,000
目 的	男女が互いの人権を尊重して認め合い、性別に関わりなく、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。				
取組内容・実績	かしわざき男女共同参画推進市民会議と連携し、講演会やセミナーの開催、機関紙の発行等による啓発活動を行った。 DV防止関連では、DV防止・被害者支援のための講演会を開催し、児童クラブ関係職員39人が参加した。デートDV予防啓発講座を高等学校4校及び中学校1校で開催し、543人が受講した。				
成 果	講演会では「性の在り方と多様性」をテーマにすることで、多様性社会の必要性に対する新たな気付きにつなげることができた。デートDV予防啓発講座については、様々な事象が低年齢化する状況において、中学生を対象に加え試行的に実施したことで、低年齢層でも講座の実施が可能であることが確認できた。				
課題・今後の方向性	家事・育児等の無償労働時間の女性への偏りや長時間労働を前提とした労働慣行、固定的な性別役割分担意識といった生活や意識に根ざした問題を解決するため、各種事業を継続的に実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業			決算書 掲載ページ	118
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	284		135	0	149
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	135
目 的	市民一人一人が、やりがいや充実感を持って働き、仕事上の責任も果たしながら、同時に子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等に係る個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。				
取組内容・実績	事業所訪問を通じ、ワーク・ライフ・バランスの向上に向けた各種制度等（多様な働き方による企業の魅力アップ支援事業の活用によるコーディネーター派遣制度、ハッピー・パートナー企業制度、助成金制度）の周知を行った。 ワーク・ライフ・バランス関連セミナーとして開催した「男性の育児休業と家庭内の役割分担について考えよう」には事業所の管理担当者等15人が、「女子大学生のための私らしい生き方・働き方セミナー」には、新潟産業大学の女子大学生6人が参加した。家事シェアリーフレットを活用し、家庭内の役割分担に関する啓発を行った。				
成 果	市の働き掛けにより、コーディネーター派遣事業に1社の応募があり、専門家による課題解決策の検討等、具体的な支援につなげることができた。ハッピー・パートナー企業に新たに2社が登録し、働きやすい環境の職場が増加している。 「女子大学生のための私らしい生き方・働き方セミナー」では、結婚や出産による離職が自身のキャリア形成に大きく関わることを伝えることで、進路選択の重要性に気付きを与えることができた。また、家事分担の必要性について、セミナーの内容に具体的に盛り込むことで、理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	ワーク・ライフ・バランスに対する理解が深まり、働きやすい環境の整備が進むよう、各種制度の周知やセミナーの開催など、継続的な意識啓発活動の推進が必要である。				

事務事業名	人権擁護事業			決算書 掲載ページ	118
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,223		1,221	0	1,002
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	300		0	0	921
目 的	柏崎市人権教育・啓発推進計画に基づき、様々な分野における人権意識を向上させ、差別やいじめのない安心して暮らせるまちづくりを推進する。				
取組内容・実績	柏崎市人権教育・啓発推進協議会による協議、検討を受けて、令和5（2023）年3月に柏崎市第二次人権教育・啓発推進計画を策定し、公開した。 若年層に対する拉致問題啓発事業（蓮池薫さんによる中学生向け講演会）は5年目を迎え、市内中学校3校で実施し、生徒・職員の367人が参加した。 児童虐待防止をテーマに人権講演会を開催し、市民のほか学校、保育園関係者など106人が参加した。また、人権擁護委員協議会、保護司会などへ負担金を支出し、その活動を支援した。				
成 果	計画期間を令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とする第二次人権教育・啓発推進計画を策定し、今後の施策を示すことができた。 蓮池薫さんによる講演会は、拉致問題の風化防止にとどまらず、人権意識向上の学習としても有意義なものとなった。 人権講演会（児童虐待防止）では、「子どもの人権について改めて教えていただいた」など、人権問題についての関心・理解が深まったとする回答が9割を超え、人権啓発に効果があった。				
課題・今後の方向性	柏崎市第二次人権教育・啓発推進計画を周知し、人権尊重が当然のこととして受け入れられる地域社会の実現に向け、法務局や各種団体と連携して取組を推進する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-1 平和に関する意識啓発を進める

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	核兵器廃絶平和推進事業			決算書 掲載ページ	118
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	人権啓発・男女共同参画室	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	169		139	0	30
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	139
目 的	核兵器廃絶平和都市宣言の趣旨にのっとり、平和を愛する世界の人々とともに、未来を担う子どもたちと美しいふるさとのために、市民一人一人が平和の実現に向けて努力できるよう平和意識の醸成を推進する。				
取組内容・実績	満州柏崎村の塔の前に献花台を設置し、8月6日から16日までの11日間に87人が献花した。柏崎市平和教育パンフレットを作成し、市内中学校2年生587人に配付した。第一中学校、第二中学校、鏡が沖中学校及び南中学校の4校を対象に被爆写真パネルを用いた巡回パネル展を開催した。広報かしわざきに平和意識の醸成を図る記事掲載を行った。				
成 果	平和教育パンフレットの配布により、修学旅行先が広島市の中学校においては事前学習の補足資料として、また、全中学校においては社会科の学習資料として活用することで、市内外の戦争に関連する知識を深めることができた。 満州柏崎村の塔前に献花台を設置することにより、満州柏崎村の建設に携わり戦争の犠牲となった方々の悲惨な体験を風化させないことにつなげることができた。 広報かしわざきへの記事掲載により、幅広い対象に向けて平和について考えるきっかけを作ることができた。				
課題・今後の方向性	戦争の体験者の高齢化が進行し、一方で若い世代における戦争の悲惨さ、平和の尊さに対する認識が希薄になりつつある。核兵器に特化した内容だけではなく、戦争全体の恐ろしさ、平和の尊さについて考える機会を提供するなど、平和意識の醸成を継続して進める必要がある。				

事務事業名	市政協力費			決算書 掲載ページ	122
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	01	一般管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	59,710		59,406	0	304
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	54,446		0	0	4,960
目 的	市が発行する広報紙や回覧・チラシ等を各世帯へ配布する業務を町内会にお願いすることにより、効率的な配布を行う。				
取組内容・実績	市内304町内会に四半期ごとに支払った。支払基準は世帯数に応じた「世帯割」、町内規模に応じた「平均割」によって算出し、支払を行った。				
成 果	市政情報の適正な提供と市政運営に関する町内会の意向集約について協力を得ることができた。				
課題・今後の方向性	市政協理事務費支払額の見直しについては、各町内会から御理解をいただいております。令和6（2024）年度から完全実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-3 公共施設を総合的かつ計画的に管理・運営する

事務事業名	PR戦略事業			決算書 掲載ページ	130
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	02	文書広報広聴費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,639		7,323	0	316
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	8	7,315
目 的	タイムリーな情報発信による市民生活の安全・安心の確保、市政に対する関心や理解とシビックプライドの向上を目的に、ホームページやSNSを活用して行政からの情報入手環境の整備と充実を図り、積極的な情報発信を行う。また、プロモーションツールとして市勢要覧を活用し、本市の認知度向上を図る。				
取組内容・実績	市政情報、子育てや医療など暮らしに関わる情報、観光・イベント情報などをアクセシビリティに配慮してホームページにおいて発信した。また、SNSでも、防災情報やイベント情報などを適時発信した。LINE登録のPRに努め、令和4（2022）年度末の友だち数は前年比241%増の11,768人であった。さらに、市の“今と未来”をタイムリーに発信するため市勢要覧を制作した。				
成 果	インターネットによる情報提供の充実に努めることで、タイムリーな情報の提供、情報の拡散により、本市の認知度の向上などを図ることができた。 市勢要覧を配付することで、歴史・伝統を大切にしながら、これまでにない発想を持ち果敢に挑戦し続けている市の魅力を発信することができた。				
課題・今後の方向性	情報入手手段が多様化する中、年代によって情報を入手する手段が異なる傾向があることから、それぞれの特性を踏まえ、全ての年代が必要な情報を入手できるよう、効果的な情報発信の手段を検討する必要がある。特にLINEの機能拡張と、多くの方にとっていただけるようなPRを実施する。				

事務事業名	未利用地利活用事業			決算書 掲載ページ	136
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	財政管理課	
目	05	財産管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	17,431		15,897	0	1,534
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	15,897
目 的	大規模未利用地の利活用を進める。				
取組内容・実績	令和3（2021）年度及び令和4（2022）年度で取得した旧鯨波公園用地について、用地測量及び土壌汚染調査を実施した。				
成 果	用地測量の実施により、土地の境界を明確にすることができた。また、土地の地歴を調査したことにより、土壌汚染の物質とその範囲を把握することができた。				
課題・今後の方向性	土地の地歴調査により把握した土壌汚染について、試料採取及び分析を実施し、汚染範囲などを特定する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-2 大学を活かし『柏崎らしさ』をはぐくむ
	⑤-2-1 地（知）の拠点を活かした取組を進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-1 市民力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	大学との連携・協働事業			決算書 掲載ページ	138
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,967		10,809	0	1,158
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	10,809
目 的	市内2大学の魅力づくりや認知度の向上により、入学者の減少を抑制し、若者の活力によるまちづくりを目指す。				
取組内容・実績	市内2大学に対して、学生募集支援補助金を交付した。また、新潟工科大学に対して、産学交流会奨学金柏崎枠分の寄附を行った。				
成 果	学生募集支援補助金の交付により、令和5（2023）年度は、市内2大学合計195人の入学に寄与することができた。また、産学交流会奨学金への寄附により、令和4（2022）年度は、対象者のうち、3人の市内企業等への就職が内定となった。しかしながら、両大学への入学者数は減少傾向にあり、また、卒業後の市内に就職する割合は低い水準が続いている。				
課題・今後の方向性	入学者数が減少していることから、より効果的な支援の方法を市内2大学と協議する必要がある。また、市内就職率が低い状況であることから、人材確保及び移住定住の観点から対応策を検討する必要がある。				

事務事業名	柏崎リーダー塾事業			決算書 掲載ページ	138
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,000		4,000	0	0
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,000
目 的	産業界、大学、行政が連携し、地域課題の解決に取り組む次世代リーダーを育成する。				
取組内容・実績	令和3（2021）年度から継続の第5期生13人に対し、研修カリキュラムを実施した。研修の集大成として、成果発表会を行い、全員が卒業した。				
成 果	地域活動の中で様々な課題に取り組む人材を育成することができた。				
課題・今後の方向性	回を重ねるごとに入塾者数が減少傾向にあるため、運営協議会で塾生の募集や事業の周知について検討し、次期に向けた準備を進める。				



第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-1 持続可能な公共交通ネットワークを構築する

事務事業名	路線バス等確保事業			決算書 掲載ページ	140
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	138,999		131,986	0	7,013
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	460	131,526
目 的	交通事業者などへのバス運行経費の補助や利用促進の取組により、公共交通を確保する。				
取組内容・実績	西山町地域内交通「にしやま号」の利便性を高めるため、4月に事前予約制ドアツードア方式に再編を行い、前年度8.45人であった1日当たりの利用者数が17.70人となり、大幅に増加した。また、市内西部地区のバス路線である米山台福祉センター線、赤坂山公園線を新潟病院線に統合し、運行の効率化と財政負担の軽減を図った。上米山地区では、10月末でバス路線が区間廃止となったことから、その代替交通として「たんねはなも号」を新規運行し、収支率は目標5.00%を上回る6.33%となった。				
成 果	交通空白地が新規発生しておらず、地域公共交通ネットワークを維持することができた。また、利用が少ない路線バスの便の統合等を行い、運行の効率化を図ることにより、財政負担の軽減につなげることができた。				
課題・今後の方向性	運転士不足などにより、路線バスの減便に歯止めがかかっておらず、廃線の可能性がある路線が存在している。このことから、効率的な運行により、地域住民の生活を確保していくため、令和5(2023)年度にA1新交通「あいくる」を新規運行する。				

事務事業名	鉄道等活性化事業			決算書 掲載ページ	140
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,102		1,927	0	175
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,927
目 的	鉄道事業者などへの要望や、信越本線の魅力発信を行うことにより、鉄道の利便性向上を推進する。				
取組内容・実績	利便性の向上や冬季間における安定運行などの実現のため、JR東日本新潟支社に対して、要望活動を実施した。特急しらゆきの利用回復・利用促進を図るため、特急しらゆきプレゼントキャンペーンを実施し、延べ169人の応募があった。また、市内の方々に柏崎と信越本線の魅力を感じていただくため、「柏崎と信越本線満喫ツアー」を実施し、33人(市民19人、市外14人)から参加いただいた。				
成 果	令和5(2023)年3月のダイヤ改正により、信越本線と上越新幹線間において、2本の列車の接続性が向上し、東京方面への移動における利便性が改善された。				
課題・今後の方向性	令和4(2022)年3月に減便された特急しらゆきの運行本数の回復に向けて、引き続き、JR東日本に対して要望活動を行っていくとともに、利用回復に向けた施策を実施する必要がある。また、利用が少ない路線として公表された越後線の柏崎-吉田間の運行維持に向けて、新潟県や沿線自治体と連携した取組を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	次世代エネルギー活用推進事業			決算書 掲載ページ	142
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	44,792		42,883	0	1,909
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	42,507	376
目 的	柏崎市地域エネルギービジョンに基づき、再生可能エネルギー及び次世代エネルギーを活用した低炭素な地域社会づくりを推進する。				
取組内容・実績	再生可能エネルギー設備の導入を促進するための補助金や地域振興を図る交付金の充当について国県と協議したほか、陸上風力発電の導入可能性を見据えた風況調査を市内西部地区で実施した。また、再生可能エネルギーに係る理解促進講座を2回実施し、約120人が参加した。				
成 果	公共施設への太陽光発電設備や地中熱発電設備の導入により、エネルギーの脱炭素化を進めることができた。また、学生向け講座を開催し、再生可能エネルギー利活用の周知啓発及び理解促進を図ることができた。市内西部地区の風況調査では、陸上風力発電の事業性は見込まれない結果となった。				
課題・今後の方向性	脱炭素のまちの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入拡大を促す施策の検討に加えて、再生可能エネルギー導入の意義や地域エネルギー会社の役割など市民に向けた周知啓発を推進する。				

事務事業名	地域エネルギー会社連携事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,024		28,992	0	2,032
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	28,591		0	0	401
目 的	地域エネルギー会社と連携した事業の展開により、再生可能エネルギーや次世代エネルギーを活用した地域社会づくりの実現を目指す。				
取組内容・実績	公共施設や遊休市有地を活用した再生可能エネルギー発電の導入可能性調査を実施し、地域エネルギー会社との連携を踏まえた、次年度の発電所建設の準備を進めた。				
成 果	公共施設や遊休市有地の再生可能エネルギーの導入可能性調査により、地域エネルギー会社の電源開発用地として、遊休市有地を利活用する方向性を導き出した。				
課題・今後の方向性	地域への脱炭素エネルギーの安定供給を目指して、発電容量の大きい再生可能エネルギー等を設置できる遊休市有地の活用を踏まえた再生可能エネルギー導入可能性調査を継続的に実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	環境・エネルギー産業拠点化推進基金積立金			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,194		1,417	0	1,777
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,417	0
目 的	環境・エネルギー産業の集積や低炭素エネルギーネットワークの拠点化の推進に向けて、環境・エネルギー産業拠点化推進基金の適正な運用及び管理を行う。				
取組内容・実績	再生可能エネルギー発電設備の設置及び次世代エネルギー活用推進に向けた基金運用・管理を行った。				
成 果	再生可能エネルギーの導入可能性を見据えた風況調査と整備工事に基金を活用した。				
課題・今後の方向性	再生可能エネルギー導入に係る環境整備などへの基金活用や国などの補助金動向を見極めながら検討を進める。				

事務事業名	再生可能エネルギー発電設備設置事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	電源エネルギー戦略室	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	744,749		409,850	327,200	7,699
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	363,573		0	46,277	0
目 的	市が設置した再生可能エネルギー発電設備で発電した電力を、地域エネルギー会社を通じて地域に供給することにより、エネルギーの地産地消を推進する。				
取組内容・実績	国の補助金を活用して、遊休市有地2か所で太陽光発電設備と蓄電池の整備工事を行い、太陽光発電所として遊休市有地の利活用を推進した。				
成 果	公共施設への再生可能エネルギー自己託送供給を行う太陽光発電設備と蓄電池の整備工事を行ったが、大雪や資材不足等の影響により、翌年度へ事業繰越を行った。				
課題・今後の方向性	地域エネルギー会社による再生可能エネルギーの円滑な導入を促進するために、市と地域エネルギー会社が連携して国補助金を積極的に活用することで再生可能エネルギーの電源開発を推進する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	ふるさと応援事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	263,268		212,011	0	51,257
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	212,011
目 的	柏崎出身者や縁のある人のみならず、ふるさと納税制度を通じた寄附者とのつながりをつくり「柏崎の応援者」を獲得する。また、ふるさと納税の仕組みをいかし、柏崎市の資源を活用した商品開発や新たな地場産品の掘り起こしを行う。				
取組内容・実績	新たな寄附者層の獲得に向け、各種イベントで7月にリニューアルしたパンフレット等を用いて積極的な周知を行った。また、返礼品提供事業者の新規開拓及び新たな返礼品の掘り起こしを行い、登録事業者を18件、返礼品を222品増やし、返礼品のラインナップを強化した。その結果、多くの方から寄附をいただき、寄附件数は16,332件、寄附額は398,210,230円となった。				
成 果	ふるさと納税の寄附件数及び寄附金額が共に過去最高となり、柏崎の資源を活用した返礼品を多くの方に届けることができ、本市と寄附者の「縁」を広げることができた。また、リピーターの実数は前年度から267人増え、3,226人となり、繰り返し柏崎を応援していただける方を増やすことができた。				
課題・今後の方向性	返礼品は農産物が中心であるが、生産量が天候などに左右されやすいため、その影響を受けにくい工業製品など、ものづくり分野の返礼品開拓とその認知度を更に高めていくようなPR活動が必要である。 このため、産業振興部局などと連携し、情報を共有するとともに、柏崎の地域資源や地場産品を更にPRし、柏崎ブランドの確立につなげる。				

事務事業名	柏崎シティセールス推進事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,383		653	0	730
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	653
目 的	柏崎ファンクラブを活用し、市内外に柏崎の魅力を発信しながら認知度の向上を推進する。また、会員同士のネットワークを構築し、柏崎をキーワードとした“つながり”を創造することで、会員が柏崎との関係性をより深めていくことを目指す。				
取組内容・実績	柏崎シティセールス推進協議会が令和4(2022)年3月末をもって解散したため、令和4(2022)年度から同ファンクラブの運営を本市が引き継いだ。ファンクラブ事務局としてホームページやSNS、メールマガジンを定期的に配信し、全国の会員に柏崎の「今」を伝えるとともに、会員が柏崎に触れる機会を広げるため「会員特典Premium」の再周知を図った。				
成 果	柏崎ファンクラブには、新たに1,058人の方から入会いただき、会員数は47都道府県に合わせて11,365人を有するに至った。また、会員発案で、ぎおん柏崎まつり海の大火火大会で有志による花火打ち上げプロジェクトが立ち上がるなど、会員の自主的・主体的な活動も生まれ始めた。				
課題・今後の方向性	柏崎の魅力をSNSなどで広く発信するとともに、柏崎ファン獲得に向けた様々なプロモーション活動が必要である。また、柏崎ファンクラブ会員が主体的かつ自主的に活動する機運を醸成するため、交流会の開催など会員同士のネットワーク構築のきっかけを創出する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	U・Iターン促進事業			決算書 掲載ページ	144
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	元気発信課	
目	06	企画費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	36,389		26,151	0	10,238
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,438		0	5	24,708
目 的	移住を考えている方、学生、若者に対し、移住・定住のための相談対応や支援を行い、一人でも多くの方から柏崎に定住してもらうことを目指す。				
取組内容・実績	柏崎市U・Iターン情報ステーション、ふるさと回帰支援センター窓口及び各種イベント出展などを行い、移住を検討している方に寄り添った相談対応を合計で90件実施した。また、柏崎に移住・定住した方に住宅家賃などに対する補助金・助成金を180件、17,028千円交付した。 市民、事業者、行政が連携して移住・定住に取り組むため、「柏崎市移住・定住推進パートナーチーム」を設置した。				
成 果	移住ガイドやオリジナル動画を活用するとともに、他課と連携することにより、移住相談者のニーズに合わせた対応を行うことができた。また、U・Iターン関連補助金の交付により、学生や若者の移住・定住を促進した。 パートナーチームから提出された「施策提案書」に対して、全庁的にその実現の可能性を検討し、令和5（2023）年度に連携して取り組む事業を決定した。				
課題・今後の方向性	市内企業の求人情報、特に女性の就職先の情報、子育て支援などの暮らしに直結する情報発信の強化が必要である。そのため、移住支援制度、市内企業の採用情報、柏崎での暮らしの情報などを発信する移住支援サイトを開設し、移住のきっかけを創出する。 引き続き移住した若者等を支援することで、若者の定住促進を図る。				

事務事業名	IT戦略事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,614		7,265	0	349
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,265
目 的	外部人材である情報政策官を登用し、庁内の業務改善及び市民サービスの向上、情報産業の振興を図る。				
取組内容・実績	文書管理・電子決裁システム、行政手続オンラインシステム等の構築に対して、情報政策官から技術的助言・支援を受けた。また、情報政策官と市内情報産業事業者との意見交換を行った。				
成 果	庁内の情報システムの導入等に当たり、技術的助言を受けながら進めることで、適切に導入計画を進めることができた。また、市内情報産業事業者との意見交換を実施し、経営課題等についてアドバイスを行うことで、事業推進に寄与した。				
課題・今後の方向性	引き続き、庁内の情報システム環境の整備及び市内情報化関連企業の振興について、情報政策官の助言を受けながら進めていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	情報化関連業務総合委託事業			決算書 掲載ページ	148
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	436,934		436,671	0	263
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,899		0	6,091	414,681
目 的	柏崎市電子自治体最適化ガイドライン(平成22(2010)年度策定)に沿い、包括的なアウトソーシングによるコスト削減、業務効率化及び情報政策の推進を図る。地図情報を市ホームページで公開し、利活用を促進する。				
取組内容・実績	文書管理・電子決裁システムの調達支援、DX推進プロジェクト職員研修等の情報政策業務及び基幹系システム等の運用・保守・構築業務を実施した。				
成 果	システム調達・構築、導入、運用保守を株式会社カシックスへアウトソーシングし、コスト削減及び業務効率化を行いながら、情報政策を推進することができた。				
課題・今後の方向性	既存システムの運用・保守業務等に加えて、令和7(2025)年度移行完了を目標としている地方公共団体情報システムの標準化・共通化に向けた取組を進めていく必要がある。				

事務事業名	社会保障・税番号制度事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,168		8,634	0	534
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,634
目 的	社会保障・税番号制度の円滑な運用とマイナンバーカードを利用したコンビニ交付により利活用の促進を図る。				
取組内容・実績	令和5(2023)年1月から住民票の写し、印鑑登録証明書に加え、税関係証明書のコンビニ交付を追加した。交付件数は、6,773件となり、昨年度の3,349件から大幅に増加した。				
成 果	コンビニ交付の拡充により、市役所に行かずに証明書を取得できる環境を整備したことで、市民サービスの向上につながった。				
課題・今後の方向性	コンビニ交付による戸籍関係の証明書の交付を追加する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	情報システム標準化・共通化対応事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,493		1,452	0	41
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,452		0	0	0
目 的	国の標準仕様書に基づいた情報システムへ移行することで、デジタル処理を前提とした業務フローを整備し、システム運用経費の削減を図る。				
取組内容・実績	標準化対象業務について、システム内の文字を整理・集約する作業を行った。				
成 果	標準化対象全20業務のうち18業務について、国が指定した範囲の文字を整理・集約する作業が完了した。				
課題・今後の方向性	現行システムと標準化システムとの比較分析結果を基に、業務運用フローの見直しを進める。また、国やシステム事業者からの情報収集を継続し、遅滞なく標準化システムへ移行する必要がある。				

事務事業名	辺地共聴施設整備事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	企画政策課	
目	07	情報化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,602		15,330	0	1,272
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	15,330
目 的	地上デジタル放送に対応するための施設改修を行ってからおよそ10年が経過し、施設の老朽化が進んでいる。故障した施設の撤去修繕などに補助金を交付し、テレビ難視聴の改善と組合の負担軽減を図る。				
取組内容・実績	老朽化した共聴施設の撤去や修繕に係る費用について、12件の補助を行った。				
成 果	地上デジタル放送が良好に受信できない地域において、安定的にテレビを受信できる環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	組合員の減少に伴い、組合の維持が困難となることや、解散する組合が増えることが予想される。国に補助制度等の支援を要望しながら、今後の対応を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-2 多文化共生を進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	国際化に対応したまちづくり事業			決算書 掲載ページ	150
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	商業観光課	
目	09	国際交流費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,750		5,740	0	10
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,740
目 的	市民の国際理解を深め、市内在住外国人が安心して暮らせる多文化共生社会の構築を進めることで、柏崎地域の国際化を進める。				
取組内容・実績	公益財団法人柏崎地域国際化協会の運営に係る負担金を支出し、柏崎地域の国際化や多文化共生のまちづくりに係る事業を展開することにより、市内在住外国人への支援及び市民との交流を推進した。また、特徴的な取組として、公益財団法人新潟県国際交流協会及び公益財団法人柏崎地域国際化協会が連携し、11月10日に行政職員等に向けた「やさしい日本語でやってみよう！外国人への窓口対応」を初めて開催した。当日は、市内や近隣自治体の官民事業所職員38人が参加して、研修を行った。				
成 果	多文化理解講座等の開催により、外国人への理解を高めることができた。また、「やさしい日本語」研修会等による日本側の意識改善や、相談支援等を通じ、外国人が住みやすい環境が整いつつある。				
課題・今後の方向性	市内在住外国人への支援体制が十分とは言えない状況にあることから、相談体制の確保並びに多文化及び言語を理解する人材の育成を進めていく必要がある。また、多言語によるサービス提供には、物理的・経費的な限界があることから、「やさしい日本語」の普及・推進に取り組んでいくことも重要である。				

事務事業名	地域コミュニティ活動推進事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	141,399		137,307	0	4,092
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50,000		0	0	87,307
目 的	コミュニティセンター運営に必要な人件費に対して補助金を交付し、各振興協議会の健全な財政運営を図る。また、コミュニティ計画に基づいた事業に対して補助金を交付し、地域活動の推進を図る。				
取組内容・実績	コミュニティ管理運営事業を各振興協議会を通じて、センター長に月額58,200円、8時間主事に月額179,200円、5時間主事に月額97千円を交付した。各振興協議会の活動費として上限750千円の地域コミュニティ活動推進事業補助金を交付した。				
成 果	各振興協議会の健全な財政運営と住民主体の協働のまちづくりを推進することができた。				
課題・今後の方向性	協働によるまちづくりを推進するため、今後もコミュニティセンター運営に係る必要な人件費に対して補助金交付を継続する必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	地域で支え合う除雪支援事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,078		2,070	0	8
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,070
目 的	地域の除雪活動を支援し、助け合いと支え合いの仕組みづくりの推進を図る。また、冬期間における安全・安心な生活を確保するとともに、雪に強い地域づくりを推進する。				
取組内容・実績	自力で除雪できない世帯へ町内会等が行う除雪作業に対し、86町内会へ補助金を交付した。				
成 果	豪雪により、山間部以外でも町内会等による除雪が実施され、多くの除雪困難世帯の安全・安心な生活を確保することにつながった。また、住民同士が助け合う体制づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	各部署と連携し、状況に応じた除雪支援を通じ、地域で支え合う体制づくりの促進及び雪に強い地域づくりのため、本事業を継続する必要がある。				

事務事業名	冬期集落安全・安心確保対策事業（ソフト事業）			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,405		3,917	0	3,488
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,830		0	0	2,087
目 的	過疎化・高齢化が深刻な地域の除排雪支援を行うことで、冬期間の安全・安心なくらしを確保する。				
取組内容・実績	過疎化・高齢化が深刻な11地区16集落の雪処理対策業務を委託した。				
成 果	山間部等で雪処理が深刻な集落において、安全・安心な冬期生活の確保につながった。				
課題・今後の方向性	過疎化・高齢化が進む集落においても、冬期生活の不安が解消され、住みよい地域となるよう、本事業を継続して実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	消費者対策事業			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,194		11,789	0	1,405
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,394		0	16	8,379
目 的	消費生活センターでは、消費者保護を目的とした相談体制及び啓発事業を充実させる。また、消費者団体を支援することにより、消費生活やSDGsへの取組を活発にし、消費生活に関する教育や啓発事業への協力を得る。				
取組内容・実績	消費生活出前講座を17件400人に実施し、市民からの消費生活相談は、589件で前年度比63件の増加となった。また、消費者安全確保地域協議会代表者会議を開催し、高齢者等の見守り体制について、構成員間で情報共有を図った。				
成 果	消費生活相談員が各種研修へ参加することにより、スキルアップすることができた。また、出前講座への講師派遣によって、消費者保護や消費者教育の推進と啓発を図ることができた。				
課題・今後の方向性	関係機関との連携を強化し、市民への継続的な教育・啓発活動を実施する必要がある。特に高齢者被害防止のための見守りや成年年齢引下げに伴う若者向けの消費者教育の充実を図る。				

事務事業名	地域安全対策費			決算書 掲載ページ	152
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	41,427		27,620	0	13,807
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	7	27,613
目 的	市民の自主防犯意識の高揚を図ることにより、市民同士の連帯感のある犯罪の温床となりにくい地域づくりを目指す。				
取組内容・実績	不審者情報などを適時に市民へ情報提供する安全防犯情報メールの登録者は4,629件、LINEの登録者は1,721件、合計では、6,350件で前年度比717件増加した。また、地域で支える仕組みづくりを強化するため、防犯リーダー養成講座を開催し、29人の受講者（うち19人が新規受講者）があり、これまで173人の防犯リーダーを育成した。				
成 果	関係機関や各団体と連携し、防犯意識の啓発活動を実施したことにより、地域安全活動の推進と防犯意識の高揚が図られ、刑法犯認知件数が対前年比32件減少して232件となった。				
課題・今後の方向性	「ながらの目」による地域全体での見守り活動や安全防犯情報メールの登録者拡大を図り、犯罪の抑止に資することが必要である。防犯に関する広報啓発活動の充実や地域防犯活動を支える人材の育成などを関係団体と連携しながら実施する。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	コミュニティセンター整備事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	117,814		100,979	0	16,835
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	90,000		0	0	10,979
目 的	環境に配慮した発電設備として、太陽光発電設備の整備を推進する。				
取組内容・実績	半田コミュニティセンターにおいて、屋上防水改修工事及び太陽光基礎設置工事を行い、33kwh相当のリチウムイオン電池付太陽光発電設備システム一式を設置した。				
成 果	太陽光発電設備の設置により、環境に配慮したコミュニティセンター施設を増やすことができた。				
課題・今後の方向性	今後も環境への負担の少ないコミュニティセンター施設の設置を推進する必要がある。				

事務事業名	地域おこし協力隊活用事業			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,001		1,674	0	327
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	393		0	0	1,281
目 的	地域等の課題を明確化し、地域と行政が目的や目標の共有を図ることで、地域おこし協力隊を受け入れるための環境を整備する。また、インターン事業を通じて地域等が外部人材の受入経験を積み、現地体験により希望者と受入地域との適切なマッチングを図る。				
取組内容・実績	2地域・1団体が隊員の募集を行い、おためし地域おこし協力隊（現地体験）を3回実施し、4人が参加した。その後、3人から応募があり2人を採用決定した。また、西山地区でインターンを実施し、4人を受け入れた。				
成 果	おためし地域おこし協力隊を経て、地域おこし協力隊に3人の応募があり、年度内に2人の採用決定につながった。 西山地区では、インターンの受入れにより、地区の魅力が再確認された。				
課題・今後の方向性	地域力の維持・向上のため、外部人材を受け入れ、地域の課題解決を図ろうとする意欲のある地域を掘り起こしていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-2 地域力が発揮できる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-2 持続可能な市民力と地域力をはぐくむ
	⑥-2-1 市民力が発揮できる環境を充実させる

事務事業名	地域おこし協力隊活動経費			決算書 掲載ページ	156
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,785		10,246	0	11,539
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	17	10,229
目 的	地域などの主体的な取組を支援し、地域力の維持と向上を図る。また、若者などの地方での意欲的なチャレンジを支援し、まちを支える人材の育成に努める。				
取組内容・実績	2地域・1団体で4人の隊員が活動を行った。また、隊員が円滑に活動できるようサポート体制を構築し、関係者等と連携して支援を行った。				
成 果	2地域・1団体で4人の隊員が、地域等の活性化・課題解決等のために活動に取り組み、地域力の維持・向上につなげることができた。				
課題・今後の方向性	新たに着任する隊員が、地域で円滑に活動することができるよう、サポート体制の構築と支援に取り組む必要がある。				

事務事業名	地域おこし協力隊定住定着支援事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,420		5	0	1,415
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5
目 的	任期終了後において、起業・事業承継、就業などで柏崎市に引き続き住み続ける地域おこし協力隊を支援し、定住・定着を促進する。また、地方での意欲的なチャレンジを支援し、柏崎市を支える人材を創出する。				
取組内容・実績	任期終了し、市内に定住した隊員1人に対し、家賃支援を行った。				
成 果	任期終了した隊員1人が市内に定住し、地域活動等に引き続き携わっている。				
課題・今後の方向性	任期終了する隊員が市内に定住・定着できるよう、補助金の活用を視野に引き続き支援する。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	地域防災力向上支援事業			決算書 掲載ページ	158
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	10	市民活動振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,524		5,012	0	512
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	633		0	2,619	1,760
目 的	防災士の養成とスキルアップのための支援、地域防災の専門家による知識の伝授や技術的な支援などを通じて、自主防災組織と地域で活躍する防災士を育成し、地域防災力の向上を図る。				
取組内容・実績	防災の知識を有する「防災士」を育成する防災士養成講座を開催し、30人が新たに資格を取得した。また、防災士のスキル向上のためのフォローアップ研修会を2回開催し、延べ73人が参加した。 自主防災組織等への活動支援として防災出前講座を全50回実施し、延べ1,130人が参加した。				
成 果	防災士養成講座の開催により、地域防災の中心的な役割を担うリーダーを育成することができた。また、各事業において防災士の参加を促すことで、知識の習得や意識啓発だけでなく、地域防災力の向上に向けた体制づくりにつながった。				
課題・今後の方向性	防災に女性の視点を取り入れるために、防災士資格の取得や出前講座に女性の参加を促す必要がある。				

事務事業名	交通安全対策事業			決算書 掲載ページ	160
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	市民活動支援課	
目	11	交通安全対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,595		10,776	0	819
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,749	9,027
目 的	市民参加の体験・実践型の交通安全活動を行うことにより、柏崎市交通安全計画の目標である「年間の交通事故発生件数を減少させることにより、交通事故による死者数ゼロ」を目指す。				
取組内容・実績	関係機関や関係団体と連携し、交通安全標語・川柳&ポスターコンテストや飲食店への飲酒運転追放の呼びかけなどを実施した。また、交通安全教室を園児対象に28園、卒園児対象に31園、自転車教室を小学校19校、中学校3校、歩行指導を小学校18校、高齢者対象を15回実施した。				
成 果	過去10年で見れば、交通事故件数は減少傾向にあるが、令和4(2022)年の状況は、発生件数67件、死者数1人、負傷者数76人であり、前年と比較すると、それぞれ3件増、増減なし、4人増となった。				
課題・今後の方向性	高齢者の人口構成比が増加する中、安全サポート車の試乗や反射機能測定などを活用した体験会を通して、自ら気付く機会を提供する取組が必要である。関係機関などが連携して、継続的な交通安全教室・指導及び啓発活動を実施する。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-1 自治機能を強化する

事務事業名	原子力広報等対策事業			決算書掲載ページ	162
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	01	総務管理費	担 当	防災・原子力課	
目	12	原子力広報・安全等対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,091		10,291	0	800
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,247		0	0	44
目 的	原子力発電、放射線利用などに関する正しい知識の普及啓発を図ることで、地域社会の安全と安心に寄与する。				
取組内容・実績	原子力講座を3回、小・中学校向けのエネルギー・環境セミナーを9校で18回実施した。原子力発電や原子力防災に関する知識を分かりやすく伝える手段として、広報かしわざき（アトム情報）と連動したラジオ広報番組の放送を実施した。また、原子力発電に関するこれまでの経過と概要をまとめた冊子の発行などを行った。				
成 果	市民に放射線や原子力防災に関する知識を自分事として捉えて行動することができる内容に見直して、普及啓発を行うことができた。原子力発電所の安全性と透明性についてチェックし、市民がそれらに関する情報を得る機会を確保することができた。				
課題・今後の方向性	市民の放射線や原子力防災に関する知識の普及啓発については、引渡しが行われる保育園や学校等に講座開催の働きかけをしていく必要がある。安全性の確保と情報公開による透明性の確保については、事業者に対しては徹底した取組を求め、国に対しては主体的に説明責任を果たすことを引き続き求めていく必要がある。				

事務事業名	戸籍住民基本台帳費			決算書掲載ページ	170
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	03	戸籍住民基本台帳費	担 当	市民課	
目	01	戸籍住民基本台帳費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	140,196		135,199	0	4,997
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	43,217		0	31,815	60,167
目 的	戸籍、住民票及び印鑑登録原票等の適正な管理を図る。また、マイナンバーカードを身分証明書として利用が図れるようにするとともに、電子証明書によるサービス利用の普及拡大を図る。				
取組内容・実績	住民基本台帳事件数（住民基本台帳法による。）28,284件、戸籍事件数（当市受理及び他市町村からの送付分）3,652件、証明書交付手数料及び手数料事務104,706件、印鑑登録・廃印数4,282件、住民基本台帳ネットワーク・マイナンバーカード21,980件の処理を行った。				
成 果	戸籍、住民票、印鑑登録原票等の適正な管理により、住民サービスに貢献することができた。マイナンバーカードの申請サポート及び適切な交付によりマイナンバーカードの普及拡大を図ることができた。住民票及び印鑑登録証明書のコンビニ交付手数料を減額し、更に利用拡大を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も引き続き、住民サービスに貢献できるように各届出や申請に基づき、戸籍、住民票及び印鑑登録原票等の適正な管理を図る。マイナンバーカードも引き続き、申請サポートや出張申請を行い、身分証明書としての利用のみならず、電子証明書によるサービス利用が図れるように普及拡大を図る。				

### 3 款 民生費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	① -2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	地籍調査事業			決算書 掲載ページ	182
款	02	総務費	会 計	一般会計	
項	05	統計調査費	担 当	財政管理課	
目	03	地籍調査費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	34,657		33,446	0	1,211
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	24,420		0	2	9,024
目 的	土地の所有者や地番、地図などの土地の情報を現状に合った内容にすることで、迅速な災害復旧や適正な土地取引などの円滑化を図る。				
取組内容・実績	第一計画区における測量及び現地立会い（C、FⅠ、FⅡ-1及びE2工程）並びに第二計画区における調査素図作成（E1工程）の業務委託契約を締結した。土地所有者調査や関係資料を確認し、地籍調査票及び調査素図の作成を行った。また、土地所有者に対して文書による事前説明を実施し、令和5（2023）年度の境界立会い及び現地測量の準備を進めた。				
成 果	第1計画区では、測量の工程が完了し、閲覧のための地籍図作成の基礎データを整えることができた。第2計画区では、現地測量に向けて所有者を確定し、文書での事前説明を行い、次年度の境界立会いの準備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	長期間に及ぶ事業となるため、効率的な調査手法や、実施体制及び財政負担を考慮しながら、「柏崎市地籍調査事業全体計画」に基づき、計画的、効率的に事業の推進を図る必要がある。				

事務事業名	民生委員費			決算書 掲載ページ	186
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,026		14,556	0	470
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6		0	0	14,550
目 的	民生委員・児童委員の地域における見守り、支え合い活動等を支援し、地域福祉の向上を図る。また、民生委員法に基づく民生委員推薦会を設置し、民生委員、児童委員の推薦等を行う。				
取組内容・実績	活動費及び研修費補助金を交付した207人の民生委員・児童委員及び民生委員児童委員協議会が、延べ27,375日に及ぶ相談支援、実態把握活動を始めた地域福祉活動を展開した。				
成 果	生活上の様々な課題を抱える市民への相談支援や関係機関へのつなぎ役としての活動を実施し、地域福祉の向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	委員の担い手不足に苦慮しており、年齢要件の上限上げやイメージアップに資する広報活動に取り組む必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	188
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,903		8,636	0	1,267
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,367		0	0	5,269
目 的	判断能力が不十分な方の財産や権利の保護及び身上保護を支援する。成年後見制度の普及啓発、相談業務及び申立て支援を行う。また、法人後見受任を安定的に行うために、市民後見支援員を養成する。				
取組内容・実績	経済的理由により制度利用が困難な方を支援するため、成年後見制度の利用に伴う後見人等の報酬費用の助成を4人に対して行った。また、市民後見人養成講座により10人の市民後見人を養成するとともに、制度の普及啓発のために、支援者向け研修会(31人参加)と一般市民向け研修会(29人参加)を各1回実施した。				
成 果	後見人等の報酬費用の助成を行うことにより、判断能力が不十分な方の財産や権利保護を支援することができた。また、法人後見支援員を育成し、研修会を実施することで、安定的な法人後見受任や成年後見制度の周知啓発を図ることができた。				
課題・今後の方向性	認知症高齢者、知的障がいや精神障がいの方が増加傾向にあり、親族以外の第三者後見の割合が多い状況から、今後の後見人不足が懸念される。中核機関である柏崎市権利擁護センター(柏崎市社会福祉協議会に委託)の運営により、権利擁護支援の充実強化を図る必要がある。				

事務事業名	生活困窮者自立支援事業			決算書 掲載ページ	188
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	29,016		28,561	0	455
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,512		0	0	8,049
目 的	生活に困窮した方が困窮状態から早期に脱却できるよう、相談者の状態に応じた相談支援を行うことにより、自立の促進に取り組む。				
取組内容・実績	自立相談支援事業では、247人(新規144人)の相談に対応した。就労準備支援事業では、居場所支援として「フリースペースぶらっと」を11回開催(延べ参加者41人)したほか、相談者4人の就労準備を支援した。家計改善支援事業では、43人を支援し、8人が目標達成により支援を終了した。子どもの学習・生活支援事業では、訪問型学習支援を延べ634人、集合型学習支援を延べ59人(25回開催)が利用した。				
成 果	生活に困窮した方に対して、その状態に応じて必要な支援を行うことにより、相談者の自立を促進することができた。				
課題・今後の方向性	相談者が抱える課題は多岐にわたり、複雑なケースも多くなっているため、自立相談支援事業での相談支援を中心に関係機関と緊密に連携することで、より効果的な支援を実施する必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	新型コロナウイルス感染症生活支援事業			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	139,304		96,429	0	42,875
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	96,429		0	0	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の陽性者及びその濃厚接触者となり自宅療養されている方に対し、7日（5日）分の食料品等を支給することで、療養生活中の精神的・経済的な負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	令和4（2022）年4月4日から令和5（2023）年3月30日までの間、対象者からの請求により3,040世帯、10,139人に対し、7日（5日）分の食料品等を支給した。				
成 果	療養生活により外出が困難な対象者に食料品等を支給することにより、療養生活中の精神的・経済的な負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の令和5（2023）年5月8日からの5類感染症移行に伴い、令和4（2022）年度をもって本事業を終了する。				

事務事業名	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,475		4,592	0	1,883
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,946		0	0	646
目 的	生活困窮世帯の生活費を確保することで就労自立に向けた支援を行う。また、就労自立が難しい世帯については、円滑に生活保護の受給につなげるための支援を行う。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する17世帯に対し、3,940千円の支援金を支給した。また、就労による自立が困難な1世帯については生活保護による支援を開始した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯が、自立に向けて就労するための経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の令和5（2023）年5月8日からの5類感染症移行に伴い、令和4（2022）年度をもって本事業を終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	重層的支援体制移行準備事業			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,000		10,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,500		0	0	2,500
目 的	分野ごとでは個別に対応できない複雑化・複合化した支援ニーズに対応できるよう、関係する機関同士が協力した包括的な支援体制を整えるための準備を行う。				
取組内容・実績	多機関協働事業と重層的支援会議を社会福祉協議会に委託し、本格実施に向けた準備を行うとともに、市内相談機関に対し相談事業に関する調査を行い、支援者が抱える悩みなどを中心にその結果を取りまとめた。				
成 果	重層的支援体制の整備に向けた移行準備作業を行うことにより、本市に必要な事業の方向性を検討することができた。				
課題・今後の方向性	重層的支援体制への本格移行に向け、より具体的に事業内容を絞り込んでいく必要がある。				

事務事業名	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	192,100		100,900	0	91,200
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	100,800		0	100	0
目 的	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、物価高騰等に直面し、真に生活に困っている方々に対し給付金を給付する。				
取組内容・実績	対象となる1,009世帯に対し、1世帯当たり100千円を給付した。 (令和3(2021)年度繰越明許188世帯、令和4(2022)年度821世帯)				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響が長期間する中、物価高騰に直面し、真に生活に困っている市民に対し、速やかな生活支援をすることができた。				
課題・今後の方向性	速やかな公的給付を実現するための公金受取口座登録制度の伸展など、国のデジタル化の取組等を注視し、体制を整えていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

事務事業名	原油価格・物価高騰等緊急対策事業			決算書 掲載ページ	190
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,100		6,154	0	2,946
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,600		0	0	1,554
目 的	新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、物価高騰の影響を受けながらも障がい者の日常生活維持に必要な不可欠な障がい福祉サービスを提供する事業者の事業運営を支援するとともに、利用者の負担軽減を図る。				
取組内容・実績	5法人14事業所に対し、光熱費高騰に係る物価高騰対策支援金を1,600千円交付した。また、5法人11事業所に対し、食料品等価格高騰に係る食料品等価格高騰重点支援金を4,554千円交付した。				
成 果	障がい福祉サービスを提供する市内事業者の事業継続を支援するとともに、利用者負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も物価高騰の長期化による障がい福祉サービス事業者等への影響を把握し、必要な支援を検討する必要がある。				

事務事業名	物価高騰等に対応する緊急生活支援事業			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	82,933		82,316	0	617
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	42,000		0	0	40,316
目 的	新型コロナウイルス感染症に加えて、物価高騰等の影響により生活に困窮する方々に対して生活支援を行う。				
取組内容・実績	令和3(2021)年度及び令和4(2022)年度の住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給対象世帯に対し、緊急生活支援事業給付金として10千円を給付した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症に加えて、物価高騰等の影響により生活に困窮する方々の生活を支援することができた。				
課題・今後の方向性	今後も物価高騰の長期化による生活困窮世帯への影響を把握し、必要な支援を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-1 平和と人権を尊重する心をはぐくむ
	⑥-1-2 人権を尊重した社会づくりを進める

事務事業名	電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費			決算書 掲載ページ	192
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	455,000		364,450	0	90,550
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	364,450		0	0	0
目 的	電力・ガス・食料品等の価格高騰に伴い、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）の生活を支援するため、給付金を給付する。				
取組内容・実績	対象となる7, 289世帯に対し、1世帯当たり50千円を給付した。				
成 果	電力・ガス・食料品等の価格高騰に直面し、真に生活に困っている市民に対し、速やかな生活支援をすることができた。				
課題・今後の方向性	速やかな公的給付を実現するための公金受取口座登録制度の伸展など国のデジタル化の取組等を注視し、体制を整えていく必要がある。				

事務事業名	女性相談支援事業			決算書 掲載ページ	194
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	社会福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,724		3,375	0	349
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,677		0	11	1,687
目 的	パートナーからの暴力、離婚問題、家庭不和、ひとり親家庭の自立支援の相談窓口となり、安全で自立した生活への相談支援を行う。				
取組内容・実績	DV被害を含む主に女性からの生活、福祉に関する相談への対応、必要な助言を行うとともに、自立に向けた支援を行った。延べ520件（うちDV248件）、実人数113人（うちDV33人）の相談支援を行った。				
成 果	DVや離婚問題のほか、家庭問題、経済問題、ひとり親家庭自立支援など、様々な相談を受け、被害の未然防止、問題解決及び自立支援に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	ひとり親世帯の生活困窮の背景の一つに、養育費の支払が決定されていても未払の事例があり、離婚後の養育費確保支援事業を導入する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	② 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③ -3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	④ -3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護給付費			決算書 掲載ページ	196
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,062,053		1,033,134	0	28,919
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	699,799		0	0	333,335
目 的	障がいのある方が地域で安心して暮らすことができるよう、障がい福祉サービスを提供する。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	月平均で、居宅介護84人、行動援護14人、同行援護13人、療養介護55人、短期入所15人、生活介護198人、施設入所支援111人の利用に対して給付した。				
成 果	障がいのある方の地域生活を支えるサービスを提供することにより、障がいのある方が地域で安心して暮らすことができた。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	障がいのある方が必要としているサービスを的確に把握し、引き続き、サービス提供体制を確保していく必要がある。				

事務事業名	訓練等給付費			決算書 掲載ページ	196
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	511,574		484,870	0	26,704
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	329,317		0	0	155,553
目 的	自立した日常生活に必要な訓練や就労のための支援を行い、障がいのある方が住み慣れた地域で安心して自立した生活を送ることができるよう、障がい福祉サービスを提供する。また、サービスを利用するための費用を市が負担し、経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	月平均で、自立訓練（機能訓練）4人、自立訓練（生活訓練）10人、宿泊型自立訓練6人、就労移行支援15人、就労継続支援A型14人、就労継続支援B型207人、就労定着支援10人、共同生活援助86人の利用に対して給付した。				
成 果	自立した日常生活に必要な訓練や就労のための支援などのサービス提供と、経済的な負担軽減を図ることにより、住み慣れた地域での安心して自立した生活に資することができた。				
課題・今後の方向性	障がいのある方の介護者の高齢化などにより、利用の増加が見込まれるため、障がいのある方が必要としているサービスについて、障がい福祉サービス事業所や関係機関と情報共有を行い、適切なサービスの提供体制を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	補装具給付費			決算書 掲載ページ	198
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,241		21,047	0	2,194
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,755		0	0	5,292
目 的	身体障害者が自立した日常生活を送ることができるように、身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具の購入費用を給付する。				
取組内容・実績	義肢、装具、補聴器、車椅子、電動車椅子等の購入115件、修理92件に対して給付した。				
成 果	用具の購入費や修理費を給付することで、身体の欠損又は損なわれた身体機能の補完・代替と経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	必要な用具の給付を継続し、障がいのある方の日常生活や社会生活の向上を図る必要がある。				

事務事業名	計画相談・地域相談支援給付費			決算書 掲載ページ	198
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,324		31,049	0	2,275
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	23,287		0	0	7,762
目 的	障がいのある方が、自ら望む生活を営めるように適切なサービスを利用できるよう支援する。				
取組内容・実績	計画相談支援は月平均603人、地域定着支援は月平均35人に対して給付決定を行った。				
成 果	障がいのある方の意向に沿った支援計画の作成、入所施設等からの地域への移行及び地域移行後の夜間等を含めた緊急時の連絡相談を行うことで、本人の安全・安心な生活を確保することができた。				
課題・今後の方向性	障がいのある方が必要としているサービスの提供と本人の意向に沿った支援が行えるよう、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会を中心とした、相談支援事業所、関係機関などのネットワーク強化を図り、地域の相談支援体制の充実を進める。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	日常生活用具給付事業			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	23,826		0	1,938	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	9,274		8	12,606	
目 的	在宅の障がい者等の日常生活の負担を軽減するため、障がい特性に応じて必要な日常生活用具の購入費用を給付する。				
取組内容・実績	電気式たん吸引器、パルスオキシメーター、視覚障害者用拡大読書器、情報・通信支援用具、時計、人工内耳用電池、特殊ベッド、特殊マット、聴覚障害者用通信装置、ストーマ装具等1,852件を給付した。				
成 果	障がいのある方の自立や生活の質の向上、介助者の身体的負担軽減とともに、経済面での負担軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	必要な用具の給付を継続し、障がいのある方の日常生活や社会生活の向上を図る必要がある。また、日常生活用具の給付種目の見直し及び拡充を検討する必要がある。				

事務事業名	地域活動支援センター事業			決算書 掲載ページ	200
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	24,578		0	1,028	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	2,856		0	20,694	
目 的	障がいのある方が自立した日常生活・社会生活が送れるよう、通所により創作的活動、生産的活動及び社会との交流促進などの機会を提供する。				
取組内容・実績	登録者数は、Ⅰ型（地域活動支援センター事業）は44人、Ⅲ型（小規模作業所事業）は7人であり、Ⅱ型（障害者デイサービス事業）の支給決定者数は30人であった。				
成 果	日中活動の場の提供により、障がいのある方が仲間などとの活動を通じて充実した地域生活を送ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も障がいのある方の地域活動の支援及び社会との交流の促進を図り、地域活動支援センターの支援体制の充実に向けた取組を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害者相談支援事業			決算書 掲載ページ	202
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,442		25,442	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	25,442
目 的	障がいのある方やその家族などからの相談に応じ、必要な情報提供等の援助を行い、障がいのある方が自立した日常生活を送るための支援を行う。				
取組内容・実績	5つの相談支援事業所合計で2,357件の相談に対応した。				
成 果	障がいのある方やその家族などが、適切なサービスを利用し、安心して住み慣れた地域で自立した生活を継続することができた。				
課題・今後の方向性	安心して住み慣れた地域で自立した生活を継続することができるよう、引き続き、障がいのある方やその家族が地域で適切な助言を受けられる体制を確保していく必要がある。				

事務事業名	身体障害者等交通費助成事業			決算書 掲載ページ	204
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,337		10,933	0	1,404
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	10,933
目 的	心身障害者の社会参加や通院・通所に係る費用負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	心身に障がいのある方にタクシー利用料金の助成又は自動車燃料費の助成を行った。 ・タクシー利用料金助成 653人 ・自動車燃料費助成 101人				
成 果	移動に要する交通費の助成を行うことで、適切な医療受診の継続、社会参加の促進及び経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、障がいのある方とその家族の社会参加の促進及び経済的負担の軽減を図る必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	⑤ 健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	⑥ -3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	⑦ -3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	福祉職員支援事業			決算書 掲載ページ	204
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	1,015		0	800	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	215
目 的	市内障がい児者の入所施設で、障がい福祉業務に従事する職員の人材確保を図る。				
取組内容・実績	障がい者入所施設へ新たに勤務する方に1件、200千円の補助金を交付し、人材確保を図った。				
成 果	補助金の交付により、障がい福祉サービスに従事する職員の人材確保につながった。				
課題・今後の方向性	安定的に障がい福祉サービスを提供するため、福祉人材の確保は重要課題である。市民や福祉系の専門学校等に補助制度の周知を行い、市内の福祉施設への就職を促す人材確保策を強化する必要がある。				

事務事業名	障害福祉従事者人材確保・育成支援事業			決算書 掲載ページ	204
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	1,340		0	20	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,320
目 的	安定的な障がい福祉サービスを提供するため、障がい福祉施設等に勤務する職員の職場定着と、新たな福祉人材の確保を支援する。また、福祉職の魅力を発信し、イメージアップや理解促進を図り、福祉人材の確保につなげる。				
取組内容・実績	人材確保に向けた取組を実施した3法人に1,307千円の補助金を交付し、職場定着や人材確保につながる事業に取り組んだ。				
成 果	補助金の交付により、障がい福祉施設の人材確保及び職場定着を図ることで、安定的な障がい福祉サービスの提供につなげることができた。				
課題・今後の方向性	人材確保及び職場定着は安定したサービス提供につながることから、福祉サービスを提供する法人等と情報交換を行い、積極的な制度利用を促すとともに、福祉職場のイメージアップ・理解促進を図っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害児通所給付費			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	85,721		80,991	0	4,730
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	58,913		0	0	22,078
目 的	子どもの成長発達を図るための支援を提供し、利用に係る費用の一部又は全部を市が負担することで、障がい児を育てる保護者の経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	月平均で、児童発達支援を96人、放課後等デイサービスを48人が利用した。				
成 果	集団生活への適応訓練や生活能力向上のための訓練などを継続的に提供することにより、障がい児の成長促進が図られた。				
課題・今後の方向性	利用者個々のニーズに応じて利用場所を選択できるよう、引き続き、体制の整備に取り組む必要がある。				

事務事業名	障害児相談支援給付費			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,500		8,416	0	2,084
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,312		0	0	2,104
目 的	障害児支援利用計画を作成することにより、障がい児の成長に沿った療育サービスの提供につなげ、一定期間ごとに支援等の利用状況の検証や計画の見直しを行うことで、適切なサービス利用を支援する。				
取組内容・実績	186人分の障害児支援利用計画の作成を行った。				
成 果	障害児支援利用計画の作成により、障がいの程度や成長に沿ったサービスの提供、適切なサービス利用が行われ。				
課題・今後の方向性	障がい児が必要としているサービスの提供と本人の意向に沿った支援が行えるよう、柏崎刈羽地域障害者自立支援協議会を中心とした、相談支援事業所、関係機関などのネットワーク強化を図り、地域の相談支援体制の充実を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	障害者医療費			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	福祉課	
目	02	障害者福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	73,573		68,744	0	4,829
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	49,034		0	0	19,710
目 的	更生医療及び育成医療については、一定の障がいのある方に対し、医療費の補助を行うことで、本人の自立した日常生活、社会生活の支援を図る。療養介護医療については、重度の障がいのある方で常時介護と医療を必要とする方に対し、医療費の補助を行うことで経済的な負担軽減を図る。				
取組内容・実績	更生医療（心臓・腎臓・肝臓等）は178人、育成医療（18歳未満の障害除去手術等）は16人、療養介護（主に筋ジストロフィー）は延べ663人に対し、医療費の補助を行った。				
成 果	継続的治療や障害除去、長期の療養介護等に必要な医療費の自己負担額の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、障がいのある方とその家族の経済的負担の軽減を図る必要がある。				

事務事業名	老人保護措置委託事業			決算書 掲載ページ	206
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	138,889		134,206	0	4,683
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	70,000		0	27,633	36,573
目 的	環境上及び経済的理由により、自宅での日常生活が難しい高齢者を対象とし、養護老人ホームへ入所を委託し、日常生活の見守りを行い、生活の安定・向上を図る。また、虐待を受けた高齢者を保護するとともに、養護者の負担軽減を図り、高齢者の権利利益を擁護する。				
取組内容・実績	養護老人ホーム御山荘に50人、養護盲老人ホーム胎内やすらぎの家に2人、養護盲老人ホーム第二光が丘ハウスに1人の入所を委託した。高齢者虐待防止のための緊急入所は、該当がなかった。				
成 果	環境上や経済的理由により、在宅生活が困難な高齢者を支援する事業であり、対象者を入所委託したことにより、日常生活の見守りが行われ、生活の安定・向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	養護老人ホームは高齢者のセーフティネットであり、家庭で養護を受けることが困難な高齢者を措置し尊厳を守るとともに、自立した生活を送ることができるよう支援することが重要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	寝たきり高齢者等紙おむつ購入費助成事業			決算書 掲載ページ	208
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,987		38,722	0	1,265
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	141	38,581
目 的	在宅の寝たきりなどで常に紙おむつを使用している高齢者に、紙おむつ購入費用の一部を助成し、在宅介護の経済的な負担軽減と在宅生活の継続を支援する。				
取組内容・実績	1月当たり市民税所得割非課税世帯には3千円、市民税所得割課税世帯には2千円の助成券を6か月分まとめて、年2回1,479人に交付した。				
成 果	延べ38,687枚の紙おむつ券が使用され、在宅の寝たきり高齢者等を介護する方の経済的負担の軽減を図り、在宅介護を支援することができた。				
課題・今後の方向性	家庭における介護の負担軽減を図り、老後も住み慣れた地域で暮らしていけるよう、事業を継続して実施する必要がある。				

事務事業名	介護従事者人材確保・育成支援事業			決算書 掲載ページ	210
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	47,599		42,316	0	5,283
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	42,316
目 的	安定的な介護サービスを提供するため、介護施設等に勤務する職員の職場定着と、新たな介護人材の確保を支援する。また、介護職の魅力発信し、イメージアップや理解促進を図り、介護人材の確保につなげる。				
取組内容・実績	介護資格取得支援補助金により、51事業所70人の資格取得を支援した。介護夜勤対応者補助金を14法人40事業所に交付し、夜勤対応者は578人であった。介護職員人材確保及び職場定着支援事業補助金では、2法人が人材確保・職場定着につながる事業に取り組んだ。新たな介護人材確保に向けて、市内学校でのキャリア教育やラジオ放送、広報かしわざきの特集記事により、若い世代に対し介護職の魅力発信した。				
成 果	各種補助金の交付により介護職員のスキルアップや職場定着を図ることができた。また、キャリア教育やラジオ放送、広報かしわざきの特集記事で介護職の魅力発信を行うことにより介護職のイメージアップを図ることができた。				
課題・今後の方向性	介護ニーズの増大と生産年齢人口の急減が見込まれる中、若い世代に対して介護職の魅力発信することで、介護のイメージアップ・理解促進を図り、将来的な介護人材の確保につなげる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	介護職員就職支援事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,600		1,450	0	2,150
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,450
目 的	市内の介護施設等又は病院で介護業務に従事する職員の人材確保を図る。				
取組内容・実績	介護福祉士7人、社会福祉士1人、初任者研修3人の計11人に補助金を交付し、人材確保を図った。				
成 果	補助金の交付により、11人の有資格者の人材確保につなげることができた。				
課題・今後の方向性	質の高い介護サービスを安定的に提供するため、介護人材の確保は最重要課題であり、市民や介護の専門学校等に補助金制度の周知を行い、市内の介護施設等への就職を促す人材確保策を強化する必要がある。				

事務事業名	原油価格・物価高騰等緊急対策事業			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	介護高齢課	
目	03	老人福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	61,700		49,291	0	12,409
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	36,000		0	0	13,291
目 的	新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、物価高騰の影響を受けながらも高齢者の日常生活維持にとって必要不可欠な介護サービス事業者等の運営を支援するとともに、利用者の負担軽減を図る。				
取組内容・実績	光熱費高騰に係る物価高騰対策支援金と、食料品等価格高騰に係る食料品等価格高騰重点支援金を市内31法人中21法人に対して、総額で49,241千円交付した。				
成 果	市内介護サービス事業者等の事業継続の支援をするとともに、利用者負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も物価高騰の長期化による介護サービス事業者等への影響を把握し、必要な支援を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	いきいき館管理費			決算書 掲載ページ	212
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	01	社会福祉費	担 当	地域事務所	
目	04	社会福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,898		11,685	0	213
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	78	11,607
目 的	西山町いきいき館の施設運営並びに西山町いきいき館及び西山町いきいき館周囲の施設管理を適切に行うことで、地域福祉活動の推進を図る。				
取組内容・実績	各種健診のほか、高齢者・障がい者など多様な方から利用いただき、利用者数は9, 318人であり、前年度を上回った。また、商工会移転に伴う1階商工会間仕切り修繕や、くらしのサポートセンター開設に伴う2階第二研修室畳替え修繕、街路灯修繕などを行った。				
成 果	適切な施設維持管理を行ったことにより、地域の保健福祉事業の拠点施設として、西山町いきいき館利用者が安心して施設を利用することができ、地域福祉の向上に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	公共施設等マネジメントによる施設複合化（令和5（2023）年度に柏崎市商工会入居、令和6（2024）年度に西山ふれあいクリニック入居予定）に併せて施設維持管理を見直し、増加が見込まれる経費の抑制を図る必要がある。				

事務事業名	子どもの医療費助成事業			決算書 掲載ページ	218
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	203,190		186,777	0	16,413
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	64,753		0	26,000	96,024
目 的	保護者の経済的負担を軽減するとともに、子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを育てることができる環境を作る。				
取組内容・実績	子どもの医療費の一部を助成した。 ・助成件数106,744件 ・助成総額180,286,693円				
成 果	保護者の経済的負担を軽減するとともに、子どもの疾病の早期発見と早期治療に寄与した。				
課題・今後の方向性	令和4（2022）年度から通院の助成対象が高校卒業までに拡充され、より充実した制度となった。全ての対象者が必要な医療サービスを利用できるよう、引き続き制度の周知に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～		
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる		
	[不使用]③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる		

事務事業名	低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（その他世帯）			決算書 掲載ページ	218
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	63,700		60,100	0	3,600
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	21,950		0	0	38,150
目 的	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得のひとり親世帯以外の子育て世帯に対し、給付金を支給する。				
取組内容・実績	低所得のひとり親世帯以外の子育て世帯に対し、児童439人分、一人当たり50千円を給付した。また、前年度事業の精算還付金として、38,150千円を国に返還した。				
成 果	給付金の給付により、物価高騰に直面し、真に生活に困っている子育て世帯に対し、速やかな生活支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	速やかな公的給付を実現するための公金受取口座登録制度の伸展など国のデジタル化の取組等を注視し、体制を整えていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～		
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる		
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる		

事務事業名	子どもの虐待防止事業			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,607		1,242	0	365
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	580		0	0	662
目 的	子育ての不安解消・虐待予防のため、講座などを通じて親同士のつながりと、支え合うきっかけ作りの機会を提供する。関係者の資質向上及び連携強化を図ることで、児童虐待の発生予防や要保護児童などへの迅速かつ適切な対応につなげる。				
取組内容・実績	保育園や学校などからの報告を毎月受け、児童虐待防止に向けた支援につなげた。市民・支援者向け講演会では周知啓発を行った（参加者106人）。親支援講座として、完璧な親なんていない（NP）講座（1コース7回、実人数6人、延べ人数35人）と親と子の上手なコミュニケーション講座（参加者11人）を、育児不安の軽減を図るとともに、親同士のつながるきっかけ作りとして開催した。また、児童虐待予防への啓発活動として、虐待防止に関するポスター及び啓発カードを関係施設や機関へ配布し、児童虐待防止・早期発見に取り組んだ。				
成 果	子育ての不安解消や虐待予防につなげることができた。また、講演会を通して子どもだけでなく、虐待をしている親を孤立させない必要性について確認する機会を創出した。くわえて、完璧な親なんていない（NP）講座終了後、アンケート結果を踏まえ、オンライン交流会（参加者3人）を新たに実施し、親同士のつながるきっかけ作りに寄与することができた。				
課題・今後の方向性	心理的虐待やネグレクトなどの外から見えにくい虐待を見逃さずに支援につなげられるよう、関係機関への啓発、相談対応力を強化する必要がある。虐待リスクの軽減を図るとともに、子育てに悩んでいる方に対し、タイムリーに紹介ができるよう講座の周知や内容を見直していく必要がある。また、オンラインを活用した取組について引き続き検討していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	220
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,767		2,701	0	66
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,794		0	8	899
目 的	子育て中の親が、仕事と家事や育児等の家庭生活を両立できるよう支援する。				
取組内容・実績	子どもの預かりや送迎などの援助活動（333回）に係る依頼会員と提供会員の相互の活動調整を行った（依頼会員217人、協力会員38人、両方会員6人、合計261人）。小児科医による研修会を実施し、提供会員10人に加えて、子育て支援室支援員等、市内の子育て支援に係るスタッフが25人参加した。				
成 果	仕事と家事や育児等の家庭生活を両立できるよう、支援することができた。小児科医を講師とした研修を実施することで、会員の対応スキルの向上につながった。また、子育て支援室の支援員等も対象としたことで、会員のみならず、市内の子育て支援に関わるスタッフのスキル向上につながった。				
課題・今後の方向性	新たな提供会員の確保について、継続して取り組むとともに、サービス利用の促進を目的として、利用料の一部公費助成を検討する必要がある。				

事務事業名	子育て世代包括支援センター利用者支援事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,166		5,263	0	4,903
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,096		0	14	1,153
目 的	妊娠期から子育て期まで、切れ目なく、様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点の体制で継続支援する。				
取組内容・実績	従来の継続支援が必要な方に加え、産後ケアや産婦健診で産後うつ傾向（エジンバラ問診票のハイスコア者）の方に対して、支援プランを作成した（65件）。また、新規事業である産後ケア、産婦健診を通じて、医療機関と連携した。				
成 果	新規事業である産後ケア、産婦健診を通じたタイムリーな医療機関連携により、早期支援が可能となるとともに、産後うつ予防の支援体制を強化することができた。				
課題・今後の方向性	精神疾患の既往等、妊娠期から産後の継続的多面的な支援を必要とする事例が増加傾向にある。困難事例対応として、精神保健福祉士等を配置して、より専門性の高い支援に取り組む必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	子育て応援券事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,600		18,771	0	7,829
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	18,771
目 的	経済的負担の軽減や子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実を図る。				
取組内容・実績	市内に住所を有する0歳から3歳までの子どもがいる世帯に対し、子ども1人当たり10千円の子育て応援券を交付した。1,620人を対象に交付し、登録事業者は73者となった(令和3(2021)年度発行分利用率97.85%)。				
成 果	乳幼児を抱える世帯への経済的負担の軽減や地域の子育て環境の充実を図ることにより、子育てしやすい環境づくりに寄与することができた。				
課題・今後の方向性	子育て応援券を使用できる登録事業者の拡充や応援券の電子化など、利便性の向上を図る必要がある。				

事務事業名	子育て応援券臨時交付事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	233,037		216,881	9,216	6,940
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	181,907		0	0	34,974
目 的	子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実と、子育て応援券が使用されることによる市内の消費喚起を図る。				
取組内容・実績	市内に住所を有する0歳から18歳までの子どもがいる世帯に対し、子ども1人当たり20千円の臨時の子育て応援券を交付した。10,511人を対象に交付し、登録事業者は219者となった(利用率98.00%)。				
成 果	物価高騰により影響を受けている子育て世帯の経済的負担の軽減と、市内の消費喚起を図ることができた。				
課題・今後の方向性	令和5(2023)年度に一部繰越し、令和5(2023)年11月末で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	出産・子育て応援交付金事業			決算書 掲載ページ	222
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	50,240		47,145	0	3,095
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	39,247		0	0	7,898
目 的	全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境の充実を図る。				
取組内容・実績	妊娠・出産された方に対し、出産・育児の見通しを立てるための面談などの伴走型相談支援を実施するとともに、子育て支援サービスの利用者負担軽減を図る経済的支援（計100千円）を実施した。				
成 果	妊婦・子育て家庭に対し、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施することにより、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境づくりに寄与することができた。				
課題・今後の方向性	里帰り出産や妊娠期・出産後の転居も一定数存在するため、面談及び交付金の支給について、その都度自治体間で情報連携を行う必要がある。				

事務事業名	放課後児童健全育成事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	211,074		210,608	0	466
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	88,266		0	49,727	72,615
目 的	放課後や学校休業日に留守家庭となる小学校の児童を預かり、適切で安全な遊びや生活の場を提供することで、子どもたちの健全育成を図る。				
取組内容・実績	市内23か所の児童クラブを民間委託（柏崎市社会福祉協議会22か所、西山福祉会1か所）し、年間延べ6,736日開設、155,756人の利用があった。				
成 果	適切な遊びと生活の場を提供することにより、児童の健全育成を図ることに加えて、保護者の就労や介護等の支援にも寄与することができた。				
課題・今後の方向性	児童クラブ支援員の安定的な人材確保や支援が必要な児童の対応方法について、専門的助言が受けられる体制作り継続して取り組む必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	児童クラブ整備事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	103,962		101,643	0	2,319
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	70,000		0	0	31,643
目 的	児童クラブを適切で安全に運営するために必要な整備を行う。				
取組内容・実績	榎原小学校の敷地内に榎原児童クラブの新築工事を実施した。また、荒浜小学校の校舎棟改築工事に併せて荒浜児童クラブを併設するため、設計業務委託を実施した。				
成 果	児童クラブを新築したことにより、より良い環境が整備され、児童に適切で安全な生活の場を提供することができた。				
課題・今後の方向性	学校敷地外で運営している荒浜児童クラブは、荒浜小学校に併設する。また、建築してから10年以上経過する児童クラブについては、修繕などを計画的に実施する必要がある。				

事務事業名	家庭児童相談室事業			決算書 掲載ページ	224
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,315		9,572	0	743
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,755		0	32	4,785
目 的	相談者の家庭における人間関係の健全化や養育環境の適正化など、児童の福祉の向上を図る。また、児童の健全育成と家庭支援を行うことで、児童虐待の予防及び重症化防止を図る。				
取組内容・実績	家庭の養育環境等に支援が必要な相談者240人(延べ3,708人)に対し、教師資格などの専門性を持った家庭児童相談員を配置し、来所や電話、訪問による相談を実施した。				
成 果	児童虐待、不登校、発達・育児相談に対して、保育園、学校、医療機関等が連携しながら児童の自立支援と、保護者の養育困難の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	複雑化する事例対応が増えており、関係機関との連携を強化し児童虐待を予防するため、令和5(2023)年度は子どもの虐待防止事業として相談対応に取り組む。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	結婚活動応援事業			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		1,752	0	248
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,752
目 的	出会いや結婚を望む独身男女を支援し、未婚化や晩婚化の解消につなげる。				
取組内容・実績	婚活イベントを2回実施し、9組がマッチングした。マッチング率は52.9%であった。あわせて、イベント参加が難しい方に対して、SNSを活用した出会いの場を創出した。また、ハートマッチにいがたの臨時サポートセンターを2回開設した。				
成 果	婚活イベントの開催及びSNSやマッチングシステムを活用した出会いの場を創出した。				
課題・今後の方向性	男性の申込数に対して女性の申込数が少ないため、女性が参加しやすい工夫や環境作りに努める必要がある。				

事務事業名	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業費			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,000		3,100	0	2,900
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,100		0	0	0
目 的	国が令和3（2021）年11月19日に閣議決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、0歳～18歳（高校生相当）の子どもがいる世帯に対し、一人当たり100千円を給付する。				
取組内容・実績	給付金対象者31人に対し、一人当たり100千円の給付金を支給した。				
成 果	給付金を支給することにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の経済的支援に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和4（2022）年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	県立こども自然王国整備費			決算書 掲載ページ	226
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,081		14,000	0	81
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		10,600	0	3,400
目 的	県内外の児童・親子が豊かな自然の中で交流を深めるために必要な施設の整備などを行い、適切な施設の維持管理や児童の健全育成を図る。				
取組内容・実績	大型複合遊具の修繕及び塗装工事等を実施した。また、体験工房つぶらやの空調設備改修工事を実施した。				
成 果	適正な施設の維持管理や更新が行われたことにより、児童・親子が安全・安心の下、施設を利用することができた。				
課題・今後の方向性	施設の長寿命化を図るため、引き続き適正な施設の維持管理を図っていく必要がある。				

事務事業名	子育て応援事業			決算書 掲載ページ	228
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	128		90	0	38
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	90
目 的	妊娠中の方、子育てに不安のある親及び家族に支援情報等を発信し、利用してもらうことで不安解消につなげる。				
取組内容・実績	元気館で子育て講座を開催し、延べ382組が参加した。また、子育て応援サイト「すくすくネットかしわざき」で子育て支援に関する情報を発信した。				
成 果	子育て講座の開催や子育て応援サイトによる情報発信を通じて、子どもの健全育成を支援することができた。				
課題・今後の方向性	子育て支援につながる各種講座の開催やタイムリーな情報発信に、引き続き取り組んでいく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	地域子育て支援拠点事業			決算書 掲載ページ	228
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,917		20,962	0	955
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,054		0	46	10,862
目 的	公立子育て支援室及び元気館内ジャングルキッズで親子の交流の場を提供し、子どもが健やかに成長することのできる地域社会を目指すとともに、子育ての楽しさを発信する。また、子育て中の親子が安心して過ごし、子育て不安を解消できるよう支援する。				
取組内容・実績	公立子育て支援室及び元気館ジャングルキッズにおいて、未就園児とその保護者に交流の場を提供するとともに、随時子育て相談等を実施した。公立子育て支援室（5施設）において、延べ4,076組が利用し、35件の相談を受けた。また、元気館ジャングルキッズにおいて、延べ2,916組が利用し、119件の相談を受けた。				
成 果	未就園児とその保護者が交流する場を提供することで、未就園児を持つ保護者の子育て不安を軽減することができた。また、妊娠中の子育て支援室の利用についても徐々に認知され、妊娠期から切れ目のない子育て支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	子育て不安の軽減を図るため、今後も継続的な子育て支援及びニーズに合った子育て情報の提供を行う必要がある。				

事務事業名	早期療育事業			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,325		32,012	0	1,313
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,969		0	25,106	4,937
目 的	心身や言葉の発達に心配のある乳幼児とその保護者を対象に、個々の発達段階や特性に応じた発達支援を行い、保護者の子育て不安の軽減を図る。				
取組内容・実績	障害児相談支援及び児童発達支援の福祉サービスを行ったほか、キッズ・サポート園巡回相談を実施した。障害児相談支援では年間140人のサービス等利用計画を作成し、児童発達支援では129人に延べ2,182件の発達支援を行った。また、キッズ・サポート園巡回相談では依頼を受け53人の園児に関する助言とクラス運営に関する助言1件を保育園・幼稚園等に実施した。				
成 果	専門的な知識経験を有する児童指導員や臨床心理士等を配置することにより、子どもの集団生活への適応向上や保護者の子育てに対する自信向上につながった。さらに、キッズ・サポート園巡回相談により、保育士等への支援方法を向上させることができた。				
課題・今後の方向性	発達支援に関するニーズに対応するため、療育支援機関としての体制充実が求められている。今後も職員の専門性の向上を図り、関係機関との連携を強化していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	ふれあいルーム推進事業			決算書 掲載ページ	230
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,316		7,043	0	273
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	19	7,024
目 的	適応指導教室（ふれあいルーム）に指導員を配置し、登校が困難な小・中学生及び高校生への学習の意識付け、集団生活の適応、体験活動及び居場所の提供をすることにより、学校や社会への復帰を目指す。				
取組内容・実績	不登校で学校生活への適応が難しい児童・生徒に対して、集団生活に適応するための体験活動を通じて、学校復帰するための支援を行った。年間240日開室し、最大で10人が在籍した。				
成 果	在籍10人の児童・生徒全員の学校復帰（完全復帰5人、部分登校5人）に結び付けることができた。				
課題・今後の方向性	中学校から高校生、高校生から社会人へと途切れない支援を行うため、関係機関との情報共有や引継ぎを確実に実施していく必要がある。				

事務事業名	カウンセリングルーム運営費			決算書 掲載ページ	232
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子どもの発達支援課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,456		12,844	0	612
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	41	12,803
目 的	臨床心理士や相談員を配置し、不登校や発達障がいなどの心身の不調やいじめ問題に悩む小・中学生や高校生、その保護者への相談を行い、悩みの早期解決を図る。				
取組内容・実績	臨床心理士及び相談員が児童・生徒及びその保護者に対して、一人一人に応じたきめ細やかな相談支援を行った。面談相談は、122人に対して延べ589回実施した。また、小・中学生の発達障がい等の児童・生徒を対象にしたソーシャルスキルトレーニングを計27回、小学生延べ111人、中学生延べ12人に実施した。				
成 果	相談者に対する専門的なカウンセリングを行うことによって、不登校の長期化を予防、発達障がいの二次障がいの防止につなげることができた。				
課題・今後の方向性	相談内容が多様化、複雑化しており、学校や関係機関との情報共有・連携を密にして、相談支援を行う必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	かしわざきこども大学事業			決算書 掲載ページ	234
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	学校教育課	
目	01	児童福祉総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,844		5,002	0	1,842
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5,002	0
目 的	かしわざきこども大学として、地域団体や大学等と連携し、学校や家庭だけでは体験できない様々な学びの場を提供し、子どもたちの生きる力を育む。				
取組内容・実績	地域団体や大学等と連携して4コースの事業を実施するとともに、こどもの笑顔創造プロジェクト及び学校教育活動推進事業を実施した。 自然体験コース（幼稚園・保育園30園547人参加）、キャリア教育コース（4校305人参加）、ロボット工作コース（工作クラブ5校49人、工作教室・交流競技会13人参加）、科学・実験コース（2回実施、94人参加） こどもの笑顔創造プロジェクト（10団体延べ4,676人参加）、学校教育活動推進事業（小学校20校、中学校11校参加） なお、キャリア教育コース、学校教育活動推進事業は別科目から支出している。				
成 果	地域団体や大学等と連携し、学校や家庭だけでは体験できない様々な活動の場を提供することにより、子どもたちの生きる力を育むことができた。				
課題・今後の方向性	財源である、かしわざき子ども育成基金の残高が減少しているため、新たな財源の確保を検討する必要がある。				

事務事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	35,291		29,771	0	5,520
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	13,556		0	0	16,215
目 的	医療費の助成により、ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進及び医療費に対する経済的負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	ひとり親世帯に対し医療費の一部を助成した。 ・実績11,852件 ・助成総額26,367,049円				
成 果	医療費の助成により、ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進及び医療費に対する経済的負担の軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	新潟県ひとり親家庭等医療費助成事業実施要領等に基づく事業であり、ひとり親世帯の経済的負担の軽減等を図るため、今後も継続して医療費助成を実施する必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	[不使用]③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費（ひとり親世帯）			決算書 掲載ページ	236
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	福祉課	
目	02	母子福祉費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	43,600		40,500	0	3,100
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	36,100		0	0	4,400
目 的	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得のひとり親世帯に対し、給付金を給付する。				
取組内容・実績	低所得のひとり親世帯に対し、児童722人分、1人当たり50千円を給付した。また、前年度事業の精算還付金として、4,400千円を国に返還した。				
成 果	給付金の給付により、物価高騰に直面し、真に生活に困っているひとり親世帯に対し、速やかな生活支援をすることができた。				
課題・今後の方向性	速やかな公的給付を実現するための公金受取口座登録制度の伸展など国のデジタル化の取組等を注視し、体制を整えていく必要がある。				

事務事業名	保育園新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	242
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,710		4,111	0	3,599
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,601		0	0	1,510
目 的	公立保育園の保育環境の改善を図り、子どもを安心して育てることができる体制整備を行う。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症対策を実施するため、公立保育園（13園）の消耗品を購入した。				
成 果	感染症対策のための消耗品を購入することで、公立保育園の保育環境を改善し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を支援することができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、拡大を防止するための対策を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園運営経費			決算書 掲載ページ	242
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,316,758		1,255,829	0	60,929
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	815,794		0	107,385	332,650
目 的	私立保育園に運営委託料及び補助金を交付することで、健全な保育園運営を確立し、安定した児童受入体制を整える。				
取組内容・実績	私立保育園13園に保育の実施に要する経費を委託費及び運営費補助金により支援した。				
成 果	私立保育園に委託費及び運営費補助金を交付することにより、健全な保育園運営を通じ入園希望児童受入体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	健全な保育園運営、安定した児童受入体制を確立するため、継続した支援が必要である。				

事務事業名	私立保育園特別保育事業補助金			決算書 掲載ページ	242
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	96,236		78,037	0	18,199
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	35,053		0	0	42,984
目 的	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援するため、特別保育事業を実施し、児童の福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、特別保育事業（未満児保育事業13園、障害児保育事業12園）を実施した私立保育園を支援した。				
成 果	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを通じ、未満児保育及び障害児保育の受入体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	特別保育事業を実施する私立保育園を継続支援することで、多様化する保育ニーズに対応する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立保育園地域子ども・子育て支援事業			決算書 掲載ページ	242
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,259		27,493	0	4,766
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	18,108		0	0	9,385
目 的	子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援など、安心して子育てができる環境づくりを総合的に支援し、子ども・子育て支援の着実な推進を図る。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、地域子ども・子育て支援事業（延長保育事業4園、地域子育て支援拠点事業4園、地域子育て支援センター事業3園、一時預かり事業4園）を実施した私立保育園を支援した。				
成 果	安心して子育てができる環境を整備することで、地域子ども・子育て支援体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	地域子ども・子育て支援事業を継続することで多様化する保育ニーズに対応する必要がある。				

事務事業名	私立保育園新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	242
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,500		6,467	0	33
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,467		0	0	0
目 的	私立保育園の保育環境の改善を図り、子どもを安心して育てることができる体制整備を行う。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症対策を実施する私立保育園（13園）に対し、補助金を交付した。				
成 果	補助金の交付により、私立保育園の保育環境を改善し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を支援することができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、拡大を防止するための対策を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	保育園整備事業			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	42,771		40,590	0	2,181
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,000		0	0	20,590
目 的	市民の保育ニーズに応えるため、公立保育園として必要な施設整備を行う。				
取組内容・実績	田尻保育園の園舎改築に伴う工事設計、地質調査及び用地測量の業務委託並びに土地購入を行った。				
成 果	柏崎市保育園整備基本方針に基づき、令和6（2024）年7月の新園舎完成に向けて、計画どおり作業を進めることができた。				
課題・今後の方向性	柏崎市保育園整備基本方針に基づき、老朽化に伴う施設整備を統廃合と併せて適正に実施していく必要がある。				

事務事業名	私立認定こども園等運営経費			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	466,455		414,478	0	51,977
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	285,139		0	6	129,333
目 的	国の子ども・子育て支援新制度に基づいて施設型給付費負担金を支出する。また、運営に要する経費を補助金として助成することで、健全な運営を確立し安定した運営体制を整える。				
取組内容・実績	私立認定こども園4園と私立幼稚園1園に教育・保育に要する費用を施設型給付費負担金及び運営費補助金により支援した。				
成 果	私立認定こども園と私立幼稚園に施設型給付費負担金と運営費補助金を交付することによって、入園を希望する児童の受入体制を確保することができた。また、小学校就学前の児童に対して、必要な教育・保育を実施することができた。				
課題・今後の方向性	健全な園運営の確保に向けて、認定こども園等を継続支援していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	私立認定こども園等建設費補助金			決算書 掲載ページ	244
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,802		30,139	0	3,663
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,093		0	0	10,046
目 的	私立認定こども園の施設整備に伴う経済的負担を軽減する。				
取組内容・実績	補助金の交付を通じて、私立認定こども園（1園）の改修工事費の一部を支援した。				
成 果	私立認定こども園の運営法人の施設整備に伴う経済的負担を軽減した。				
課題・今後の方向性	私立認定こども園の健全運営を確保する上で、継続した施設整備を支援する必要がある。				

事務事業名	小規模保育事業運営経費			決算書 掲載ページ	246
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,436		23,297	0	4,139
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	17,076		0	0	6,221
目 的	小規模保育事業所の健全な運営を確立し、安定した運営体制を整える。				
取組内容・実績	小規模保育事業所（1園）に保育の実施に要する経費の一部を地域型給付費負担金及び運営費補助金により支援した。				
成 果	小規模保育事業所に地域型給付費負担金及び運営費補助金を交付することにより、入園を希望する児童の受入体制を確保した。				
課題・今後の方向性	健全な施設運営の確保に向けて、小規模保育事業を継続支援していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	[不使用]③-2-3 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	小規模保育事業新型コロナウイルス感染症対策事業			決算書 掲載ページ	246
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	03	児童措置費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	300		0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	300		0	0	0
目 的	地域型保育事業を実施する施設の保育環境の改善を図り、子どもを安心して育てることができる体制整備を行う。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症対策を実施する小規模保育事業所（1園）に対し、補助金を交付した。				
成 果	補助金の交付により、小規模保育事業所の保育環境を改善し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を支援することができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、拡大を防止するための対策を行っていく必要がある。				

事務事業名	子どもの遊び場施設整備補助金			決算書 掲載ページ	248
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	4,530		0	47	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,483
目 的	健全な遊び場の整備を促すことにより、子どもの路上遊びを防止し、遊び場環境の改善を図る。				
取組内容・実績	町内会などが管理する公園の整備計画について、18件の補助金を交付した。				
成 果	計画された全ての整備計画が実施され、遊具の撤去、修繕及び新設など、安全に配慮した子どもの遊び場の環境整備に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	児童が生活する身近な町内で、健全な遊びを通じて社会性や体力増進を図るため、今後も事業を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	子どもの屋内遊び場施設利用券事業			決算書 掲載ページ	248
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	子育て支援課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,840		3,771	0	1,069
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,771
目 的	冬期間など天候に影響されずに遊ぶことができる屋内遊び場の利用料を補助し、子どもの遊び場環境の充実を図る。				
取組内容・実績	小学2年生までの子どもがいる世帯に対し、一人当たり5回分の利用券を交付した。対象者4,200人に交付し、5,590枚の利用があった。				
成 果	屋内遊び場の利用券を交付することにより、必要な世帯に対して、経済的負担の軽減と天候に影響されない屋内遊び場を提供することができた。				
課題・今後の方向性	子どもを安心して産み育てられることができるように、今後も子育て世帯の経済的負担の軽減と遊び場環境の充実を図っていく必要がある。				

事務事業名	病児保育事業			決算書 掲載ページ	248
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	02	児童福祉費	担 当	保育課	
目	04	児童福祉施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,863		20,256	0	3,607
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	13,708		0	0	6,548
目 的	保育所入所児童などが発病した際に児童を預けることができる病児保育室を開設することにより、働きながら安心して子育てのできる環境を整備する。				
取組内容・実績	病児保育室「ムーミンハウス」の運営業務を国立病院機構新潟病院に委託し、162人の利用登録があり、延べ394人が利用した。また、病児保育室「びっころ」の運営業務を柏崎総合医療センターに委託し、83人の利用登録があり、延べ129人が利用した。				
成 果	保護者の子育てと就労の両立の支援、児童の健全な発達を促進することができた。				
課題・今後の方向性	病児保育の充実について利用者ニーズを確認しながら、病児保育事業実施主体等と協議・検討を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-1 支え合いの地域づくりを進める

#### 4 款 衛生費

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	生活保護費			決算書 掲載ページ	252
款	03	民生費	会 計	一般会計	
項	03	生活保護費	担 当	福祉課	
目	02	扶助費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	928,118	928,118	0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	663,090	0	0	265,028	
目 的	生活保護受給世帯及び中国残留邦人等支援給付金受給世帯の最低生活を維持し、自立を図る。				
取組内容・実績	対象となる方に、生活保護費及び中国残留邦人等支援給付金を支給した。 令和5（2023）年3月現在、生活保護受給世帯494世帯（受給者595人）、中国残留邦人等支援給付金受給世帯3世帯（受給者4人）				
成 果	生活保護受給世帯及び中国残留邦人等支援給付金受給世帯の最低生活を維持し、自立に向けた支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	物価高騰等により、生活に困窮する方が増加する可能性がある。柏崎市社会福祉協議会を始めとした関係機関と緊密に連携し、必要な方に適切な支援が行き届くよう、継続して取り組む必要がある。				

事務事業名	病院群輪番制病院運営費			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	40,289	40,190	0	99	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	2,090	38,100	
目 的	柏崎・刈羽地域で二次救急医療を担う病院に補助金を交付することにより、地域医療を支える病院の円滑な運営を支援し、住民福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	二次救急医療を担う病院（柏崎総合医療センター、新潟病院及び柏崎中央病院）に対して、輪番制病院の運営に必要な費用を補助した。				
成 果	地域医療を支える病院の円滑な運営に資するとともに、休日及び夜間における二次救急医療体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制を確保するため、継続して実施する必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	病院群輪番制病院設備整備補助事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	79,693		40,213	39,365	115
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,724		0	1,746	17,743
目 的	柏崎・刈羽地域で二次救急医療を担う病院に補助金を交付することにより、柏崎・刈羽地域の休日及び夜間における医療提供体制を確保・推進する。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域で輪番制により、二次救急医療を担う病院（柏崎総合医療センター、新潟病院及び柏崎中央病院）に対して、救急医療に必要な医療設備の整備費を補助した。				
成 果	柏崎地域の休日及び夜間における診療体制の確保・推進につなげることができた。				
課題・今後の方向性	地域における救急医療体制の確保、機能の充実を図るため、継続して実施する必要がある。				

事務事業名	医師確保対策事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	658		534	0	124
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	534
目 的	柏崎地域の医療機関に勤務する医師や研修医を確保することにより、地域医療の体制整備を図るとともに、小・中学生を対象に医療系職種を紹介し、地元出身の医療従事者の増加を図る。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センターに新たに赴任した研修医2人の臨床研修期間中に実施する国内研修を支援するため、補助金を交付した。また、市内小・中学校9校に対し、医師の講話を行った。				
成 果	臨床研修医確保支援補助金を創設したことにより、研修医の確保につながり、地域医療の体制整備を図ることができた。小・中学生を対象に医師講話を行うことにより、将来の進路選択への意識付けを図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して事業を行うことにより、地域医療の体制確保を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	地域医療推進事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,213		12,047	0	166
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	12,047
目 的	地域医療に関する情報提供や啓発活動を実施することにより、受診行動の適正化や地域医療の確保を推進するとともに、AEDの適切な管理による地域救急医療の充実を図る。				
取組内容・実績	市内小・中学校に対し、AI救急相談アプリや夜間の救急医療電話相談のチラシを配布し、医療機関への受診行動の改善などの啓発活動を行った。また、AEDの適正配置による、地域救急医療の充実を図った。				
成 果	啓発活動を行うことで、救急医療の仕組み、急病時の対処法、救急車の適正な利用方法などについて対象者の理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	今後も積極的な地域医療に関する情報提供や啓発活動を行うことにより、受診行動の改善などにつなげていく必要がある。				

事務事業名	看護師就職支援事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,232		19,600	0	1,632
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	718	18,882
目 的	市内の病院、訪問看護ステーション、介護施設等に勤務する看護師を確保し、医療体制の維持・充実を図る。				
取組内容・実績	市内の病院等に就職した看護師76人に対し、就職助成金を交付した。				
成 果	市内に新たに就職する看護師に就職助成金を交付したことにより、病院等に勤務する看護師を確保することができた。さらに、転入者には助成金を加算することで、転入の促進にもつなげることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して事業を行うことにより、病院等の体制確保を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	勤務医・看護師子育てサポート事業			決算書 掲載ページ	254
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,467		2,467	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,467
目 的	病院に勤務する医療従事者の子育て支援を図ることにより、出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職を促進する。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センター内の託児施設の運営費に対し、補助金を交付した。 ・利用職員数6人（看護職員6人）延べ児童数710人				
成 果	出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職を促進したことにより、医療従事者の確保及び地域医療体制の充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、病院に勤務する医療従事者の子育てを支援することにより、出産・育児による離職防止や在宅看護師の再就職を促進する必要がある。				

事務事業名	看護学生確保支援事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,100		5,100	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,100
目 的	看護師養成所に入学する学生を支援、確保することにより、市内の病院などに勤務する看護師確保を促進する。				
取組内容・実績	新潟病院附属看護学校に入学した43人に対し、入学祝い金を交付した。				
成 果	看護学生を確保することにより、市内の病院などに勤務する看護師確保の促進につなげることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、看護学生を支援することにより、看護師確保を促進し、地域医療の体制確保を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	キャリアアップ支援事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,176		2,686	0	1,490
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,686
目 的	キャリアアップを目指す看護師の就職先としての病院の魅力を向上させ、看護師の就業促進と定着を図る。				
取組内容・実績	認定看護師資格の取得を目指す看護師が、教育機関で教育課程を受講する期間に生じる病院の給与費に対し、補助金を交付した。				
成 果	認定看護師資格取得を推進する病院に対し補助金を交付することにより、キャリアアップを目指す看護職員の就職先としての病院の魅力を向上させ、市内病院への就職を促進することができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、認定看護師資格取得支援の充実を図ることにより、キャリアアップを目指す看護職員の就職先としての病院の魅力を向上させ、市内病院への就職を促進する必要がある。				

事務事業名	公的病院運営支援事業			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	88,473		88,473	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	88,473
目 的	二次救急や災害拠点時等の拠点となる中核的な公的病院において、地域に必要な医療提供体制の確保及び充実を図る。				
取組内容・実績	柏崎総合医療センターにおける救急医療、小児医療の運営費に対し、補助金を交付した。 ・救急医療病床利用者数1,567人 ・小児専用病床利用者数28人				
成 果	柏崎地域の公的病院である柏崎総合医療センターにおいて、地域医療の確保及び充実を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して、柏崎地域の公的病院である柏崎総合医療センターに対し運営費を補助することで、地域医療の確保及び充実を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1 心と体の健康づくりを進める

事務事業名	新型コロナウイルス感染拡大防止対策事業費			決算書 掲載ページ	256
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,219		1,185	0	34
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	497		0	0	688
目 的	新型コロナウイルス感染症拡大下での医療体制の増強を図る。				
取組内容・実績	柏崎市刈羽郡医師会、柏崎薬剤師会の協力を得て、ゴールデンウィーク及び年末における医療機関、院外薬局を臨時に開設した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大下での発熱外来対応の増強を図ることができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和4（2022）年度で終了する。				

事務事業名	保健福祉相談支援事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,655		5,003	0	1,652
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	18	4,985
目 的	メンタルヘルス不調や精神的な疾患・障がいに悩む人が、早期から適切な医療や制度につながるように支援し、市民の精神保健福祉の向上を図る。				
取組内容・実績	専門的な相談に対応する精神保健相談員を配置し、保健師と共に電話、来所相談、訪問等により、メンタルヘルス不調など精神保健福祉に関する相談（延べ1,263人）に対応した。				
成 果	個々の状況に合わせて関係機関と連携し、受診や就労、福祉サービスの利用など、専門的な助言指導や必要な支援につなぐことにより、相談者の不安の軽減、心の健康の保持増進、日常生活の維持・改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	健康問題だけではなく、就労・経済・家庭問題など、相談が複雑化・多様化しており、関係機関と連携した支援が求められている。心の健康づくりに関する普及啓発や相談窓口の周知啓発を継続し、関係機関と連携しながら市民の相談に適切に対応していくため、保健福祉の向上を図る必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	自殺予防対策事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	760		621	0	139
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	338		0	0	283
目 的	市民一人一人の気付きと見守りを促し、心の健康づくりを推進する。また、自殺対策行動計画改訂版に沿った取組を推進し、自殺率（人口10万人当たりの自殺者数）の低下を目指す。				
取組内容・実績	民生・児童委員、介護従事者、高校生、大学生、教職員、市職員等を対象に、こころのゲートキーパー養成研修（基礎編20回、延べ627人）を実施した。また、SOSの出し方に関する教育を、市内小学校6校、中学校2校、特別支援学校1校の児童生徒（延べ568人）を対象に実施した。				
成 果	ゲートキーパー研修、SOSの出し方に関する教育において、早期相談の大切さの理解を深めることができた。周囲の方の変化に気付き、適切な対応を行うための啓発を通じて、一人一人の気付きと見守りについて考えることができた。研修を通じて自殺対策に関わる人材育成、資質の向上、連携を深めることができた。				
課題・今後の方向性	幅広い年代、職域に対して、ゲートキーパー研修、SOSの出し方に関する教育を実施し、自殺予防の普及啓発活動を更に推進する。引き続き、自殺対策に関わる人材育成、資質の向上、連携強化を図る必要がある。				

事務事業名	ひきこもり支援事業			決算書 掲載ページ	262
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,621		7,777	0	2,844
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,888		0	26	3,863
目 的	関係機関と連携しながら、学齢期から成人までの切れ目のない一貫した支援を展開する。当事者及び家族の相談に丁寧に対応しながら、ひきこもり当事者の自立を支援する。				
取組内容・実績	関係機関と連携した上で、55人（新規6人、継続49人）に継続的に支援を実施し、延べ1,301件の相談（電話、来所、訪問等）に対応した。あわせて、当事者交流会（5回）、居場所支援（36回）、家族の会（9回）を開催した。また、事業を紹介したリーフレットやカードの設置を医療機関や介護事業所等に依頼し、ひきこもり支援事業の周知活動を行った。				
成 果	関係機関と連携し、当事者のニーズに合った専門的な機関（医療機関や相談支援事業所等）につながることができた。また、事業の周知に力を入れたことから、リーフレットやカードを見て相談につながるケースがあった。				
課題・今後の方向性	ひきこもり当事者とその家族が相談につながるよう、ひきこもり支援事業の周知を継続する。また、関係機関と連携しながら就労支援を行うとともに、様々な理由から就労による自立が困難な当事者が必要な生活支援を受けられるよう、専門機関やサービスへのつなぎを行う必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	母子健康診査費			決算書掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	58,113		49,103	0	9,010
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	11,038		0	7	38,058
目 的	妊婦、乳児・幼児の健康診査を行うことで、母と子の健康を保つ。				
取組内容・実績	母子手帳の交付時に健康相談を366件実施した。妊婦健康診査（1人14回まで）は、実人数366人、延べ4,609人に実施した。乳幼児健康診査は、集団形式で4か月、10か月、1歳6か月、3歳の健診を、医療機関委託で6か月の健診をそれぞれ実施し、延べ1,990人が受診（平均受診率97.3%）した。1歳6か月、3歳児健診に臨床心理士を配置し、3歳児健診では、3月から視覚検査に屈折検査機器を導入した。				
成 果	妊婦健康診査費の助成では、出産に係る経済負担を軽減することができた。乳幼児健診では、臨床心理士の配置により早期療育体制を強化することができた。また、視覚検査において、屈折異常を早期に発見する屈折検査機器を導入したことで、異常の早期発見・早期治療につなげることができた。				
課題・今後の方向性	屈折検査機器による視覚検査を年度の終わりから導入したため、同じ学年の中で、誕生日により検査の受診に差が生じている。令和元（2019）年度生まれで、屈折検査を受ける機会がなかった方に検査の機会を提供する必要がある。				

事務事業名	母子訪問指導事業			決算書掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,068		1,802	0	266
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	936		0	0	866
目 的	妊産婦や乳幼児の保護者に対し、妊娠・出産・育児についての相談支援や情報提供を行うことで、育児不安や育児負担の軽減を図る。				
取組内容・実績	産婦及び新生児を対象に助産師による訪問指導を、産婦に対して実件数371件、延べ372件、新生児に対して実件数376件、延べ393件実施した。また、こんにちは赤ちゃん訪問事業として、地域の主任児童委員が、生後2か月頃に321件の訪問を実施し、子育て情報、相談窓口の紹介を行った。				
成 果	令和4（2022）年度から開始した産婦健診助成事業（産後2週間及び4週間）と合わせ、支援者による切れ目のない見守り支援体制を構築することができた。				
課題・今後の方向性	産後うつや早期発見並びに育児不安及び育児負担の軽減を図るため、切れ目のない見守り支援体制を今後も継続する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2 安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	未熟児養育事業			決算書 掲載ページ	264
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,302		2,850	0	1,452
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	563		0	314	1,973
目 的	出生後速やかに適切な処置を行う必要がある未熟児に係る医療費の一部を助成し、未熟児の健康の保持や推進を図る。				
取組内容・実績	出生時体重が2,000g以下又は医師の診断により養育医療指定医療機関（未熟児等の集中治療室のある病院）において入院療養が必要と認められた8人の入院医療費の一部を助成した。				
成 果	医療費助成をきっかけに、入院中から情報交換を行うことで、退院後も切れ目のない支援を継続することができた。				
課題・今後の方向性	未熟児は、正常児と比べて様々な発育不良などがあり、疾病にかかりやすく、その死亡率は極めて高いものとなっている。また、心身の障がいを残すことも多いため、出生後に速やかに適切な医療処置を行う必要があることから、事業を継続する必要がある。				

事務事業名	産後ケア事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,109		3,224	0	1,885
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,498		0	0	1,726
目 的	退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートなどを行うことで、産後も安心して子育てができる支援体制を確保する。				
取組内容・実績	令和4（2022）年度から産婦健康診査（産後2週間及び1か月）の助成と産後ケア事業を開始した。産婦健康診査では、延べ581人に助成した。産後ケア事業は、実人数5人、延べ18日の利用があった。				
成 果	産婦健康診査に併せ、産後うつ質問票を記入してもらったため、ハイリスク者を早期に把握し、支援することができた。産後ケア事業は、出産後、心身の負担が大きい時期に利用していただくことができた。				
課題・今後の方向性	産後うつ病の早期発見、早期支援のため、産婦健康診査の助成及び産後ケア事業は継続する必要がある。また、産後ケア事業は、現在1医療機関での実施となっているが、多様化したニーズに応えるため、委託医療機関の拡大が必要である。				



第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2 子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-1 結婚や出産を望む人の希望をかなえる

事務事業名	妊産婦医療費助成事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,731		19,041	0	1,690
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	19,041
目 的	妊産婦の医療費を助成し、経済的負担を軽減する。また、妊産婦の疾病の早期発見と早期治療を促進し、安心して子どもを産み育てることができる環境をつくる。				
取組内容・実績	受給者証を362件交付し、18,841,353円分の医療費を助成した。				
成 果	妊産婦の経済的負担を軽減するとともに、受診の促進を図り、疾病の早期発見と早期治療に寄与した。				
課題・今後の方向性	子どもを安心して産み育てられるように、引き続き経済的負担を軽減する必要がある。				

事務事業名	不妊治療助成事業			決算書 掲載ページ	266
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	01	保健衛生総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,300		4,243	0	1,057
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	4,243
目 的	不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減する。また、不育治療も対象とすることで、妊娠を希望する夫婦の治療の選択肢を増やし、安心して妊娠を望む環境づくりにつなげる。				
取組内容・実績	令和4(2022)年4月から、不妊治療が保険適用となったが、自己負担分が高額となる生殖補助医療(体外受精、顕微授精等)を必要とする48組、71件に対し、費用の一部を助成した。				
成 果	不妊治療を行う夫婦の経済的負担の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	現在、助成対象は生殖補助医療(体外受精、顕微授精等)のみだが、一般不妊治療(タイミング法及び人工授精)にも対象を広げ、妊娠を望む夫婦の経済的負担を軽減する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-2子どもを産み育てやすい『健やかな』環境をつくる
	③-2-2安心して子育てができる環境を充実させる

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業			決算書 掲載ページ	268
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	865,959		675,788	0	190,171
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	568,749		0	0	107,039
目 的	国が示す新型コロナワクチンの無料接種を行うことで、感染者の重症化リスクを減らし、感染拡大を抑制する。				
取組内容・実績	医療機関、医師会や薬剤師会の協力を得てワクチン接種体制を構築し、接種を希望する市民に接種を実施した。				
成 果	ワクチン接種の実施により、新型コロナウイルス感染症の拡大及び感染症の重症化を防ぐことができた。				
課題・今後の方向性	感染拡大防止のため、継続してワクチン接種事業を行っていく。				

事務事業名	予防接種事業			決算書 掲載ページ	270
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	子育て支援課	
目	02	予防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	216,261		130,131	0	86,130
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	65,319		0	11	64,801
目 的	予防接種の実施により、感染症の発生及びまん延の防止、り患した場合の重症化を防止し、公衆衛生の向上と市民の健康保持を図る。				
取組内容・実績	予防接種法に基づく乳幼児の定期予防接種について、委託医療機関において個別接種を実施した。令和4（2022）年4月から子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨を再開した。				
成 果	定期予防接種の接種時期に合わせ、個別に通知し、費用を助成することで、感染症の予防に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	子宮頸がん予防ワクチンの接種率が低いことから、情報提供や接種勧奨を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	がん検診費			決算書 掲載ページ	272
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	121,972		113,380	0	8,592
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	142		0	5,082	108,156
目 的	がん検診やがん検診無料クーポン配布、がん検診に係る機器の整備により、がんの早期発見・早期治療につなげ、健康水準の向上を図る。				
取組内容・実績	5月から11月まで（乳がん検診・子宮頸がん検診は1月まで）検診を実施した。肺がん検診は12,010人、胃がん健診は4,082人、大腸がん検診は8,094人、乳がん検診は2,480人、子宮頸がん検診は2,134人、前立腺がん検診は2,562人が受診した。無料クーポン券での受診者は、乳がん検診（41歳）が99人、子宮頸がん検診（21歳）が28人だった。				
成 果	肺がん検診で13人、胃がん健診で10人、大腸がん検診で24人、乳がん検診で8人、前立腺がん検診で4人にがんが見つかり、早期発見・早期治療につなげることができた。				
課題・今後の方向性	受診率を新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復させるため、感染症対策を行うとともに、検診の重要性を引き続き周知する必要がある。				

事務事業名	健康増進事業			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,087		1,374	0	713
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	385		0	0	989
目 的	第二次健康増進計画に基づき、健康教育、健康相談を行い、健康づくりの推進を図るとともに、特に青壮年期の市民に対しては、職場を通じた健康づくりを実践する契機とする。また、64歳以下の方のコツコツ貯筋体操への継続参加を促進する。				
取組内容・実績	集団健康教育を114回、延べ1,579人、健康相談を137回、延べ4,709人に実施した。企業向けの出前講座は、15事業所に22回実施し、延べ416人が参加した。また、健康づくり宣言事業には35事業所・団体、618人が参加した。64歳以下の骨筋ポイント事業には20人が申請した。				
成 果	各年代や対象に合わせた健康教育及び健康相談を実施することにより、健康づくりのきっかけとなり、生活習慣の改善、継続的な取組につなげることができた。また、事業の実施に当たり、地域や職域等の関係機関と連携を図ることができた。				
課題・今後の方向性	引き続き健康教育や健康相談の実施に向けた働きかけを強化する必要がある。また、職場を通じた健康づくりを更に推進するため、関係機関と連携して事業の周知を行う必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	歯科保健事業			決算書 掲載ページ	274
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,744		7,231	0	1,513
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	833		0	337	6,061
目 的	妊娠期、青壮年期、高齢期に対する歯周病予防と、子どもたちに対するむし歯予防の推進を図る。				
取組内容・実績	歯科健康相談を5回開催し、市民の歯科に対する相談に対応した。歯周病検診は、個別1,199人、集団338人が受診した。20歳、30歳、40歳、50歳、60歳の方に無料クーポンを配布し、381人が利用した。妊婦クーポンは77人、パートナークーポンは28人が利用した。また、フッ化物洗口について保護者へ情報提供を行った。				
成 果	節目年齢の対象者並びに妊婦及びそのパートナーに無料クーポンを配布することにより、青年期の受診につなげることができた。フッ化物洗口についての情報提供により、保護者の理解の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	歯科保健推進会議における委員の意見を反映し、妊婦の歯周病予防や、青年期の男性の歯科健診の受診者を増やす取組を実施していく必要がある。また、節目年齢、妊婦及びそのパートナーへの無料クーポンも継続し、定期的な歯科健診の定着を目指す。				

事務事業名	高齢者保健・介護予防一体化事業			決算書 掲載ページ	276
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	健康推進課	
目	03	健康増進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,764		3,165	0	599
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,763	402
目 的	高齢者の自立した生活の実現と健康寿命の延伸を図るため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を推進する。				
取組内容・実績	フレイル予防の健康教育を、コソコソ貯筋体操161会場1,721人に実施した。また、令和2(2020)年度、令和3(2021)年度の健診・医療未受診かつ介護保険未申請の77歳から80歳までの57人に健康調査を実施し、未回答者や必要な方には訪問等による支援を実施した。				
成 果	高齢者に対し、広く「フレイル予防(食生活)」について啓発することができた。また、健診・医療未受診かつ介護保険未申請の健康状態不明者の健康状態を把握し、必要な支援につなげることができた。				
課題・今後の方向性	「フレイル予防」を啓発する中で、口の衰えを感じている人が多かったため、「オーラルフレイル予防(お口の健康)」について啓発が必要である。また、健診・医療未受診かつ介護保険未申請で健康状態不明の77歳の方を継続して、健康調査をしていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

事務事業名	地球温暖化対策推進事業			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,565		2,519	0	46
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,000	1,519
目 的	地球温暖化に対する問題意識の醸成や脱炭素型ライフスタイルへの転換を促し、市民が環境行動を実践できるよう、意識啓発を行う。				
取組内容・実績	子どもの環境意識を育むため、小・中学校向け環境教育プログラムを5校116人、保育園向けエコ教室を7園347人、クリーンセンター見学時の講話を20団体616人に実施した。自動車の温室効果ガス排出を考えるノーマイカーウィーク&エコドライブモニターは合計で3,249人が参加し、自ら取り組める対策を考える緑のカーテンには、市民・事業所40件が参加した。また、水素事業の展開を先行的に目指す事業者と共に、地域における水素の利活用促進策を検討した。				
成 果	子どもの環境意識の醸成は、小規模校からの申込みが多く、受講者が減少したものの、好評を得た。 自動車の温室効果ガス排出については、施策展開により9.6tの削減効果があり、成果の公表等により、環境への理解や関心を深めることができた。また、水素の利活用は水素モビリティが最も現実的との見解に至ったため、水素事業の地域産業への波及を念頭に継続して検討することとした。				
課題・今後の方向性	脱炭素社会に向けて取り組める対策や温室効果ガス排出量の削減効果を市民や事業者に分かりやすく伝える必要がある。また、水素事業の展開を先行的に目指す事業者と共に、地域における水素の利活用促進策を検討する。				

事務事業名	ECO2プロジェクト事業			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,314		883	0	431
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	883
目 的	事業者が行う環境活動をポイント制による補助金で支援することにより、地球温暖化対策や環境保全に向けた組織的な取組の活性化を図る。				
取組内容・実績	事業者向け燃料費等高騰緊急対策助成金などと連携したことで、登録事業者が1,706事業者にまで飛躍的に増加したほか、緑のカーテン25事業者、省エネモニター11事業者などにポイントを付与した。また、環境負荷の少ない製品等の導入28件に対して、800,539ポイント分の補助金を交付した。				
成 果	地球温暖化対策や環境保全に向けた組織的な取組の活性化を図ることができたほか、大幅な登録事業者の増加により、更なる組織的な取組促進の基盤を構築することができた。				
課題・今後の方向性	組織的な環境活動を活発に取り組めるよう、登録事業者の大幅増加をいかした仕組みを構築する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-1 地球温暖化対策を進める

第五次総合計画上の位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

事務事業名	低炭素型設備機器導入補助事業			決算書 掲載ページ	278
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	環境課	
目	04	環境衛生費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	78,762		51,332	0	27,430
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	42,870		0	4,000	4,462
目 的	市民や市内事業者に対して、温室効果ガス排出量削減に有効な高効率設備機器の導入を促し、普及促進を図る。				
取組内容・実績	低炭素型設備の補助金により、太陽光発電+HEMS・定置用蓄電池5件、HEMS・定置用蓄電池4件、エネファーム12件、木質バイオマスストーブ5件、EV19台、PHEV8台が市民や事業者に導入された。また、国の交付金を活用した補助制度を創設したことにより、一般家庭のエアコン671台が省エネ型エアコンに買換えられた。				
成 果	市域の温室効果ガス排出量削減につながったほか、一般家庭における低炭素エネルギー利活用の具体例提示により、創エネ・省エネの理解促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	補助対象とする創エネ・省エネ設備機器の検討や、EVや水素モビリティの普及促進策の検討など、脱炭素社会に向けた効果的な補助金制度を展開していく必要がある。				

事務事業名	休日急患診療所管理運営費			決算書 掲載ページ	282
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,937		6,550	0	387
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	309	6,241
目 的	柏崎・刈羽地域の休日の歯科救急医療体制を整備することにより、市民の健康増進を図る。				
取組内容・実績	柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として、日曜日・祝日など、歯科休日急患診療所を70日開設し、108人（うち健診18人）が受診した。				
成 果	歯科休日急患診療所の開設により、日曜日・祝日などにおける歯科診療体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	今後も、柏崎・刈羽地域の歯科救急医療施設として、日曜日・祝日などに歯科休日急患診療所を開設する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-2 安心できる医療体制を堅持する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

事務事業名	休日・夜間急患センター運営費			決算書 掲載ページ	284
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	01	保健衛生費	担 当	国保医療課	
目	06	休日急患診療所費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	40,775		40,745	0	30
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,119	38,626
目 的	休日・夜間の初期救急医療体制を確保する。				
取組内容・実績	休日・夜間急患センターを延べ734人(315日開設)、院外薬局を延べ601人(315日開設)が利用した。				
成 果	休日・夜間急患センターと休日夜間急患センター院外薬局の運営費を補助し、休日・夜間の初期救急医療体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	柏崎・刈羽地域の休日・夜間の救急医療体制を維持していくために、休日・夜間急患センター及び休日夜間急患センター院外薬局の運営を補助していく必要がある。				

事務事業名	ごみ減量化・リサイクル対策費			決算書 掲載ページ	286
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	47,021		42,363	0	4,658
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	42,363
目 的	循環型社会への移行を実現するため、ごみの発生抑制、資源の再利用と再生利用により資源の有効活用を総合的に進め、3R(スリーアール)を推進する。				
取組内容・実績	資源物の分別収集を行い、リサイクル処理を行った。 ごみの総排出量は、26,328tで前年度比404t減少、資源物の収集量は、5,167tで前年度比245t増加し、資源化率は、前年度比1.1%増の20.7%となった。 有価物の売却額は、37,958千円となり、前年度に比べ10,974千円の増加となった。				
成 果	3Rに係る市民周知の継続実施など、廃棄物の適切な排出と処理を推進したことで、ごみの総排出量の減量を行うことができた。また、収集体制の適切な維持管理により、資源物収集量の増量につながった。				
課題・今後の方向性	資源化率を上昇させるために、広報かしわざき、市ホームページなどを通して、更なる周知、啓発を行う必要がある。また、食品ロスの削減などによるごみの発生抑制に係る取組を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

事務事業名	海岸清掃費			決算書 掲載ページ	286
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	20,725		19,941	0	784
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,150		0	0	12,791
目 的	海岸を清掃することで美化と危険な漂着物の早期発見を図る。				
取組内容・実績	4月から8月まで、10月及び3月に延べ104日実施した人力海岸清掃により、134,140kgの、5月から10月までにかけて延べ127日実施したビーチクリーナーによる海岸清掃により8,970kgの漂着物をそれぞれ回収した。				
成 果	全ての海岸を常にきれいな状態に保つことは困難であったが、海水浴シーズンに焦点を当てた海岸美化と環境保全を実施することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、国や県と連携しながら海岸の清掃と美化にできる限り努めるとともに、市の海岸清掃の状況や、地域独自の取組等の情報発信により、海岸美化への意識醸成に努める必要がある。				

事務事業名	資源物リサイクルセンター管理費			決算書 掲載ページ	286
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	01	清掃総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	18,531		17,069	0	1,462
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	17,069
目 的	資源の有効活用を進めるために、家庭から資源物を出しやすい施設の運営を行う。				
取組内容・実績	回収拠点で資源物の回収を行った。新たに開設した佐藤池資源物リサイクルステーションを含む3か所の拠点で資源物の回収を行った。 ・資源物リサイクルセンター：利用者数166,525人、回収量765,894kg ・西本町資源物リサイクルセンター：利用者数54,034人、回収量257,031kg ・佐藤池資源物リサイクルステーション：利用者数4,880人、回収量28,026kg				
成 果	資源物回収拠点の適正な運営管理を行ったことにより、前年度より回収量が67,943kg増加した。				
課題・今後の方向性	資源物回収と拠点運営を継続するとともに、市民ニーズに応える資源物回収拠点の適切な設置方針を定める必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ収集委託費			決算書 掲載ページ	290
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	211,756		211,747	0	9
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	57,746	154,001
目 的	市の責務である一般廃棄物の適正処理に向け、家庭から排出される廃棄物を適正に収集運搬する。				
取組内容・実績	収集業務を委託し、燃やすごみ19,864t、燃やさないごみ707t及び資源物5,167tの収集を行った。				
成 果	市の収集計画に基づき、家庭から搬出される燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ及び資源物を適正に収集運搬することができた。				
課題・今後の方向性	家庭から出されるごみ及び資源物の確実かつ迅速な収集により、地域の環境保全に努める必要がある。				

事務事業名	ごみ処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	290
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	364,260		351,395	0	12,865
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	13,791	337,604
目 的	ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設を円滑に維持管理・運営する。				
取組内容・実績	ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設のオーバーホールを行った。また、ごみ処理場の計装設備の更新修繕を実施した。				
成 果	オーバーホールにより、ごみ処理施設及び粗大ごみ処理施設機能の健全性を維持することができた。また、ごみ処理場計装設備の機能を維持することができた。				
課題・今後の方向性	令和11(2029)年度からの新ごみ処理場の稼働を見込む効率的な定期修繕を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	① -4-2 資源循環型社会を実現する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	ごみ収集事業			決算書 掲載ページ	292
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	68,610		65,680	0	2,930
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	50,309	15,371
目 的	ごみ・粗大ごみの円滑な収集運搬業務を行う。				
取組内容・実績	指定ごみ袋及び粗大ごみ処理券を作成し、市民が購入できる体制を整えた。また、地区ごとのごみ収集カレンダーを作成し、全世帯に配布した。				
成 果	指定ごみ袋、粗大ごみ処理券及びごみ収集カレンダーの配布により、資源物及びごみの収集運搬を滞りなく円滑に実施できた。				
課題・今後の方向性	引き続き、収集計画を策定し、適切に管理することで、円滑な収集業務を実施する必要がある。				

事務事業名	ごみ処理施設建設事業			決算書 掲載ページ	292
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,500		21,298	0	202
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,486		0	812	15,000
目 的	発電設備を有する新ごみ処理場建設に向けて、施設の基本条件を決定し、事業者選定方法を検討する。				
取組内容・実績	新ごみ処理場の建設事業を推進するため、専門の事業者への委託により、施設周辺の生活環境影響調査、境界確認用地測量、施設建設及び運営事業者の選定に係るアドバイザー業務を実施した。				
成 果	生活環境影響調査では、新ごみ処理場建設に係る生活環境への影響を調査し、報告書を取りまとめることができた。境界確認用地測量業務では、建設用地の官民境界の確認を行った。また、事業者選定アドバイザー業務の中で、施設基本条件を検討し、見積用要求水準書を作成した。				
課題・今後の方向性	引き続き、事業者選定アドバイザー業務にて、物価上昇の影響を踏まえた建設及び運営に係る事業費の精査等を行い、事業者選定の準備を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-2 資源循環型社会を実現する

事務事業名	ごみ最終処分事業			決算書 掲載ページ	292
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	02	塵芥処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	69,703		0	9,340	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	0		18,764	41,599	
目 的	一般廃棄物最終処分場の適正管理を行う。				
取組内容・実績	中間処理した一般廃棄物2,852tの最終処分を行った。また、2号ピットに加え、1号ピットの埋立てを開始した。				
成 果	一般廃棄物の最終処分を適正に実施できたほか、最終処分場を適正に運用することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、適正管理に努めるほか、埋立量が減少傾向にある埋立量に合わせたピットの効率的な利用の検討を進める。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	し尿処理施設整備事業			決算書 掲載ページ	296
款	04	衛生費	会 計	一般会計	
項	02	清掃費	担 当	環境課	
目	03	し尿処理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	15,500		0	100	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	0		2,097	13,303	
目 的	し尿処理施設を円滑に維持管理・運営する。				
取組内容・実績	し尿処理施設のオーバーホールを行った。				
成 果	オーバーホールにより、し尿処理施設機能の健全性を維持することができた。				
課題・今後の方向性	令和7(2025)年度から、し尿等を下水道処理するため、修繕範囲を精査しながら施設の機能を維持する必要がある。				

## 5 款 労働費

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	ワークプラザ柏崎整備事業			決算書 掲載ページ	298
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	46,261		44,576	0	1,685
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		40,100	0	4,476
目 的	施設利用者の安全性確保や利便性向上を図る。				
取組内容・実績	多目的ホール天井の耐震補強工事を行った。また、多目的ホールの照明を水銀灯からLEDに取り換えた。				
成 果	多目的ホール天井の耐震補強工事を行い、施設利用者の安全性を確保することができた。また、多目的ホールの照明を水銀灯からLEDに取り換えることで、施設利用者の利便性を向上することができた。				
課題・今後の方向性	施設の老朽化により、修繕等が必要な設備が増えているため、優先順位を付けながら、計画的に施設整備を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	雇用促進事業			決算書 掲載ページ	298
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,792		6,209	0	6,583
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,209
目 的	柏崎職安管内雇用促進協議会への負担金の支出や市内中小企業への採用活動支援補助金の交付を通して、管内の労働力の確保と若者の地元定着を図る。				
取組内容・実績	柏崎職安管内雇用促進協議会の事業費の一部を負担し、企業説明会（7月：高校3年生延べ340人、3月：大学生等40人）やU・Iターンフェア（参加企業4社、参加者22人）、OJTスキル向上のためのセミナー（参加者23人）を行った。また、市内中小企業等に対して、採用活動にかかった経費への補助を行った（交付事業者数：13社）。				
成 果	企業説明会の開催により、管内の企業と高校生・大学生等の面談の機会を設けることができ、地元企業への理解を深めることができた。また、企業の採用活動を促進することで、地元での就職を促進することができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化や人口減少とともに若者の管外流出が顕著となる中、柏崎管内の仕事を知ってもらい、若者の地元定着及びU・Iターンを促進するために、本事業を継続して行う必要がある。また、採用活動支援補助金が令和5（2023）年度で終期を迎えるため、令和6（2024）年度以降の取り組み方を検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	若年者就労支援事業			決算書 掲載ページ	298
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,678		9,580	0	98
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,580
目 的	対象者の職業マッチングを支援し、就労促進と雇用の安定化を図る。				
取組内容・実績	ハローワーク柏崎と連携し、まちなかに就労ワンストップ窓口「ワークサポート柏崎」を設置した。職業相談員を配置し、求人情報の提供、就労サポート相談、職業適性検査、就職支援セミナー等の就労支援を行った。 求職相談件数：883件、セミナー回数：18回、39人参加				
成 果	専門知識を有する相談員の配置や就職支援セミナーを実施することにより、24人の相談者を就職につなぐことができた。				
課題・今後の方向性	相談実施の後、求人への応募活動まで至らない利用者も一定数いることから、セミナーの実施や他機関との連携を図りながら、利用者に合わせて支援を実施する必要がある。				

事務事業名	女性活躍推進事業			決算書 掲載ページ	300
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	800		466	0	334
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	466
目 的	女性の能力発揮に資するよう、女性が働きやすい職場づくりを促すことにより、女性の活躍推進を図る。				
取組内容・実績	中小企業等女性活躍推進事業助成金について、市ホームページやチラシ等で周知するとともに、企業訪問や企業向け説明会等において周知を図り、2事業所に交付した。				
成 果	中小企業等女性活躍推進事業助成金を交付することにより、女性専用トイレの設置や育児・介護による離職防止のための就業規則の改正など、女性が働きやすい職場環境の整備を進めることができた。また、ハード・ソフトの両面から女性が活躍しやすい職場環境の整備等に取り組めるよう、助成制度を改正した。				
課題・今後の方向性	企業訪問等により助成制度について周知し、ハード・ソフトの両面から支援することにより、女性が活躍しやすい職場環境の整備等を進める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	障がい者活躍推進事業			決算書 掲載ページ	300
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,161		3,854	0	307
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,854
目 的	障がい者雇用に積極的な企業の持つ経験やノウハウを活用し、障がい者雇用へ取り組みもうとする事業所への支援を行う。				
取組内容・実績	障がいのある方の活躍推進に向けたセミナーの開催（11月：参加企業22社、参加福祉事業所6事業所）や事業所からの障がい者雇用に係る相談に対応する障がい者活躍推進アドバイザーの派遣を委託実施した（相談件数2件）。また、国の障害者トライアル雇用の助成金を活用した市内事業所に対して、補助金を交付した（13社）。				
成 果	セミナーの開催によって、障がいのある方に対するイメージ改善や福祉事業所と企業との相互理解につながり、障がいのある方の活躍推進に向けた意識を高めることができた。また、アドバイザーの派遣によって、相談企業の悩みに真摯に対応したほか、助成金の交付によって障がい者雇用を促進することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、企業に対して、障がい者雇用への取組を働きかけるとともに、障がいのある方の活躍を可視化できるような取組を行う必要がある。また、アドバイザー事業の利用促進を図る。				

事務事業名	職場環境づくり推進事業			決算書 掲載ページ	300
款	05	労働費	会 計	一般会計	
項	01	労働諸費	担 当	商業観光課	
目	01	労働諸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		1,200	0	800
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,200
目 的	企業等が取り組む仕事と家庭の両立を支援することにより、働き続けながら子育てや介護ができる職場環境の整備を促進する。				
取組内容・実績	仕事と家庭の両立支援奨励金について、市ホームページやチラシなどで周知するとともに、企業訪問や企業向け説明会などにおいて周知を図り、6件交付した。				
成 果	仕事と家庭の両立支援奨励金を交付することにより、仕事と家庭の両立支援に関する事業主の取組を促し、継続就業できる職場環境の整備を進めることができた。また、男性の育児休業取得を促進するため、育児休業を取得した男性労働者を交付対象に加えた新たな支援制度を創設した。				
課題・今後の方向性	男性の育児休業取得促進事業奨励金についての周知に加えて、育休取得のメリットや育休体験を紹介することにより、男性の育児休業取得を促進し、中小企業等における仕事と家庭が両立できる職場環境づくりを支援する必要がある。				

## 6 款 農林水産業費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農林水産業総合振興事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	36,364		0	4,200	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	30,578		0	0	1,586
目 的	農林漁業者の所得の向上と安定化を図るため、機械整備等に対する費用の一部を助成し、経営規模の拡大、作業効率及び品質の向上並びに販路拡大の支援を行う。				
取組内容・実績	市内農林漁業者5者に対して、総額31,418千円の補助金を交付した。				
成 果	農林水産業総合振興事業補助金の交付により、農林漁業者5者の生産活動の活性化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	補助事業を活用しながら、市内農林水産業の活性化を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農業被害鳥獣対策事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	7,970		0	2,708	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,262
目 的	農業者等が設置する電気柵を維持するため、更新に必要な機材費用の一部を補助し、持続的な農作物の被害防止を図る。また、わな猟免許の取得費用の一部を補助し、担い手の確保に努める。新たに鳥獣被害対策実施隊を設立し、組織強化を図り、より地域の実情に応じた被害対策や継続した人材確保に努める。				
取組内容・実績	有害鳥獣駆除として、イノシシ179頭、二ホンジカ7頭の駆除を行うとともに、農業被害のあった21の集落に対して、新たに46,361mの電気柵を整備した。耐用年数8年を超え電気柵の更新を必要とする電気柵設置者6人に対し、2,038千円の補助金を交付した。鳥獣被害対策実施隊員21人が延べ1,086時間の被害防止活動に従事し、被害対策に取り組んだ。				
成 果	イノシシ及び二ホンジカの駆除、電気柵等による侵入防止対策等、総合的な被害対策を進めることにより、農作物被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	農業を守る上で繁殖率が高いといわれるイノシシに対して、人口減少が進む社会に適応可能な野生動物管理の必要があるため、有害鳥獣対策を実施する担い手の確保やICT機器の導入等を進め、被害対策の効率化を目指す。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

事務事業名	生活環境鳥獣対策事業			決算書 掲載ページ	310
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,593		254	0	1,339
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	91		0	0	163
目 的	鳥獣を寄せ付けない対策を進めることにより、人身及び物損被害の未然防止を図る。また、第1種銃猟免許の取得費用の一部を補助し、有害鳥獣捕獲の担い手を育成・確保する。				
取組内容・実績	有害鳥獣捕獲の担い手を育成・確保するため、猟銃免許取得者4人に対してその費用の一部、合計184千円を補助した。				
成 果	有害鳥獣捕獲の担い手の人材育成・確保を図り、集落や市街地に出没した有害鳥獣を駆除することにより、野生鳥獣からの人身及び物損被害の未然防止につなげることができた。				
課題・今後の方向性	狩猟者の減少・高齢化が進む中で、今後も継続して、有害鳥獣捕獲の担い手の人材育成・確保を図る必要がある。				

事務事業名	青年就農支援事業			決算書 掲載ページ	312
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,810		5,250	0	1,560
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	5,250		0	0	0
目 的	新規就農者の経営安定を図る。				
取組内容・実績	対象者4人に対し、合計5,250千円を交付した。				
成 果	補助金の交付により、就農当初において不安定な経営状態である新規就農者の経営安定化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	補助事業を活用しながら、新規就農者の経営安定化を図る必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-1 雇用環境や就労機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	新規就農者育成支援事業			決算書 掲載ページ	312
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,661		2,122	0	539
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,122
目 的	新規就農者の雇用創出や、農業法人などの人材育成を図る。				
取組内容・実績	法人3社に対し、2,121,549円の補助金を交付した。				
成 果	補助金の交付により、新規就農者の雇用促進及び技術習得の支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	市内農業の維持のために、新規就農者の雇用促進や技術習得の支援を行う必要がある。				

事務事業名	園芸振興支援事業			決算書 掲載ページ	312
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,533		6,526	0	7
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,526
目 的	水稲生産だけでなく、園芸作物（主にえだまめ及び玉ねぎ）の生産拡大を支援することにより、経営規模の拡大、作業効率の向上及び販路拡大を推進し、農業者の所得向上を図る。				
取組内容・実績	市内農業者等16人に対し、6,526千円の補助金を交付した。				
成 果	補助金の交付により、作業効率や品質の向上を図り、園芸作物の生産を推進することができた。				
課題・今後の方向性	従来から稲作中心の農業を行ってきた背景があり、着実な園芸作物の増加には至っていないことから、本支援事業を通じて、引き続き関係機関と連携して園芸作物の生産拡大を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	六次産業化支援事業			決算書 掲載ページ	312
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,433		525	0	908
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	525
目 的	六次産業化に必要な支援を行うことで、農業経営の多角化・複合化を図り、農業所得の多様化を促進する。				
取組内容・実績	申請3件に対して、525千円を交付した。				
成 果	補助金の交付により、市内事業者の商品のブランド化や販路拡大を促進することができた。				
課題・今後の方向性	本支援を通じて、市内事業所や個人農家の商品のブランド化、販路拡大につながる六次産業化を促進する必要がある。				

事務事業名	水田農業推進事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,469		7,143	0	3,326
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	26		0	0	7,117
目 的	農地に有機100%肥料や、堆肥を使った農業の普及を図り、安全で安心な農産物の生産を推進する。				
取組内容・実績	農家・農業法人が使用した有機質肥料や、堆肥の購入費の一部について、循環型農業推進事業では57件、7,064,607円を補助、新潟県環境保全型農業拡大緊急支援事業では1件、25,800円を補助した。				
成 果	補助金の交付により、環境負荷が少ない環境保全型農業の取組の推進及び拡大を図ることができた。				
課題・今後の方向性	みどりの食料システム法に基づいた「新潟県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」において、特別栽培農産物等生産面積や温室効果ガス削減生産方式取組面積の拡大を掲げていることから、引き続き、環境保全型農業の取組を推進する必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,927		12,867	0	4,060
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	9,663		0	0	3,204
目 的	温暖化対策や生物多様性保全などに取り組む農業者を支援することで、より環境保全に効果の高い農業の普及を推進する。				
取組内容・実績	282.64haの農地で環境保全型農業に取り組む1団体(40農業者)に対し、12,812,620円の環境保全型農業直接支払交付金を交付した。				
成 果	補助金の交付により、農業者の環境保全に対する意識醸成を図り、環境保全型農業を推進することができた。				
課題・今後の方向性	みどりの食料システム法に基づいた「新潟県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画」において、有機農業や堆肥の施用、長期中干し、秋耕、炭の投入等を行った温室効果ガス削減生産方式取組面積の拡大を掲げていることから環境保全型農業に積極的に取り組む必要があり、取組農業者数の増加に努める必要がある。				

事務事業名	柏崎産米ブランド化推進事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	19,241		13,990	0	5,251
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,935	10,055
目 的	柏崎市認証米「米山プリンセス」を旗艦米とした、多様かつ希少な柏崎産米を消費者に訴求し、米価の影響を受けない有利販売につなげ農業所得の向上を目指す。これにより生産者のモチベーション向上にもつなげる。				
取組内容・実績	30農業者が、50.7haの農地で柏崎市認証米「米山プリンセス」の生産に取り組む、このうち11人、28.7トンが令和4(2022)年産「米山プリンセス」に認証された。令和5(2023)年産「米山プリンセス」のために、有機100%肥料又は堆肥を用いた秋すき込みを行った27農業者に対し、1,614,750円を助成した。また、都内ホテルでの喫食プロモーションやアンテナショップでの販売会を行った。				
成 果	生産者の技術が向上し、認証者数及び認証量が過去最多となった。都内ホテルでの期間限定提供やアンテナショップでの販売会等のプロモーションを通じ、首都圏を中心に周知拡大を図るとともに、参加者アンケートにより、消費者の意見を収集することができた。また、新潟県内及び首都圏の店舗で新規での取扱いがあったほか、認証者への直接注文もあり、ブランド米としての更なる知名度向上及び有利販売につなげることができた。				
課題・今後の方向性	「米山プリンセス」認証制度から5年以上が経過し、収量も年々増加傾向にあることから、より農業者の所得向上や有利販売につなげることができる環境づくりに向け、推進体制の見直しを行う必要がある。また、農業者の更なる技術向上及び柏崎産米の付加価値の向上に向け、引き続き、米の全国コンクール等への出品料の補助を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	経営所得安定対策推進事業			決算書 掲載ページ	314
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,357		11,124	0	2,233
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,320		0	0	804
目 的	経営所得安定対策推進活動に係る経費を助成することで、生産者の農業経営の安定を図る。				
取組内容・実績	主食用米の米価安定に資する経営所得安定対策等のほか、交付金の申請・相談事務、作付現地確認及び普及活動など、柏崎市地域農業再生協議会の活動経費を支援した。				
成 果	柏崎市地域農業再生協議会が行う経営所得安定対策等の申請相談事務に係る経費の一部を支援することにより、生産者の農業経営の安定につながった。				
課題・今後の方向性	制度変更等の情報を迅速に収集し、関係機関と連携しながら事業を進めていく必要がある。				

事務事業名	農業収入保険加入促進事業			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,422		1,105	0	1,317
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	900		0	0	205
目 的	国の農業収入保険制度の加入促進を図る。				
取組内容・実績	農業者20人に対して、1,105千円を交付した。				
成 果	補助金の交付により、農業経営における様々なリスクに対する備えを促進することができた。				
課題・今後の方向性	本支援を通じて、農業経営における様々なリスクの備えにつながる農業収入保険の加入を促進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農業資機材等高騰緊急対策支援事業			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	03	農業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	31,861		0	0	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	31,165		0	0	696
目 的	原油価格の値上げ、物価の高騰等により、肥料、農業薬剤、諸材料、光熱動力等に係る費用に大きな影響を受けている農業経営体（販売農家）に対し、農業経営の下支えを行う。				
取組内容・実績	農業者851人に対し、31,773千円を交付した。				
成 果	物価高騰による農業経営に与える影響を、経営規模に応じて交付金を支給することで、緩和することができた。				
課題・今後の方向性	緊急支援を目的とした令和4（2022）年度だけの事業だが、今後も社会情勢を注視し、適切に対応していく必要がある。				

事務事業名	物価高騰緊急対策支援事業			決算書 掲載ページ	316
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	04	畜産業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	14,945		0	2	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	14,500		0	0	443
目 的	物価高騰で経営に影響を受けている畜産業者の経営の安定化を図り、持続的な発展を支援する。				
取組内容・実績	10事業者へ合計14,940千円を交付し、支援を行った。				
成 果	補助金の交付により、畜産業者の経営の継続・発展を図るとともに、国が推進する環境低負荷型農業及び主食用米から飼料用米や麦等への作付転換を推進する取組を検討した。				
課題・今後の方向性	緊急支援を目的とした令和4（2022）年度だけの事業だが、今後も社会情勢を注視し、適切に対応していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	たん水防除施設改修事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,200		1,941	0	259
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,941
目 的	改修工事を行い、たん水防除施設を適切に稼働させることにより、たん水被害から農業生産基盤を守り、被害を最小限に食い止める。				
取組内容・実績	下方排水機場に水位監視システムを設置した。また、鎌田排水機場の外構補修を実施した。				
成 果	水位監視システムの導入や機場敷地内の外構補修により、たん水防除施設を安全かつ適切に稼働させることに寄与した。				
課題・今後の方向性	たん水防除施設を安全かつ適切に稼働させるために、操作に支障となる設備の改修や改良を継続して実施していく必要がある。				

事務事業名	農業施設改修事業			決算書 掲載ページ	318
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	51,253		47,122	0	4,131
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	8	47,114
目 的	農業用施設の改修・工事及び費用補助を行うことで、施設の機能を維持し、農業生産基盤及び農業生活環境を確保する。				
取組内容・実績	農家組合等の団体が実施した修繕工事に対し、費用の一部を負担した。				
成 果	修繕工事費用の一部負担を行ったことにより、農家組合等の団体の費用負担を軽減し、農業基盤の確保に寄与した。				
課題・今後の方向性	集落における世帯数の減少が予測されるため、適正な維持管理を継続していくための検討が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	一般団体営土地改良事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	22,052		0	2,623	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	0		0	19,429	
目 的	農業団体が行う土地改良事業の負担軽減と農業経営の安定化を図る。				
取組内容・実績	農業団体が実施した軽微な用排水路や農道等の修繕36件に補助金を交付した。				
成 果	農業生産基盤の整備、改修及び修繕に要する経費を補助することで、農業団体の経費負担の軽減と経営の安定化に寄与した。				
課題・今後の方向性	農業用施設の老朽化が進んでいるため、多くの事業要望があり、優先順位を付けて事業を実施する必要がある。				

事務事業名	農用地高度化事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	13,789		0	23	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	0		0	13,766	
目 的	ほ場整備を行わない地域における意欲ある農業者を支援し、担い手の確保と地域農業の維持を図る。				
取組内容・実績	農地区画の拡大集積や付帯施設の改良等の事業9件に補助金を交付した。				
成 果	小規模な農用地の小規模な基盤整備等により、生産性の高い農用地が拡大し、作業の効率化や農業経営の安定化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	ほ場整備事業の導入の可能性を検討の上、ほ場整備事業の補完を前提として適用する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	農村振興総合整備事業－上条			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	144,650		126,934	13,500	4,216
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	79,600		31,600	0	15,734
目 的	上条地区の各種農業用施設の整備をすることにより、農業生産基盤及び農村生活環境の改善・向上を図る。				
取組内容・実績	排水路1路線及び集落道4路線の改良工事を実施した。また、集落防災安全施設L=6.6mと地域資源利活用棟2棟の設置工事を実施した。				
成 果	排水路1路線、集落道4路線の改良及び集落防災安全施設と地域資源利活用棟2棟の設置が進み、上条地区の農村環境の改善・向上に寄与した。				
課題・今後の方向性	上条地区の農村生活環境を早期に改善するため、関係機関と連携し、各種整備事業の進捗を図る必要がある。				

事務事業名	農村整備事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,000		6,356	0	644
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,100		3,500	0	756
目 的	農業用施設の改修工事を行うことにより、施設の機能を維持し、農業生産基盤及び農村生活環境の改善・向上を図る。				
取組内容・実績	農免農道西中通線の舗装補修(L=177.0m)を実施した。				
成 果	舗装補修により、農業生活環境の改善を図ることができた。				
課題・今後の方向性	経年劣化による農業用施設の損傷が進んでいることから、継続的な補修を計画的に実施する必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,508		37,181	0	1,327
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	25,690	11,491
目 的	土地改良施設の機能・能力の確保・維持と耐用年数の延伸を図る。				
取組内容・実績	長嶺排水機場のゲート補修と受配電設備の更新を行った。				
成 果	施設の改修により、排水機場の耐用年数を延伸することができた。				
課題・今後の方向性	計画的に補助事業を活用して、基幹農業水利施設を改修・補修し、施設機能を維持する必要がある。				

事務事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業			決算書 掲載ページ	322
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,881		1,782	0	99
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,693		0	0	89
目 的	豪雨などでため池が決壊した場合に人的被害のおそれがある「防災重点ため池」については、速やかにハザードマップを作成し、地域に応じた防災・減災対策を進める。				
取組内容・実績	防災重点ため池においては、1か所のハザードマップを作成した。				
成 果	ハザードマップを作成し、周辺住民に周知したことにより、地域における防災・減災についての啓発を進めることができた。				
課題・今後の方向性	新潟県と合同で適宜調査を行い、防災重点ため池を選定し、ハザードマップを作成する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	団体営ストックマネジメント事業			決算書 掲載ページ	324
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	143,500		138,303	0	5,197
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	100,874		29,100	0	8,329
目 的	基幹農業水利施設の機能・能力の確保・維持と耐用年数の延伸を図る。				
取組内容・実績	宮場排水機場の受配電設備、ゲート補修及び除塵機 <small>じん</small> の更新を行った。また、春日排水機場の受配電設備の更新を行った。				
成 果	施設の改修により、排水機場の機能・能力を維持することができた。				
課題・今後の方向性	計画的に長寿命化対策の補助事業を活用し、基幹農業水利施設の機能を維持する必要がある。				

事務事業名	農道保全対策事業			決算書 掲載ページ	324
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	48,000		45,883	0	2,117
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	22,300		20,000	0	3,583
目 的	保全対策を行うことにより、農道施設（農道橋など）の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	栃倉大橋の補修設計業務委託及び前川原橋の橋りょう補修工事を実施した。				
成 果	栃倉大橋の長寿命化に必要な補修設計を実施し、補修工事を行う準備が整った。また、補修工事により、前川原橋の長寿命化が図られた。				
課題・今後の方向性	計画的に長寿命化対策の補助事業を活用し、農道施設（農道橋など）の機能を維持する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	多面的機能支払交付金事業			決算書 掲載ページ	326
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	227,063		218,080	0	8,983
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	161,899		0	0	56,181
目 的	地域の農地・農業用水等の資源の保全管理や農村環境の保全を図るとともに、水路・農道等の農業施設の長寿命化を進める。				
取組内容・実績	保全活動に取り組む91組織に、計215,865,828円を交付した。				
成 果	補助金の交付により、地域の農地の保全や農業施設の長寿命化が図られた。				
課題・今後の方向性	継続して補助事業を活用しながら、農地の保全や施設の長寿命化を図る必要がある。				

事務事業名	水利施設等保全高度化事業			決算書 掲載ページ	326
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農林水産課	
目	05	農地費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	46,750		46,750	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	33,393		12,000	0	1,357
目 的	国営造成施設の機能の維持を図る。				
取組内容・実績	国営造成施設の栃ヶ原ダムの設備の更新工事を行った。				
成 果	施設の能力が維持され、栃ヶ原ダムの安全性が確保された。				
課題・今後の方向性	国営造成施設の効用が発揮できるように計画的な改修・更新工事によって、国営造成施設を適切に管理していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	中山間地域等直接支払制度事業			決算書 掲載ページ	326
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	01	農業費	担 当	農政課	
目	06	中山間地域振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	140,700		140,649	0	51
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	100,898		0	0	39,751
目 的	農業生産上の不利な条件の補正を目的とした農家等への交付金により、農業生産活動の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能の確保を図る。				
取組内容・実績	活動に取り組む26組織に、計134,530,350円を交付した。				
成 果	補助金の交付により、中山間地の農地の保全が図られた。				
課題・今後の方向性	継続して補助事業を活用しながら、中山間地における農地の保全を図る必要がある。				

事務事業名	森林病虫害防除事業			決算書 掲載ページ	330
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,958		6,597	0	1,361
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	3,605		0	0	2,992
目 的	潮風公園、松波・荒浜地区にある保安林の松くい虫の防除を実施して、被害の抑制を図る。				
取組内容・実績	無人ヘリコプター薬剤散布、地上薬剤散布業務33.5ha及び松くい虫被害木の伐倒駆除38.6㎡を実施した。				
成 果	保安林内の松くい虫防除を実施して、被害の抑制を図ることができた。				
課題・今後の方向性	松くい虫の被害を抑制するため、継続的に防除を実施する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業			決算書 掲載ページ	330
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	1,920		0	677	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	932		0	311	
目 的	森林経営計画の作成等により、間伐等の森林整備を推進する。				
取組内容・実績	柏崎市大字吉井・曾地・畔屋・東長鳥地内及び西山町二田・伊毛・下山田地内における森林面積100.17haの森林経営計画作成を行う活動に対し、助成した。				
成 果	適切な森林整備の推進や効率的な林業生産活動を行っていくための森林経営計画を作成することができた。				
課題・今後の方向性	森林経営計画作成の活動経費を助成しながら、森林整備を推進する必要がある。				

事務事業名	林道整備事業			決算書 掲載ページ	332
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	19,400		0	1,280	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	6,300		0	11,820	
目 的	雨等で傷んだ林道の補修工事を行い、林道利用者の通行の安全を確保し、林業振興及び林道の利活用の推進を行う。				
取組内容・実績	県の補助金を活用して、林道石曽根線（舗装）L=74.4m、林道黒姫山線（法面改良）L=43.2m、林道程平線（側溝）L=72.0mの改良工事及び林道黒姫山線の補修工事設計業務委託を実施した。				
成 果	林道の整備を実施することにより、木材運搬等の作業効率を向上することができた。				
課題・今後の方向性	老朽化による劣化及び天災による被害もあり、改良・補修工事が必要な路線が多いため、林道の利用状況に応じた整備をしていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	市有林造林事業			決算書 掲載ページ	332
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,530		5,529	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,092		0	0	4,437
目 的	市有林について造林事業を行い、市民の財産として森林整備を推進して適切な管理を行う。				
取組内容・実績	市有林において、下刈り（西長鳥・石曽根）0.68ha、枝打ち（小島）3.32ha、主伐（鯨波）0.41haの施業を実施した。				
成 果	森林を適切に整備したことで、森林が持つ多面的機能の質的な向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市有林では、主伐に適した林齢50年以上の人工林が60%以上を占めており、今後も計画的に主伐、間伐を進めていく必要がある。				

事務事業名	造林事業補助金			決算書 掲載ページ	332
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,501		7,480	0	21
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,480
目 的	民有林の造林事業による森林整備を推進して適切な管理を行う。				
取組内容・実績	柏崎地域森林組合が行う民有林の造林事業に対して、県の補助に加えて市も補助金を交付し、市内の民有林26.18haの施業と作業道L=6,179mを施工した。				
成 果	補助金の交付により、森林整備の推進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	林業経営体に適切な支援をしながら、森林整備を推進する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	森林経営管理事業			決算書 掲載ページ	332
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,374		24,796	0	2,578
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	24,796
目 的	林業経営に適した人工林は森林の施業を進め、林業経営に適さない森林は天然林に樹種変更の整備を進めていく。				
取組内容・実績	柏崎地域森林組合は新規雇用3人の人材を確保できた。また、林道黒姫山線(L=10,783m)の維持管理を委託するとともに、令和5(2023)年度に森林環境譲与税を活用して森林整備の予定地、高柳町岡野町地区で令和3(2021)年度に実施した意向調査を基に経営管理権集積計画を作成した。さらに、令和3(2021)年度に未実施だった箇所を森林所有者に意向調査を行い、調査結果を取りまとめた。				
成 果	森林整備の担い手の中心である柏崎地域森林組合の新規雇用の促進を図ることができた。また、経営管理権集積計画の作成や意向調査により施業の準備をすることができた。				
課題・今後の方向性	有効な財源である森林環境譲与税を活用し、人材の確保や森林整備を進めていく必要がある。				

事務事業名	かしわざ“木”の力発信事業			決算書 掲載ページ	332
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	02	林業費	担 当	農林水産課	
目	02	林業振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,600		1,432	0	168
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,432
目 的	若い世代が、柏崎産の木材を使用した製品に触れる機会を設けることにより、柏崎産木材の利用促進と林業を身近に感じてもらうきっかけづくりを行う。				
取組内容・実績	東京オリンピック・パラリンピックで使われた木材で作成したベンチ(12台)、スツール(22台)を柏崎市役所ほか市内4か所に設置した。 森林親子ウォーキングを11月5日に石曽根地区で開催し、参加した13組26人の親子の方々に森林の役割、林内の植物について説明し、伐採の状況を見学してもらった。				
成 果	子どもたちに対し、実際に木に親しんでもらう機会を提供することができた。また、市役所来庁者等にも柏崎産木材製品に触れる機会を創出することができた。				
課題・今後の方向性	森林がもたらしてくれる様々な恩恵を周知し、森林保全の重要性や林業についても興味を持っていただくとともに、森林や木材に触れる機会を創出し、木材の利用促進につなげていく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	水産資源保護培養事業			決算書 掲載ページ	334
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,945		1,882	0	63
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,882
目 的	海の水産資源を増やすとともに、川の水産資源の維持を図るため、水産資源を守り、育てることを推進する。				
取組内容・実績	水産資源を増やすため、ヒラメ稚魚19,000尾、アワビ2,300個、アユ稚魚29,000尾などを放流した。				
成 果	海面漁業における資源管理型漁業や、つくり育てる漁業を推進するとともに、内水面の水産資源の維持増大にも寄与した。				
課題・今後の方向性	今後も活動を継続し、水産資源の管理を行う必要がある。				

事務事業名	農林水産業総合振興事業			決算書 掲載ページ	334
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		1,564	0	436
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	840		0	0	724
目 的	新潟漁協柏崎支所の設備（冷蔵設備）を更新し、漁業の振興を図る。				
取組内容・実績	新潟県農林水産業総合振興事業を活用した新潟漁業協同組合柏崎支所の冷蔵庫1基について、更新費用の一部を助成した。				
成 果	冷蔵庫を更新したことで、冷蔵機の性能向上による維持管理費の軽減や漁獲物の品質確保ができた。				
課題・今後の方向性	必要に応じた支援を行い、円滑な漁業活動を促進する必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	柏崎産ヒゲソリダイ養殖支援事業			決算書 掲載ページ	336
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,858		3,952	0	906
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,952
目 的	ヒゲソリダイの養殖について認知度を向上させ、養殖の実現化を図る。				
取組内容・実績	冬季の安定した出荷が可能となるヒゲソリダイの養殖の事業化に取り組んだ。				
成 果	大雪による停電により、大量へい死が発生し、試験出荷や普及活動に取り組むことができなかった。				
課題・今後の方向性	新潟漁業協同組合によるヒゲソリダイの陸上養殖の事業化について、計画を策定する。				

事務事業名	漁業就業者支援事業			決算書 掲載ページ	336
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,400		1,800	0	600
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,800
目 的	新しく漁業を始める方を支援するとともに、漁船の購入を支援し、漁業者の増加を図る。				
取組内容・実績	3人の漁業者に対し、漁船の購入資金を支援した。				
成 果	購入資金を支援することで、漁業経営の安定化と、就業意欲の向上が図られた。				
課題・今後の方向性	本支援事業を通じて、漁業者の増加を図る必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

事務事業名	漁業者物価高騰支援事業			決算書 掲載ページ	336
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	02	水産振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	857		562	0	295
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	562		0	0	0
目 的	物価高騰により負担が増加した経費の一部を助成することで漁業者の経営維持を図る。				
取組内容・実績	物価高騰により負担が増加した費用の一部を助成した。				
成 果	費用の一部を助成することで、漁業経営の安定化が図られた。				
課題・今後の方向性	物価高騰を始めとした社会情勢を注視しながら、必要に応じて支援を検討する必要がある。				

事務事業名	漁港整備補助事業			決算書 掲載ページ	336
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,400		14,478	0	922
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,000		6,300	0	1,178
目 的	海岸沿いの住宅を波の被害から守るため、護岸や離岸堤を深刻な被害を受ける前に補修し、施設の長寿命化を図る。				
取組内容・実績	石地漁港海岸の海岸保全施設補修工事について、延長L=150mを実施した。また、構造物の実施設計N=1式を実施した。				
成 果	漁港海岸保全施設を補修することで、施設の長寿命化と、ライフサイクルコストの低減及び背後集落の住民の安全向上が図られた。				
課題・今後の方向性	老朽化した施設は、ライフサイクルコストを低減するため、計画的に補修する必要がある。				

## 7款 商工費

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-2 農林水産業の持続性を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	漁港整備市費事業			決算書 掲載ページ	336
款	06	農林水産業費	会 計	一般会計	
項	03	水産業費	担 当	農林水産課	
目	04	漁港建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	59,205		0	741	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	0		7	58,457	
目 的	漁業者の水揚げ作業の負担を軽減するため、漁港施設等を整備し、作業環境の改善を図る。				
取組内容・実績	荒浜漁港 <sup>しほんせつ</sup> の浚渫 <sup>V=18,020m<sup>3</sup></sup> などを行った。				
成 果	漁港施設を適正に維持管理することで、漁業者の水揚げ作業などの負担が軽減された。				
課題・今後の方向性	漁港の航路等については、毎年定期的に維持浚渫 <sup>しほんせつ</sup> を行うことで、維持管理経費の平準化を図る必要がある。				

事務事業名	中小企業等融資事業			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	437,100		0	197,600	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	0		239,500	0	
目 的	市内中小企業者などの資金需要に対応し、資金調達の円滑化と設備投資の促進を図る。				
取組内容・実績	中小企業者等の資金繰り需要に対応し、金融機関と協調融資を行った。 ・新規借入実績 10件 92,550千円 ・令和5(2023)年3月末貸付残高 119件 547,243千円				
成 果	中小企業者などの資金調達を円滑にし、産業の振興を図ることができた。				
課題・今後の方向性	市内事業者の資金繰りを最優先に捉え、中小企業の存続、発展のため、現行の制度融資を継続して行っていく。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	県信用保証協会負担金			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	27,700		24,233	0	3,467
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	24,233
目 的	市制度融資や県制度融資の借入にかかる保証料の負担を軽減することで、中小企業者の資金繰りの安定と利便性を図る。				
取組内容・実績	市制度融資や県制度融資を借入れる際の信用保証料の一部又は全部を補給した。 ・補給実施件数 135件				
成 果	信用保証料を補給することにより、中小企業者の資金繰り支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も市制度融資やその他の融資について、中小企業者の資金繰り安定のため、適宜内容を見直しながら継続する。				

事務事業名	制度融資利子補給金補助金			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,701		8,233	0	468
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,233
目 的	中小企業者の資金調達に係る利子の負担を軽減することで、資金繰りの安定を図る。				
取組内容・実績	意欲ある創業者、積極的な設備投資を図る中小企業又は新型コロナウイルス感染症の影響により経営に支障を来している中小企業に対し、融資に係る利子の一部を補給した。 ・県セーフティネット資金経営支援枠（新型コロナウイルス感染症対策特別融資又は新型コロナウイルス感染症・物価高騰等対策伴走支援型資金）利子補給 213件 7,361千円 ・県セーフティネット資金連鎖倒産防止枠利子補給 1件 25千円 ・創業資金利子補給 33件 847千円				
成 果	中小企業者の資金調達に係る負担を軽減し、資金繰りの安定を図ることができた。				
課題・今後の方向性	創業者や新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者等に対し、引き続き資金繰りの支援を行っていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	商業活性化推進事業			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,050		8,444	0	2,606
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,444
目 的	柏崎商工会議所、業界団体及び本市で組織する「柏崎あきんど協議会」等が主催する商業活性化事業等を支援し、もって、柏崎地域の中小事業者の活性化を図り、本市の経済発展を推進する。また、中心市街地商店街等が実施するイベント事業を補助することで、中心市街地の活性化を図る。				
取組内容・実績	あきんど協議会負担金及び商業活性化イベント補助金を支出し、中心商店街のイベントや新規需要創出を目的とした販売促進事業、空き店舗を活用する創業者等の支援を行った。 ・はなまるクーポン事業 221店舗参加 ・空き店舗活用創業等支援事業 1店舗 ・あきんど支援事業 5団体 ・需要創出支援事業 4団体 ・WEB情報発信ツール個別相談会 13店店舗 など				
成 果	はなまるクーポンなど事業者及び市民にメリットのある企画により、市内商業の活性化を図ることができた。あわせて、創業者支援や事業者のスキルアップにつながった。				
課題・今後の方向性	商店街・個店の魅力向上の取組や情報発信方法の検討が必要である。消費動向調査から、中心商店街の利用状況を把握し、適切な施策を展開する。				

事務事業名	商工団体支援事業			決算書 掲載ページ	342
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,799		8,799	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	8,799
目 的	商工団体の事業実施を支援することで、本市の商工業等の振興を図る。				
取組内容・実績	柏崎商工会議所及び市内3商工会（西山町、高柳町、北条）が独自に実施する商工業者振興事業を支援した。				
成 果	商工団体の事業実施を支援することで、本市の商工業等の振興に寄与した。				
課題・今後の方向性	商工業者の持続的な事業継続のために、地域生活に密着している商工団体への支援継続が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	創業支援事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	12,176		6,493	0	5,683
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,493
目 的	創業塾や相談会を行うことで、創業希望者を発掘する。また、基礎知識を学んだ上での創業を促すことで、創業率と事業継続性の向上を図る。さらに、創業に係る経費を補助し、創業の機運を高める。				
取組内容・実績	創業塾（柏崎・社長のたまご塾）や創業経営相談事業などの運営費補助を行った。創業塾の前期は11人、後期は7人（うちリモートでの参加1人）が卒塾した。また、柏崎商工会議所の創業相談の利用者は年間24人であった。そのほか、創業者を対象とした広告宣伝費や改装費の補助は15件、事務所の家賃補助は8件の利用があった。				
成 果	創業塾や相談事業、創業者への補助を行うことで、創業の機運を高めることができた。				
課題・今後の方向性	今後も創業塾のリモート受講体制や、創業の支援制度などを周知することで、潜在的な創業希望者を掘り起こすほか、関係機関と連携し、創業者への支援を行っていく。				

事務事業名	モーリエ駐車場整備事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	13,500		11,650	0	1,850
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	11,650
目 的	施設の適切な維持管理と駐車場利用者の安全の確保、利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	直流電源装置の更新工事を行い、持分割合に応じて、工事費の約9割を負担した。				
成 果	施設の適切な維持管理と駐車場利用者の安全確保に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	今後も、更新が必要な設備について、順次改修を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-2 起業・創業を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	事業承継支援事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	859		51	0	808
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	51
目 的	中小企業が培った経営資源を保全し、地域経済の持続性を高めるため、事業承継の重要性に対する経営者の意識を醸成する。また、事業承継にかかる費用を助成することにより、円滑な承継を支援する。				
取組内容・実績	事業承継に関する困りごとに対応するために、事業引継ぎ個別相談会を1回実施し、2組の相談に対応した。				
成 果	事業承継の課題への対応をサポートすることで、円滑な事業承継の促進につなげることができた。				
課題・今後の方向性	情報発信により、早期に事業承継の意識を高めるほか、適切な相談窓口を案内できる体制を整えていく必要がある。				

事務事業名	地域ブランドづくり支援事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,000		2,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,000
目 的	本市産品によるブランド力強化を図ることで、本市の認知度向上につなげ、シティセールスに貢献する。				
取組内容・実績	かしわざき広域ビジネス応援ネットワークが「N I I G A T Aみらいプロジェクト」と連携して実施する地域ブランドづくり支援事業へ補助金の交付を行った。 ・応募件数2件、採択件数2件				
成 果	令和4（2022）年度は、自社商品の開発や新商品のプロモーションを支援し、本市の地域ブランドづくりの促進に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	当事業への活用を促進し、シティセールスにつなげていくため、事業展開に積極的な事業者に対してPRを着実にを行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-1 商業の魅力を高める

事務事業名	緊急景気対策事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	56,600		47,128	0	9,472
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	34,500		0	0	12,628
目 的	新型コロナウイルス感染症により、マイナスの影響を受けている市内事業者の事業継続を支援する。				
取組内容・実績	元気発信プロジェクト実行委員会に負担金41,428千円を支出し、消費喚起事業を実施した(柏崎元気復活!!GOTOイートの事業期間延長に伴う支出)。さらに、県が実施した事業継続支援金の支給決定を受けた市内飲食関連事業者等で、支給要件を満たす事業者に対して支援金を交付した。 ・交付額 5,100千円(51件)				
成 果	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者の事業継続支援につながった。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症によるマイナス影響に、引き続き注視していく必要がある。				

事務事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	451,140		230,075	0	221,065
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	230,075		0	0	0
目 的	まん延防止等重点措置に伴い、営業時間を短縮した飲食事業者に対して協力金を支給することで、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する。				
取組内容・実績	まん延防止等重点措置適用期間(令和4(2022)年1月21日から3月6日まで)において、営業時間の短縮に協力した飲食事業者に対し、協力金を支給した(まん延防止等重点措置適用期間延長に伴う支給)。 ・交付額 229,799千円				
成 果	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に寄与することができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の感染状況を引き続き注視していく必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	工業振興事業			決算書 掲載ページ	344
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,268		30,235	0	2,033
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	30,235
目 的	基幹産業であるものづくり産業の生産性向上、受注開拓、人材確保を支援し、地域経済の拡大や好循環を図る。				
取組内容・実績	企業振興条例に基づき、24社に総額87,982,500円の固定資産税を軽減し、6社に総額14,795千円の奨励金を交付した。また、中小企業等経営強化法（旧「生産性向上特別措置法」）に基づく固定資産税の特例は、40社による先端設備等導入計画を認定するなど、新たな設備投資を支援した。さらに、各地で開催された見本市への出展企業10社及び3年ぶりに参加した工業見本市「機械要素技術展」の共同出展企業8社に対して、出展費用を助成した。くわえて、大学生を対象とした企業見学会及び企業研究会を実施し、延べ22社・198人が参加した。				
成 果	先端設備等の導入促進による生産性向上とともに、固定資産税の軽減措置や各種助成金の交付により、事業者の負担を軽減することで、企業活動を支援することができた。また、大学生を対象とした企業見学会及び企業研究会では、市内企業に目を向けた進路を考える気付きを学生に与えることができた。				
課題・今後の方向性	脱炭素社会に向けた自立的な取組、物価高騰に耐え得る企業体質の実現、DX推進に対する意識向上などの変革が事業者には求められる。新たな技術を取り入れ、生産性を向上していくための先端設備の導入、新たな販路開拓やDXの推進など、経営基盤の強化に積極的に取り組む企業を引き続き支援する。				

事務事業名	産学連携支援事業			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	840		840	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	840
目 的	製造業における産学共同研究や開発マインドの醸成を図るほか、建設業における継続的な能力開発や技術力向上につなげる。				
取組内容・実績	新潟工科大学と連携したものづくり開発塾では、水素エネルギー利用の最新事情を取り上げ、全4回の開催に延べ88人が受講した。また、建設技術研修会（全10回）には、オンライン参加を含む延べ332人が受講した。なお、建設技術研修会は、日本建築士会連合会や全国土木施工管理技士会連合会から継続能力開発研修の認定を受け、延べ206人に対して受講証明を発給した。				
成 果	ものづくり開発塾を通じ、事業の成長や高付加価値化に向けた意識を醸成することができた。また、建築技術研修会を通じて建設業従事者の継続的な能力開発や技術力向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	技術系大学の立地は、事業者の新たな製品や技術の開発に向けた共同研究に加え、リカレント教育やリスクリングといった従業員個人の能力開発の点でも意義が大きい。引き続き、産学連携を通じた新事業の創出や能力開発を支援する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	人材育成支援事業			決算書 掲載ページ	346
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,099		3,517	0	1,582
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,517
目 的	若者の地元企業への就職率や定着率を高め、産業界で力を発揮できる若手技能者の育成と、ものづくり技術の継承を推進する。				
取組内容・実績	ものづくりマイスターカレッジを開講し、受講者のうち9人が2級以上の技能検定に合格した。また、柏崎工業高校2年生によるインターンシップを3年ぶりに開催でき、52社でのインターンシップ、3社での実務体験を実施した。資格取得費や研修受講料を助成する高度技術者育成推進助成金は、延べ20社・91人に対して交付した。				
成 果	人材育成事業の実施により、若者の地元企業に対する認知向上や、若手技能者の育成・技術向上を図ることができた。また、資格取得に係る助成金の交付により、職業能力やモチベーションを高め、生産性の向上や高付加価値化に取り組む市内事業者の積極的な人材育成を後押しした。				
課題・今後の方向性	ものづくりマイスターカレッジによる技術指導や資格免許の取得を推奨し、優れたものづくり技術の継承を推進する。また、特に若者に対しては、インターンシップや企業見学会を通じた地元企業の認知向上と理解促進を図り、将来のものづくり産業を担う人材の確保・育成に取り組む。				

事務事業名	新技術・新製品研究開発支援事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,695		6,642	0	3,053
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,642
目 的	個々の技術に磨きを掛け、更に付加価値の高い製品づくりに向けて新たな事業展開に積極的に取り組む中小製造事業者を支援する。				
取組内容・実績	知的財産権取得支援助成金を5社延べ31件に対して交付した。また、柏崎技術開発振興協会が実施するものづくりチャレンジ支援事業では、新製品開発や販路開拓に対する取組を5件支援した。				
成 果	中小製造事業者の新商品開発や販路開拓への挑戦を支援し、新たな価値創造の追及を後押しすることができた。また、知的財産の保護や権利化により、競争力が強化され、新たな産業分野への参入を目指す中小製造事業者の成長を推進することができた。				
課題・今後の方向性	異なるヒト、モノやコトの融合により新しいアイデアやチャレンジが生まれることから、多様化の時代の今、新たな価値創造の追及が必要である。産学官金との連携を通じ、新商品の開発や技術の高度化を支援するとともに、知的財産や国際規格の取得も推進していく。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	情報産業育成振興事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,719		2,988	0	4,731
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	2,988	0
目 的	新商品開発や人材育成などへの支援を行い、情報関連産業売り上げ規模7,000,000千円の実現を目指す。				
取組内容・実績	更なる情報産業の育成・振興を図るため、知的財産権取得支援助成金を1社・8件に対して交付した。また、新たなサービスやビジネスの創出、異業種交流や起業・創業、多様な働き方を促進するコワーキングスペースを「イノベーション促進施設」と位置付け、その運営に取り組む情報産業事業者に対し、補助金を1件交付した。				
成 果	市場のシェア獲得や拡大を目指す情報産業事業者の競争力強化を、一定程度支援することができた。 コワーキングスペースは、新型コロナウイルス感染症の影響により利用や交流が制限されるなど、施設が持つ有機的な機能を十分に活用することができなかった。				
課題・今後の方向性	当市の情報産業の市場規模（平成28（2016）年現在で約4,900,000千円）は県内で上位に位置しているものの、IT人材不足の問題は他市同様に深刻であることから、引き続き雇用の確保、人材の育成に努める必要がある。また、日々変化する現代社会のニーズに応えるための技術開発や、革新的なアイデアを追求しようとする事業者を継続して支援することで、情報産業の育成を図る必要がある。				

事務事業名	廃炉産業調査研究事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,368		379	0	989
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	379
目 的	必ず廃炉となる将来を見据え、原子力発電所の長期にわたる廃炉工程を新たな産業の創出に結び付けるため、国、県、大学、電力事業者などで構成する勉強会で調査研究を実施する。				
取組内容・実績	将来的な原子力発電所の廃炉を見据え、廃炉産業創出に関する勉強会を2回開催し、廃炉の現状把握と情報共有を行った。うち1回は、実際に廃炉が進む原子力発電所の視察を市内事業者と共に実施した。				
成 果	今年度から勉強会オブザーバーとして、新たに市内建設業Aランク5事業者が参加することになり、廃炉措置に伴う具体的な受注方法について、更に活発な意見交換がなされるようになった。				
課題・今後の方向性	廃炉産業の創出は、原発立地地域が抱える固有の政策課題であることから、将来に向けて市、地元企業、電力会社がそれぞれの立場で主体的な取組を進める必要がある。また、国において、原子力発電所の運転期間を原則40年、最長60年とした「40年ルール」を改め、60年超の運転を可能にする制度改正が行われたことから、廃止措置決定までの期間が不明瞭となり、事業者のモチベーション維持が課題である。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～		
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ		
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める		

事務事業名	I o T推進事業			決算書 掲載ページ	348
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,985		8,644	0	2,341
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	8,644	0
目 的	産学官金で構成する柏崎市I o T推進ラボ（年度途中からは柏崎市DX推進ラボに名称変更）において、市内企業への設備導入支援やデジタル人材の育成について推進する。				
取組内容・実績	柏崎市I o T推進ラボ協議会の運営を新潟工科大学地域産学交流センターと連携して行い、国の制度を活用し、「柏崎市DX推進ラボ協議会」として活動を行った。I o T活用・DX推進のための個別相談事業を地元のI T専門家派遣を8社に対して14件実施した。また、I o Tステップアップ事業は4社が活用し、DX推進ジャンプアップ事業は2社が活用した。DX人材養成講座は、社会人を対象とし、20人が参加した。柏崎i T部活は、市内高校に通う高校生を対象とし、12人が参加した。I Tパスポート試験対策講座は、55人の参加者のうち6人が国家資格を取得した。さらに、啓発事業として市内中小企業向けのDX推進セミナーを2回実施した。				
成 果	ものづくり産業をはじめとする市内事業者のDXが推進された。また、DXを取り入れることの重要性や、市内事業者における取組を周知することにより、DXに対する考え方の改善や、取り組むまでの心理的ハードルを下げる事ができた。				
課題・今後の方向性	DXに対する意識は向上しているものの、市内全体に波及している状態ではないことから、引き続き、事業の周知方法や関係者との連携について見直しを図り、啓発や人材育成を進める必要がある。また、デジタル化への考え方に差があるため、事業者が選択できる周知方法を継続する必要もある。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～		
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ		
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める		

事務事業名	事業構造強化促進事業			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	166,897		75,767	37,533	53,597
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	44,000		0	30,000	1,767
目 的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域経済の回復とともに、EVシフトを始めとした産業構造の大変革期にある中、将来を見据えた事業構造改革への取組を促進する。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも国の雇用調整助成金等を受給し、雇用を維持する製造事業者17社に対して総額6,267,204円の奨励金を交付した。国が交付する一定の補助金の採択を受け、新型コロナウイルス感染症の影響を乗り越えるために前向きな投資を行った35社に対して総額53,640千円の補助金を交付した。市内製造業の事業者に対し、新分野展開や事業転換に取り組むために必要な最新技術動向などを提供するための次世代技術研修会を全6回開催した。また、新分野展開や事業転換積極的に取り組む企業の事業計画4件を採択し、15,000千円の補助金を交付した。				
成 果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済活動が停滞する中、人件費を始めとした固定費の負担軽減を図ることができた。国の補助金への上乗せ交付をすることで、事業者負担の更なる軽減により、思い切った設備投資を可能とすることができた。新分野展開や事業転換に積極的に取り組む企業に対して、研修会での情報提供や補助金の交付により、事業者の前向きな変革を支援することができた。				
課題・今後の方向性	ポストコロナによる社会情勢の変動により、脱炭素やカーボンニュートラルへの動きが加速している。基幹産業である製造業が経済社会の変化に対応できるように、製造事業者の新分野展開や事業転換の取組を引き続き支援する。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-3 産業の創造性と技術力を高める

事務事業名	製造業戦略的イノベーション推進基金積立金			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	222,000		222,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	222,000
目 的	製造業が経済社会の変化に対応し、新分野展開、事業転換又は業態転換を図る支援事業の財源とする。				
取組内容・実績	新分野展開、事業転換又は業態転換を図る支援事業の財源として、基金を積み立てた。				
成 果	新分野展開、事業転換又は業態転換を図る支援事業の財源として、基金を積み立てることにより、複数年にわたる支援が可能となった。				
課題・今後の方向性	新分野展開、事業転換又は業態転換を図る支援事業の財源として、適切な積立てや取崩しを行う。				

事務事業名	原油価格・物価高騰等緊急対策事業			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	238,525		238,387	0	138
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	196,000		0	0	42,387
目 的	原油・原材料価格高騰の影響を受けている市内事業者の負担を軽減するため、補助金及び助成金により支援する。				
取組内容・実績	エネルギー価格の高騰に耐えうる企業体質への転換を後押しするため、省エネ設備の導入に関する補助金を226件交付した。また、原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰により大きな影響を受けている事業者に対し、助成金を1,574件交付した。				
成 果	補助事業及び助成事業により、市内事業者が抱える物価高騰による負担を一定程度軽減することができた。				
課題・今後の方向性	今後も物価上昇や物価の高止まりが見込まれるため、引き続き事業者への支援を検討していく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-1『豊かな』暮らしを支える多様な働き場をつくる
	②-1-3 企業誘致を進める

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	企業立地事業			決算書 掲載ページ	350
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	ものづくり振興課	
目	02	商工振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	49,708		48,440	0	1,268
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	48,440
目 的	企業誘致により、雇用機会や税収の確保、地域産業の活性化による本市経済の持続的な発展を目指す。				
取組内容・実績	柏崎フロンティアパークの完売に伴い、新たな産業団地造成に向けた適地調査を実施した。また、新規企業立地事業者（2社）へ企業立地促進助成金を交付した。さらに、公有地売却による企業誘致活動を実施した結果、新たな企業進出が実現した。				
成 果	産業団地造成について適地調査の結果から、次年度に基本構想を策定することとなった。また、市所有未利用施設の有効な転用により、本市公共施設面積の低減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	令和4（2022）年度実施の適地調査に基づき、産業団地造成を目指す。産業団地造成には多くの経費や期間が必要となることから、様々な課題や可能性についてスピード感をもって進める必要がある。				

事務事業名	地域活性化イベント支援事業			決算書 掲載ページ	354
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,800		1,800	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,800
目 的	柏崎地域の賑わいに寄与するイベントを支援することで、本市への誘客・認知度向上につなげ、地域活性化に貢献する。				
取組内容・実績	「かしわざき風の陣」の実行委員会へ、1,800千円の補助金を交付した。「どんGALA!まつり」は、コロナ禍での開催の在り方を検討・模索したものの、開催中止となり、補助金は交付しなかった。				
成 果	「かしわざき風の陣」が3年ぶりに開催されたことで、柏崎の元気・楽しさを市内外に発信し、地域の活性化に貢献することができた。				
課題・今後の方向性	両イベントとも、中断が続いたことにより、実行委員会の経済的環境やマンパワーの低下が顕在化した。また、「風の陣」は開催に当たり、実行委員会の事務局体制を再構築するなど新たな動きも出始めており、今後も、実行委員会の組織体制の強化・充実や自己資金の確保に向け、協議を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	海水浴場環境整備費			決算書 掲載ページ	354
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	39,422		36,476	0	2,946
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	36,476
目 的	仮設トイレを設置し、海水浴場及び休憩所等の清掃を行うことで、海水浴場利用者の利便性向上を図る。また、ライフセーバーによる常駐又は巡回監視を実施し、各海水浴場の安全確保を行う。				
取組内容・実績	市内海水浴場に巡回も含め、ライフセーバーによる監視を実施した。また、仮設トイレ7基を設置し、海水浴場駐車場及び管理棟の清掃委託等を行うことで、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、環境整備に取り組んだ。 ・海水浴客数305,210人 ・救護実績(監視期間中)軽症189件 重症0件 病院送致1件 計190件 ・ライフセーバーの監視人数69人(延べ377人)				
成 果	監視期間中において、海水浴中の溺水、軽傷等に迅速に対応する体制を整備することにより、重大な事故を未然に防ぐことができた。また、トイレや管理棟の清掃及び管理を行うことで、海水浴客の利便性が高まった。				
課題・今後の方向性	不足しているライフセーバーの人材確保のため、業務環境改善に加え、市外からの人材募集等の勧誘活動を実施する必要がある。				

事務事業名	登山道遊歩道整備事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,424		6,839	0	585
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	6,839
目 的	登山道や避難小屋などの維持管理や整備により、安全な登山環境を保つ。				
取組内容・実績	米山登山道バス駐車場及びハイキングベースの候補地調査業務委託を実施した。また、米山登山道谷根口にある新猿飛橋について、5年に1度の定期点検を行った。さらに、米山山頂避難小屋の扉と階段を修繕した。				
成 果	米山登山道バス駐車場及びハイキングベースの候補地調査業務委託を実施することで、設計を行うために必要な情報を得ることができた。また、5年に1度の定期点検を行うことで新猿飛橋の安全性を確認できた。さらに、米山山頂避難小屋の扉と階段を修繕することで、施設の安全性を高めることができた。				
課題・今後の方向性	令和5(2023)年度に、米山登山道バス駐車場及びハイキングベースの建設に向けた測量調査設計業務委託を実施する。早期の建設を目指して、土地の境界確定、用地測量及び用地買収等を迅速に行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	情報発信・商品開発戦略事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,857		1,959	0	2,898
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,959
目 的	観光商品を柱とした誘客促進の取組を通じて、関連する観光産業等を活性化する。また、観光事業者・団体等の商品開発を促進することで、一般社団法人柏崎観光協会・旅行業者・行政などがPRする観光素材を充実させるとともに、関係事業者の機運を醸成する。				
取組内容・実績	市内3庭園（松雲山荘、秋幸苑（飯塚邸）及び貞観園）を中心とした観光素材のPRを強化し、ツアー誘致を展開した。 ・ツアー誘致3社8件 ・ツアーによる市内直接消費額1,320千円				
成 果	3庭園に加え、綾子舞現地公開、赤坂山紅葉ダイニング、ヒゲソリダイ及びアラ等の本市ならではの素材をPRすることができた。 本事業をきっかけに、3事業者が新たにツアーの受入れを開始した。				
課題・今後の方向性	市外・県外旅行会社との新たな連携構築を進め、ツアー誘致を促進する。				

事務事業名	観光振興経費			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	45,723		45,129	0	594
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	33	45,096
目 的	本市への誘客・宣伝活動を展開して、観光客の誘客につなげていく。				
取組内容・実績	観光関連団体に対し負担金を支出し、連携を図りながら、誘客・宣伝活動を行った。				
成 果	新型コロナウイルス感染症による影響や制約があったものの、関係団体との連携により観光産業の維持や活性化に寄与することができた。また、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、行政と関係団体の連携の在り方・役割分担についても、協議・検討を進めることができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の5類相当への移行を受け、観光産業の一層の振興と本市への観光誘客の増加を図るため、行政と関係団体の連携を強化・推進していく必要がある。また、同時に、柏崎市観光ビジョンに基づき、行政と関係団体の連携の在り方・役割分担を検討していく必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	宿泊事業者等緊急支援事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,000		25,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	24,000		0	0	1,000
目 的	新型コロナウイルス感染症でマイナス影響を受けている市内宿泊事業者及び旅行事業者の事業継続を支援する。				
取組内容・実績	閑散期限定の宿泊割引キャンペーンを実施した。 ・利用実績3,802人泊 ・宿泊消費額47,295,585円				
成 果	市内宿泊事業者及び旅行事業者と連携し、閑散期における観光誘客を進めることができた。				
課題・今後の方向性	市内宿泊事業者及び旅行事業者との連携を強化し、観光誘客を促進する。				

事務事業名	ぎおん柏崎まつり事業			決算書 掲載ページ	356
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	43,207		42,917	0	290
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	10,006	32,911
目 的	柏崎市最大のイベントである「ぎおん柏崎まつり」、越後三大花火として全国的に知名度がある「海の大花火大会」を安全かつ盛大に開催する。開催に際し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じ、安心して「ぎおん柏崎まつり」や「海の大花火大会」が実施できる環境を整備する。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で、マーチングパレード及び海の大花火大会を開催した。 <b>【人出】</b> ・マーチングパレード1,020人 ・海の大花火大会154,000人				
成 果	3年ぶりとなる海の大花火大会を安全かつ無事に開催することができたことで、柏崎の元気を市内外に発信し、地域の活性化に貢献することができた。				
課題・今後の方向性	新型コロナウイルス感染症の5類相当への移行を受け、「ぎおん柏崎まつり」を通じた地域の活性化について、柏崎商工会議所との協議を進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	えんま市花市運営事業			決算書 掲載ページ	358
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,992		23,558	0	434
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	10,721	12,837
目 的	200年以上の歴史がある伝統的な催しである、えんま市及び花市の来場者及び出店者の安全確保や利便性の向上を図る。あわせて、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、感染症の拡大を防止する。				
取組内容・実績	えんま市及びミニサーカス・大道芸人ショーを開催した。また、続いて花市も開催した。 【えんま市】※ミニサーカス・大道芸人ステージの来場者数含む。 ・露店出店数：139店（県内の露天商に限定） ・来場者数（3日間）：282,719人 【花市】 ・露店数：4店 ・来場者数：147人				
成 果	3年ぶりのえんま市とミニサーカス・大道芸人ショーの同時開催により、過去最多の来場者数を記録した。				
課題・今後の方向性	県内外の露店の出店により、コロナ禍前の規模での開催を目指す。				

事務事業名	松雲山荘整備費			決算書 掲載ページ	360
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,780		8,598	0	182
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,298		0	0	4,300
目 的	松雲山荘内の環境整備を行うことで通年観光の拠点及び秋の市内観光の目玉としての価値を高める。また、施設の設定管理を行うことで安全性の確保、景観の維持を図る。				
取組内容・実績	樹木伐採、モミジの土壌改良を実施した。また、飛紅橋の改修、太鼓橋の設置を行い、老朽化した藤棚を撤去した。				
成 果	松雲山荘の安全性確保に加え、景観保全及び庭園の魅力向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	施設の老朽化、樹木の劣化に対応していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	道の駅風の丘米山整備事業			決算書 掲載ページ	360
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	11,000		9,933	0	1,067
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,933
目 的	道の駅「風の丘米山」の再整備に合わせて、一定の集客力を有する日本海フィッシャーマンズケープエリアの一部を加えることで、集客効果を促進し、魅力ある柏崎の観光拠点を構築する。				
取組内容・実績	道の駅再整備における基本設計業務を行うための調達支援業務を行った。				
成 果	施設配置を決定する上での課題整理を行い、事業スケジュールの検討や概算事業費の算出を行った。				
課題・今後の方向性	柏崎の主要な観光拠点となるよう、課題を解決しながら施設配置等を決定していく。				

事務事業名	インバウンド推進事業			決算書 掲載ページ	360
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,000		1,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,000
目 的	インバウンド推進事業を通して交流人口を拡大させることで、地域経済を活性化させるとともに、住民が誇りや愛着を持てる地域づくりを実現することを目指す。				
取組内容・実績	公衆無線LAN（ポケットWi-Fi）の貸出しを実施した。また、台湾・香港向け日本観光情報サイト「ラーチャーゴー！日本」において、情報発信を行った。さらに、2度のモニターツアーを実施した。外国人観光客おもてなしセミナーも開催した。				
成 果	メインターゲットである台湾・香港に向けて、柏崎の観光をPRできた。モニターツアーを実施することで、柏崎の魅力を再発見するとともに、外国人観光客受入れに関する課題を明確化することができた。外国人観光客おもてなしセミナーを開催し、やさしい日本語について理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	柏崎の観光素材を活用したツアー商品造成及び販売を行い、インバウンド観光客の増加を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

第五次総合計画上の 位置付け	②産業・雇用～『豊かさ』をつなぐまちをめざして～
	②-2『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ
	②-2-4 地域資源の活用により観光産業を強化する

事務事業名	新たな海の柏崎モデル事業			決算書 掲載ページ	360
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,090		14,968	0	122
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	200		0	3,500	11,268
目 的	海辺でのキャンプやバーベキュー、マリンスポーツ、ビーチスポーツ及び海生生物観察が楽しめる環境を整備し、海水浴を中心とした夏季の観光からの転換を図る。本市の大切な財産である「海」を、市民が守り育て次の世代に伝えるきっかけを作るとともに、観光地としての魅力を高める。				
取組内容・実績	キャンプ、バーベキュー、マリンスポーツ、ビーチスポーツや海洋生物観察を楽しむことができる環境を整備した。 また、柏崎の海キラキラ未来プロジェクト賛同団体をPRするための冊子を製作した。 ・利用者数：番神自然水族館490人、かしわざきセントラルビーチ2,182人、賛同団体12団体				
成 果	多くの市民及び観光客に海辺でのキャンプ等を楽しんでいただき、これまでになかった体験を提供することができた。また、柏崎の海は美しく、多様な生物が生息していることを知ってもらう機会とすることができた。				
課題・今後の方向性	環境をいかしたアクティビティを展開し、安定的・継続的な運営の確立に取り組んでいく。また、製作した冊子を活用し、柏崎の海の魅力のPRを行う。				

事務事業名	じよんのび村管理費			決算書 掲載ページ	362
款	07	商工費	会 計	一般会計	
項	01	商工費	担 当	商業観光課	
目	03	観光費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,894		36,013	0	2,881
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,380		0	0	29,633
目 的	じよんのび村施設の維持管理を行い、都市と農村との交流による地域活性化につなげる。				
取組内容・実績	消防設備の修繕及び指定管理者が、経営改善に向けたイベント企画、情報発信、運営方法の抜本的な改善に取り組んだ。また、施設及び敷地内の修繕等を行った。 ・利用者数：98,605人				
成 果	利用者の安全性を維持・確保した。さらに、利用者数が回復し、施設がにぎわい、地域活性化に寄与した。				
課題・今後の方向性	引き続き、施設を適切に維持管理するとともに、指定管理者の経営の安定化を目指す。				

## 8 款 土木費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	住まい快適リフォーム事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	76,600		74,954	0	1,646
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	30,815	44,139
目 的	市民が快適に安心して暮らせる居住環境の維持及び向上と、空き家の有効活用による移住定住の促進を図る。あわせて、市内住宅関連産業の活性化を促進する。				
取組内容・実績	住宅のリフォームを実施した442件（そのうち子育て世帯分39件、2世帯分42件）に補助金を交付した。また、空き家のリフォームを実施した6件に補助金を交付した。				
成 果	個人住宅のリフォームを行うことにより、市民の居住環境の向上及び空き家を有効活用した移住定住の促進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	リフォームによる居住環境の向上を望まれる方が多く、引き続き必要な支援を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	克雪すまいづくり支援事業			決算書 掲載ページ	372
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,100		774	0	1,326
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	378		0	0	396
目 的	屋根の雪下ろしをしなくてもよい家づくり、安全に雪下ろしできる家づくりを推進し、積雪期における安心で安全なまちづくりを目指す。				
取組内容・実績	落雪式の屋根へ改修した3件、命綱固定アンカー設置4件に補助金を交付した。				
成 果	屋根雪の処理をしなくてもよい家づくり、安全に雪下ろしできる家づくりを支援することで、積雪期における安心で安全なまちづくりを進めることができた。				
課題・今後の方向性	積雪期の安全確保及び除排雪時の負担を軽減するため、屋根雪処理の不要な住宅への改修を進める必要がある。また、屋根雪処理が必要な住宅に対しては、雪下ろし時における転落事故を未然に防止するための設備の設置を支援する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	空き家対策事業			決算書 掲載ページ	374
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	01	土木管理費	担 当	建築住宅課	
目	02	建築費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,154		7,100	0	2,054
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	484		0	1	6,615
目 的	空き家の所有者に行政指導を行うことにより、市民の良好な生活環境の保全を図る。また、空き家バンク事業を行うことにより、空き家の活用を促し、管理不全な空き家の発生を防止する。				
取組内容・実績	特定空家の適正管理を促す指導・助言33件、催告29件を行い、11件の特定空家を削減できた。また、空き家の有効活用として空き家バンクの新規登録件数は34件で、25件の成約があった。				
成 果	行政指導により、特定空家を削減し、良好な生活環境を保全することができた。また、空き家バンクの成果により、空き家を利活用することができた。				
課題・今後の方向性	所有者に行政指導を継続して行い、特定空家の削減を図るとともに、空き家バンクによる利活用を推進する。また、所有者の管理者意識を醸成するために、適切な情報提供と広報活動を行う必要がある。				

事務事業名	道路管理費			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	157,736		150,076	0	7,660
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	522	149,554
目 的	道路を適切に管理し、人や車が安全に通行できる環境を整備する。				
取組内容・実績	市道実延長1,159kmについて業務委託により補修作業を実施した。また、トンネルの電気料やアスファルト合材などの原材料購入費を支出した。				
成 果	道路施設の適切な管理により、安全で安心な道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全で安心な道路交通確保のために、今後も継続して道路施設を適切に管理していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	道路修繕事業			決算書 掲載ページ	378
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	319,579		308,769	0	10,810
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	30,000		216,900	0	61,869
目 的	道路施設の補修工事を行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	道路補修工事を13件、舗装補修工事を17件、側溝補修工事を55件、橋りょう補修工事を3件実施した。また、市道柏崎16-13号線の道路補修工事を実施した。				
成 果	道路施設の補修工事により、安全な道路網を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	道路舗装修繕事業			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	172,000		170,235	0	1,765
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		170,000	0	235
目 的	幹線市道の舗装補修工事を行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	市道柏崎9-1号線ほか24路線の舗装補修工事を実施した。また、市道柏崎10-1号線の舗装補修工事を実施した。				
成 果	幹線市道の舗装補修工事により、安全な道路網を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	除雪経費			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	153,166		149,719	0	3,447
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	149,719
目 的	冬期間の安全で快適な道路交通を確保する。				
取組内容・実績	除雪車10台をリース契約により調達し、市道除雪に使用した。また、町内会が実施した道路除排雪について経費の75%を補助した。				
成 果	除雪車のリースによる調達で市道除雪に必要な機材が確保され、冬期間の道路交通を維持することができた。また、町内会が実施する道路除排雪について、157町内会に対して補助することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	除雪経費（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	380
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	764,025		626,478	0	137,547
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	141,102		0	0	485,376
目 的	冬期間の安全で快適な道路交通を確保する。				
取組内容・実績	市道641.6kmについて除雪事業者に委託し、冬期間における道路交通を確保した。				
成 果	除雪事業者に委託したことにより、冬期間の道路交通を維持することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

事務事業名	消融雪施設整備事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	166,000		15,500	576	
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	89,952		0	3,772	
目 的	消融雪施設の整備工事を行うことにより、冬期間の道路交通を確保する。				
取組内容・実績	消雪パイプ用の井戸の掘り換え工事を3件、消雪パイプの打ち換え工事を3件実施した。				
成 果	消融雪施設の整備工事により、冬期間の道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	除雪車購入国庫補助事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		繰 越 額	不 用 額	
	29,920		0	0	
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		そ の 他	一 般 財 源	
	19,940		0	80	
目 的	除雪車を計画的に更新し、修理費の削減や機械性能の向上により、安全な除雪体制の維持を図る。				
取組内容・実績	国庫補助事業により除雪ドーザ8t級2台を購入した。				
成 果	老朽化した除雪車を更新したことにより、作業効率の向上が図られ、冬期間の道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-2 生活に身近な安全を確保する

事務事業名	除雪車購入市費事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	86,284		86,284	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50,000		18,900	0	17,384
目 的	除雪車を計画的に更新し、修理費の削減や機械性能の向上により、安全な除雪体制の維持を図る。				
取組内容・実績	除雪ドーザ11t級2台、8t級1台、小形除雪車1.0m級1台を購入した。				
成 果	老朽化した除雪車を更新したことにより、作業効率の向上が図られ、冬期間の道路交通を確保することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	小型除雪機購入費補助金			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,539		5,878	0	661
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,878
目 的	大型除雪車が入れない袋小路や狭い道路について、小型除雪機の購入補助を実施することにより地域住民による除雪を推進する。				
取組内容・実績	14件の小型除雪機械の購入に対して補助した。				
成 果	補助金の交付により整備した小型除雪機で、狭い市道などを地域住民で除雪したことにより、冬期間の道路交通を維持することができた。				
課題・今後の方向性	冬期間の道路交通確保のために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	交通安全施設修繕事業			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	82,696		79,461	1,996	1,239
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	30,000		39,300	0	10,161
目 的	交通安全施設などを新設・更新することにより、道路交通の安全・安心を確保する。				
取組内容・実績	区画線設置工事を10件、照明設置工事を28件、防護柵設置工事を7件実施した。				
成 果	交通安全施設などを新設・更新することにより、歩行者等が安全に通行できるようになり、道路交通の安全・安心を確保することができた。				
課題・今後の方向性	道路交通の安全・安心を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

事務事業名	交通安全施設修繕事業（社会資本整備総合交付金事業）			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	31,804		31,028	0	776
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,400		12,100	0	3,528
目 的	路肩拡幅工事や歩道新設工事を行うことにより、歩行者の安全を確保する。				
取組内容・実績	市道柏崎7-165号線の路肩拡幅工事を実施した。また、市道柏崎7-74号線の路肩拡幅工事を実施した。				
成 果	交通安全施設などを新設・更新することにより、歩行者等が安全に通行できるようになり、道路交通の安全・安心を確保することができた。				
課題・今後の方向性	道路交通の安全・安心を確保するために、今後も継続して事業を実施していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-2 安全な道路網を確保する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	橋りょう・トンネル修繕事業（道路メンテナンス事業）			決算書 掲載ページ	382
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路維持課	
目	02	道路維持費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	263,721		133,027	119,800	10,894
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	72,112		41,700	0	19,215
目 的	橋りょうやトンネルの損傷を調査し、修繕工事などを行うことにより、安全な道路網を確保する。				
取組内容・実績	橋りょうの修繕工事を1件、修繕設計委託を2件、点検委託を4件実施した。また、トンネルの修繕設計委託を1件実施した。さらに、市道柏崎9-4号線稲穂橋の橋りょう修繕工事を実施した。				
成 果	橋りょうやトンネルの修繕工事を実施し、長寿命化を図ることにより、歩行者や車両の通行の安全を確保することができた。				
課題・今後の方向性	安全な道路網を確保するために、市道橋・トンネルを5年の周期で計画的に点検し、その結果に応じた修繕を行うことにより、施設の機能を維持する必要がある。				

事務事業名	道路新設改良市費事業			決算書 掲載ページ	384
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	49,758		40,216	0	9,542
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	7	40,209
目 的	道路改良事業を行うための調査・測量設計を行い、生活環境の整備や交通の安全対策を推進する。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎9-16号線ほか15路線の測量設計調査 ・市道柏崎22-7号線ほか4路線の土地調査測量 ・市道柏崎22-7号線ほか1路線の物件調査算定 ・市道柏崎7-105号線ほか1路線の道路工事				
成 果	改良予定路線の調査・測量を行うことにより、沿線住民の利便性の向上と安全性の確保を推進することができた。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

事務事業名	道路新設改良地方道路等整備事業			決算書 掲載ページ	384
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	383,918		361,839	0	22,079
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	163,340		114,800	0	83,699
目 的	地域住民の日常生活に利用する道路の拡幅工事を行い、生活環境と交通の安全性向上を図る。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎18-117号線ほか8路線の道路拡幅工事 ・市道柏崎16-12号線の道路復旧工事				
成 果	道路の拡幅工事を実施したことにより、利便性と安全性が向上した。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

事務事業名	道路新設改良電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	384
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	02	道路橋りょう費	担 当	道路河川課	
目	03	道路新設改良費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	244,623		224,216	0	20,407
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	190,000		0	21,751	12,465
目 的	国の交付金を活用し、集落と集落を結ぶ道路の拡幅や新設を行い、生活環境と交通の安全性向上を図る。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・市道柏崎10-158号線ほか2路線の道路拡幅工事及び橋りょう工事				
成 果	道路を整備したことにより、幹線道路のネットワークの整備が進み、道路の利便性と安全性が向上した。				
課題・今後の方向性	未改良の道路が多く残っていることから、今後も計画的に事業を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-2 自然災害に備えた対策を進める

事務事業名	河川改修市費事業			決算書 掲載ページ	386
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	03	河川費	担 当	道路河川課	
目	03	河川改修費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	142,863		139,356	0	3,507
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	70,000		0	0	69,356
目 的	河川の幅が狭く水が流れにくい箇所の改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・下野川ほか1河川の河川改修工事 ・豊田川河川改修工事				
成 果	河川改修を行ったことにより、浸水被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	浸水被害の軽減を図るため、今後も計画的に事業を継続していく必要がある。				

事務事業名	河川改修電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	388
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	03	河川費	担 当	道路河川課	
目	03	河川改修費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	32,236		30,986	0	1,250
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	10,000		0	0	20,986
目 的	国の交付金を活用して、河川の幅が狭く水が流れにくい箇所の改修を行うことにより、浸水被害の軽減を図る。				
取組内容・実績	次の事業を実施した。 ・大日川河川改修工事				
成 果	河川改修を行ったことにより、浸水被害の軽減を図ることができた。				
課題・今後の方向性	浸水被害の軽減を図るため、今後も計画的に事業を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-3 社会基盤の整備による『頼もしさ』をつくる
	①-3-1 社会基盤を機能的に整備する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	街路事業電源立地地域対策交付金事業			決算書 掲載ページ	392
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	02	まちづくり事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	202,000		197,943	3,000	1,057
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	195,000	2,943
目 的	都市計画道路宝田北斗町線を整備し、国道8号柏崎バイパスと中心市街地のアクセスの向上を目指す。				
取組内容・実績	都市計画道路宝田北斗町線の整備に必要な用地取得と物件補償を実施した。				
成 果	都市計画道路宝田北斗町線の事業進捗を図ることができた。				
課題・今後の方向性	国道8号柏崎バイパスと中心市街地のアクセスを向上させるため、事業を計画的に進める必要がある。				

事務事業名	都市公園管理事業			決算書 掲載ページ	392
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	71,455		69,062	0	2,393
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	3,695	65,367
目 的	公園施設の維持管理を行うことで、安全で安心して利用できる憩いの場を提供する。				
取組内容・実績	25か所の都市公園の維持管理を町内会等に委託し、清掃や除草、施設の保守等を行った。				
成 果	安全で安心して利用できる憩いの場を提供することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、安全で安心して利用できる憩いの場を提供するため、適切に公園を維持管理する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-2 快適な生活環境を支える『頼もしさ』をつくる
	①-2-3 良好な生活を支える環境を守る

事務事業名	みなとまち海浜公園管理事業			決算書 掲載ページ	394
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,223		9,423	0	800
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,423
目 的	みなとまち海浜公園の維持管理を行うことで、安全で安心して利用できる憩いの場を提供する。				
取組内容・実績	みなとまち海浜公園の維持管理をシルバー人材センター等に委託し、清掃や除草、施設の保守等を行った。				
成 果	安全で安心して利用できる憩いの場を提供することができた。				
課題・今後の方向性	引き続き、安全で安心して利用できる憩いの場を提供するため、適切に公園を維持管理する必要がある。				

事務事業名	都市公園整備事業			決算書 掲載ページ	396
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	04	公園管理費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	113,600		100,760	0	12,840
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	35,308		33,600	0	31,852
目 的	都市公園施設を計画的に改築更新することにより、利用者の安全性の確保と利便性の向上を図る。				
取組内容・実績	赤坂山公園の再整備工事、駅前公園ほか1か所の遊具改修工事、番神御野立公園ほか3か所の施設改修工事を実施した。また、駅前公園ほか23か所の点検を実施した。さらに、番神御野立公園の法面崩落対策工事を232㎡実施した。				
成 果	「柏崎市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に改築更新を行い、公園施設の安全性確保と利便性向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	都市公園施設は、建設後40年を経過し、老朽化が進んでいる施設もあるため、今後も計画的な施設の維持修繕、改築更新を行う必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-4 豊かな環境を守る『頼もしさ』をつくる
	①-4-3 美しい自然を守る

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-1『柏崎らしい』個性をはぐくむ
	⑤-1-1 柏崎の魅力を高め、良さを伝える

事務事業名	柏崎・夢の森公園施設管理費			決算書 掲載ページ	396
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	06	柏崎・夢の森公園事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	66,971		65,596	0	1,375
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	50,412	15,184
目 的	柏崎・夢の森公園の維持管理を行うことで、安全で安心して利用できる憩いの場を提供する。				
取組内容・実績	環境学校プログラムや各種イベントの実施及び市民協働による雑木林の再生などの里山環境の復元や動植物の保全管理を実施した。				
成 果	指定管理者制度の導入により、施設の維持管理、市民との協働による里山の復元などの取組を強化することができた。				
課題・今後の方向性	安心して利用できる環境学校プログラムを検討し、来園者数の増加及び参加者の環境意識の向上を図る。				

事務事業名	中心市街地活性化推進費			決算書 掲載ページ	398
款	08	土木費	会 計	一般会計	
項	05	都市計画費	担 当	都市計画課	
目	07	中心市街地活性化推進費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,824		6,688	8,455	681
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,000		0	0	4,688
目 的	コンパクトなまちづくりを進め、将来にわたって持続可能なまちを目指す。旧市役所庁舎跡地などの大規模公有地を活用し、中心市街地の活性化と魅力づくりを推進する。				
取組内容・実績	持続可能でコンパクトな都市を目指すため、立地適正化計画を策定し、旧庁舎跡地の活用方法となる中央地区コミュニティセンターと屋根付き多目的広場の整備について、事業方式を決定した。				
成 果	立地適正化計画を策定し、将来にわたる持続可能なコンパクトなまちづくりを推進した。また、中心市街地の活性化と魅力づくりのために旧庁舎跡地の利活用方策の検討を進め、事業方式を決定した。				
課題・今後の方向性	立地適正化計画に基づき、持続可能でコンパクトなまちづくりを推進する必要がある。中心市街地のにぎわいを創出し、魅力を高めるために、旧庁舎跡地の利活用について、行政と民間業者で連携を図り、事業を進める。				

## 9 款 消防費

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消防団員研修費			決算書 掲載ページ	406
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,248		7,539	0	8,709
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,539
目 的	各種の訓練・研修に参加することで、知識及び技術の向上を図り、地域の安全・安心に貢献している消防団員に対し、費用弁償を支給する。				
取組内容・実績	訓練、演習などに参加した消防団員延べ3,705人に費用弁償として、手当を支払った。また、消防学校等の研修に参加した13人の消防団員に費用弁償を支払った。				
成 果	研修を受講することで、知識の向上を図ることができた。また、災害時などに消防団員が出勤することで地域の安全・安心に貢献できた。				
課題・今後の方向性	今後も地域の安全安心に貢献するために、消防団員に対する訓練・研修を続ける必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	分団活動費			決算書 掲載ページ	408
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	02	非常備消防費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	10,667		8,916	0	1,751
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	220		0	0	8,696
目 的	柏崎市消防団を構成する団本部・ラッパ隊・女性消防隊・学生消防隊・方面隊・分団などが、それぞれの立場で独自の防火広報活動などを行うことにより、地域の安全・安心に貢献する。				
取組内容・実績	柏崎市消防団を構成する団本部・ラッパ隊・女性消防隊・学生消防隊・方面隊・分団などが、それぞれの立場で独自の防火広報活動などを行った。				
成 果	独自の防火広報活動などを行うことにより、地域の安全・安心に貢献できた。				
課題・今後の方向性	今後も、それぞれが独自の防火広報活動を通じて地域の安全・安心に貢献するため、支援を継続する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消防機械器具整備事業			決算書 掲載ページ	410
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,600		3,444	0	156
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,444
目 的	災害にいつでも対応できるよう、老朽化した機械器具を更新する。また、不足している機械器具を整備することにより、市民の安全・安心に寄与する。				
取組内容・実績	背負式簡易消火用具20基、ホースブリッジ8組などの資機材を配備した。また、消防用ホース50本を更新した。				
成 果	資機材を配備することにより、消防団が災害に対応できる体制を整備することができた。				
課題・今後の方向性	背負式簡易消火用具など全分団に配備が終わっていない資機材を順次配備していく必要がある。				

事務事業名	防火水槽整備事業			決算書 掲載ページ	410
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	19,856		19,819	0	37
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		18,800	0	1,019
目 的	水道管の敷設脆弱な地区を含め、地震時に対応可能な耐震性の貯水槽を計画的に設置することにより住民に安心感を与えるとともに、消防団を含めた消防機関の強固な火災防御体制を構築する。				
取組内容・実績	40㎡の耐震防火水槽1基を新設（松波二丁目）した。このほか、ボーリング調査を1か所（鯨波二丁目）、防火水槽の修繕を4か所（大字両田尻ほか）実施した。				
成 果	耐震型防火水槽を設置することにより、大規模災害における火災発生時、水道管の破裂等による消火栓使用不能時に、住民を火災被害から保護することが可能になった。				
課題・今後の方向性	今後、住宅が密集していない地域等であっても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	消火栓整備事業			決算書 掲載ページ	410
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	22,000		20,051	0	1,949
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		12,200	0	7,851
目 的	消火栓を計画的に設置して維持管理することにより、住民に安心感を与えるとともに強固な火災防御体制を構築する。				
取組内容・実績	消火栓2基を新設(大字加納及び大字本条)した。また、消火栓改良を13か所(新橋ほか)、修繕を35か所(田塚三丁目ほか)実施した。				
成 果	「消防力の整備指針」及び「消防水利の基準」に基づき、消防水利が不足している箇所へ消火栓を設置することにより、住民に安心感を与えるとともに、強固な火災防御体制の整備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	今後、住宅が密集していない地域等であっても、消防水利を整備し、地域の実情に応じた適正な水利を配置していく必要がある。				

事務事業名	常備消防施設整備事業			決算書 掲載ページ	410
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	消防総務課	
目	03	消防施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	79,054		78,958	0	96
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		58,300	4,146	16,512
目 的	災害対策拠点施設を整備することにより、消防力を充実させ、多様化する住民のニーズに対応できる体制を構築する。				
取組内容・実績	経年劣化した高機能消防指令センター機器の主要装備である音声系装置を更新した。また、塩害により腐食した聖ヶ鼻無線基地局の建屋外壁を修理した。				
成 果	高機能消防指令センター機器の音声系装置を更新して、119番通報の受付から出場指令まで迅速、的確に処理し、災害対応・現場消防活動支援などを安定的かつ確実に行うことができた。また、聖ヶ鼻無線基地局の外壁を修理し、施設の維持管理ができた。				
課題・今後の方向性	既存の施設や装備の老朽化が進み、順次更新が必要となっており、計画的に進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	防災訓練費			決算書 掲載ページ	414
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,201		942	0	259
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	400		0	0	542
目 的	洪水や土砂災害などの災害時の対応や日頃の備えのなど防災活動に関心を持ってもらう。また、地域が主体的に取り組む訓練とし、地域防災力の向上を図る。				
取組内容・実績	西中通・中通地区で「水害対応総合防災訓練」を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小しつつも、災害啓発ブース4団体、住民避難訓練に1,100人が参加した。また、全市一斉地震対応訓練を実施した。一人で行える簡易な訓練であり、学校・保育園及び企業から120団体、14,658人が参加した。いずれも幅広い対象者に訓練を実施することができた。				
成 果	水害対応総合防災訓練は、各地区及び各町内会が訓練計画を自ら作成し、訓練で検証する手法をとった。机上では想定できないことなどに気付くことができ、災害対応の実効性を高めることができた。				
課題・今後の方向性	近年、異常気象により全国で災害が多発していることから、地域防災力の向上は必要不可欠であり、訓練を継続して実施することで地域防災力の向上につなげる必要がある。				

事務事業名	避難所表示看板整備事業			決算書 掲載ページ	414
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,300		1,067	0	233
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,067		0	0	0
目 的	原子力災害時の避難行動を意識することにより、原子力災害時の避難の迅速化を図る。				
取組内容・実績	原子力災害バス避難集会所案内看板を、令和2(2020)年度から令和4(2022)年度までの3年計画に基づき、27か所設置した。				
成 果	原子力災害バス避難集会所案内看板を設置することにより、バス避難集会所の認知度及び原子力防災意識の向上を図ることができた。				
課題・今後の方向性	原子力災害バス避難集会所102か所に案内看板を設置したため、令和4(2022)年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

事務事業名	災害時備蓄品等管理事業			決算書 掲載ページ	414
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	21,121		19,714	0	1,407
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	4,968		0	0	14,746
目 的	災害時、自宅の倒壊又は交通網の遮断などにより、住民及び一時的滞在者が食料品や生活必需品などを調達できなくなることが予想されることから、市民に対して、備蓄の普及啓発を行うとともに、市として、想定避難者数に対する必要最小限の現物備蓄を行う。				
取組内容・実績	災害時備蓄品の賞味期限切れによる一部更新を行った。また、災害時備蓄品分散備蓄のため、防災備蓄倉庫の整備に併せ、一箇所から複数箇所の備蓄倉庫に備蓄品を分散した。				
成 果	災害に備えた備蓄ができたほか、備蓄品を複数箇所に分散することで、初動体制を強化することができた。				
課題・今後の方向性	災害時備蓄品の分散備蓄・集中備蓄の実効性を検証する。また、想定避難者数に対する現物備蓄管理を継続していく。				

事務事業名	原子力防災研修事業			決算書 掲載ページ	416
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,579		2,050	0	1,529
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,050		0	0	0
目 的	消防団、自主防災組織など地域の防災リーダーに対し、放射線、原子力防災の正しい知識の習得と原子力災害時の防災活動の普及啓発を図る。市職員には原子力発電所立地自治体職員としての自覚を再認識することで危機管理体制の強化を図る。				
取組内容・実績	原子力地域防災リーダー研修として消防団（2回・37人）及び学生消防隊員（2回・17人）を対象に開催したほか、採用1年目の市職員を対象とした研修（2回・24人）を実施した。また、原子力防災教職員研修（1回・28人）を開催した。				
成 果	研修を通じて、消防団員、市職員等が放射線や原子力防災に関する知識を習得することで、原子力防災意識の向上を図り、原子力防災体制の強化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	消防団を対象とした地域防災リーダー研修においては、学生消防団を加えて実施し、更なる地域防災力の向上や要配慮者の避難支援体制の整備が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	広域避難対策事業			決算書 掲載ページ	416
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,950		809	0	1,141
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	809		0	0	0
目 的	原子力災害時を想定した住民参加による避難訓練を新潟県と合同で行い、広域避難計画の検証と住民の広域避難の意識向上を図る。				
取組内容・実績	前年度より規模を拡大した住民避難訓練や本部運営訓練を含む新潟県原子力防災訓練を行った。また、個別訓練として冬季訓練を行った。				
成 果	原子力災害時における体制・対応について、関係機関との連携や各自の役割を確認し、対応力の向上を図ることができた。 広域避難の実効性を高めるため、住民避難訓練参加者などにヒアリングを行い、訓練で見えた問題点や今後の課題を明らかにすることができた。				
課題・今後の方向性	様々な想定による訓練を継続的に実施し、広域避難の実効性の向上を図っていく必要がある。また、訓練で明らかになった課題等については、県、関係市町村、国と共有し、協議検討を進める必要がある。				

事務事業名	放射線防護施設整備事業			決算書 掲載ページ	418
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	16,610		15,180	0	1,430
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	15,180		0	0	0
目 的	早期の避難が困難である住民等が一時的に退避する放射線防護施設を整備することで、原子力防災対策の充実・強化を図る。				
取組内容・実績	中通コミュニティセンターに放射線防護施設を整備するための設計を実施した。				
成 果	次年度に放射線防護施設整備工事を行うための設計書を作成することができた。				
課題・今後の方向性	令和5（2023）年度に中通コミュニティセンターに放射線防護施設を整備する。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-1 原子力発電所の安全性向上を追求する

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	原子力災害時避難円滑化モデル実証事業			決算書 掲載ページ	418
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	242,868		235,045	0	7,823
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	235,045		0	0	0
目 的	原子力災害時の住民避難の円滑化に取り組み、原子力防災対策の充実・強化を図る。				
取組内容・実績	PAZ地区の地域情報集積地（コミュニティセンター）4か所において蓄電池及び可搬型LED照明設置工事を行った。また、3年間取り組んだ事業の効果測定・評価を行った。				
成 果	内閣府のモデル事業を取り組むことにより、原子力災害時の避難を円滑にする避難経路上の改善及び交通誘導対策の強化を図ることができた。				
課題・今後の方向性	3か年事業が終了したため、令和4（2022）年度で終了する。				

事務事業名	防災情報通信システム整備事業			決算書 掲載ページ	418
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	54,973		54,016	0	957
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	304	53,712
目 的	緊急告知ラジオを設置することで、災害時などの緊急情報を市民に対し伝達することを目的とする。また、受信状況の改善に関して、速やかに対処する。				
取組内容・実績	緊急告知ラジオや屋外スピーカーの受信状況を改善するため、戸別対策を実施した。また、エリア的な不感地域に対して中継局を増設するため設計委託を行った。				
成 果	戸別対策により、一定の受信レベルに改善することができた。また、中継局5局増設に向け、準備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	令和5（2023）年度に中継局5局の増設に着手する。また、放送の対災害性強化として親局設備の多重化を調査する。				



第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-3 障害があっても、自分らしく暮らせる環境を充実させる

事務事業名	防災情報通信システム施設維持管理費			決算書 掲載ページ	418
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	防災・原子力課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	26,989		24,917	0	2,072
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	19,000		0	652	5,265
目 的	災害時などに緊急情報を市民に対し適切に伝達する。				
取組内容・実績	防災情報通信システムの保守点検を実施した。				
成 果	保守点検の実施により、機器の大きなトラブルはなく、防災情報通信システムを運用することができた。				
課題・今後の方向性	確実な情報伝達を継続していくため、保守点検項目などを見直し、確実な保守点検を継続する必要がある。				

事務事業名	避難行動要支援者名簿整備事業（福祉課）			決算書 掲載ページ	420
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	福祉課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	439		244	0	195
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	244
目 的	平時から自主防災会などの避難支援等関係者と名簿情報を共有し、障がい者等の災害時の迅速な安否確認や避難支援体制を整備する。				
取組内容・実績	避難行動要支援者登録制度の対象者に制度案内を郵送し、同意を得た上で、避難行動要支援者名簿及び個別計画を作成した。また、作成した名簿情報は自主防災会等の避難支援等関係者に提供し、災害発生に備えた。令和5（2023）年3月末現在 登録者数1,343人（未同意者を含む。）				
成 果	災害時の避難支援が必要な方の情報を避難支援関係者と共有し、災害に備えることができた。				
課題・今後の方向性	避難行動要支援者制度の周知に努め、避難支援を要する障がい者等の登録を促し、避難行動要支援者名簿と個別計画の整備を進め、災害に備えていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	①防災・生活・環境～『頼もしさ』をつなぐまちをめざして～
	①-1 市民の生活を守る『頼もしさ』をつくる
	①-1-3 防災や危機管理機能を高める

事務事業名	避難行動要支援者名簿整備事業（介護高齢課）			決算書 掲載ページ	420
款	09	消防費	会 計	一般会計	
項	01	消防費	担 当	介護高齢課	
目	05	災害対策費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,329		5,318	0	11
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,318
目 的	平時から自主防災会などの避難支援等関係者と名簿情報を共有し、災害時の迅速な安否確認や避難支援体制を整備する。				
取組内容・実績	避難行動要支援者登録制度の対象者の方に制度の案内を郵送し、同意を得た上で、避難行動要支援者名簿及び個別計画を作成した。また、作成した名簿情報は自主防災会等の避難支援等関係者に提供し、災害発生に備えた。令和5（2023）年3月末現在登録者数1,635人（未同意者を含む。）				
成 果	災害時の避難支援が必要な方の情報を避難支援等関係者と共有し、災害に備えることができた。				
課題・今後の方向性	避難行動要支援者制度の周知に努め、避難支援を要する高齢者などの登録を促し、避難行動要支援者名簿と個別計画の整備を進め、災害に備えていく必要がある。				

## 10款 教育費

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学区等審議会経費			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	教育総務課	
目	02	教育委員会事務局費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,476		2,924	0	2,552
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	2,924
目 的	教育委員会からの諮問に対して調査や審議を行い、教育委員会に意見を具申する。				
取組内容・実績	教育委員会からの諮問に対して調査や審議を行い、令和4（2022）年10月31日に一次答申を受領した。その後、二次答申に向け審議を行った（審議会委員数20人、任期令和4（2022）年4月1日から2年間）。審議会は18回開催した。内訳は、一次答申の審議が14回、二次答申の審議が4回である。一次答申に向けた他の活動実績は、学校訪問に4回、地域との意見拝聴会（教育委員会主催）に4回、地域との意見交換会（審議会主催）に4回、市長、教育長と地域との意見交換会に2回、市長、教育長による地域への再編説明会に3回それぞれ参加した。また、二次答申に向けては、地域への説明会に6回参加した。				
成 果	令和3（2021）年12月に教育委員会が策定した市立小・中学校学区再編方針のうち、令和6（2024）年に示した小中学校の統合及び学区見直しの諮問について、期限である令和4（2022）年10月31日に学区等審議会から答申を受領することができた。				
課題・今後の方向性	令和8（2026）年に示した小学校の統合（日吉小と中通小、剣野小と鯨波小、米山小）について、学区等審議会から令和5（2023）年12月31日までに答申を提出いただけるよう審議会運営を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	奨学金貸付事業			決算書 掲載ページ	422
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	教育総務課	
目	02	教育委員会事務局費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	42,034		39,624	0	2,410
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	38,760	864
目 的	成績優秀な学生で経済的理由により大学などへの就学が困難な方に対して、奨学金の貸付けを行うことにより、教育の機会均等を図る。				
取組内容・実績	令和4（2022）年度における貸付者総数64人であり、そのうち、13人に新規貸付けした。また、新規貸付者のうち、大学等在学生（編入生含む。）は2人であった。				
成 果	教育の機会均等の向上を図ることができた。また、令和3（2021）年度から他の奨学金制度との併給を可能にしたことや、大学等在学生の申請を認めたことにより、2人の大学等在学生から申請があり、更に幅広く学生への支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	学生が更に利用しやすい制度とするために、返済期間の延長や採用人数の拡大など、社会情勢等に合わせた制度の見直しを行っていく必要がある。				

事務事業名	学校移転事業			決算書 掲載ページ	424
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	教育総務課	
目	02	教育委員会事務局費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,788		5,998	0	2,790
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,998
目 的	東中学校の新校舎完成により、快適で高質の教育環境の整備を図るとともに、地域住民の活動や防災の拠点となる校舎を披露する。				
取組内容・実績	令和5（2023）年2月に東中学校が竣工したことから、同年3月27日に関係者等約100人の参加を得ながら竣工式を開催した。また、同年4月1日に地域の方々に披露するため、内覧会を計画した。				
成 果	快適で安全・安心な教育環境を提供することができた。				
課題・今後の方向性	目的達成のため、令和4（2022）年度で終了する。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	通級指導教室事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	645		541	0	104
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	541
目 的	言葉、聞こえ、発達、コミュニケーション、認知に課題がある児童生徒が、専門的な指導を受けられるよう通級指導教室を配置し、対象児童生徒の就学環境を整備する。				
取組内容・実績	指導に必要な教材や教材研究のための書籍等を購入した。通級指導教室の環境整備を行い、通級指導教室担当者主催の研修会を1回実施した。				
成 果	担当者の資質向上や、教室環境の整備につながり、多様な教育的ニーズのある児童生徒が専門的な指導や支援を受けることができた。				
課題・今後の方向性	通級指導教室を利用する児童生徒は増加しており、利用する児童生徒の教育的ニーズも多様化している。そのため、指導のための環境整備や通級指導教室担当者の研修を引き続き実施する必要がある。				

事務事業名	特別支援学級介助事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	95,430		92,404	0	3,026
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	50,000		0	307	42,097
目 的	特別支援学級介助員を配置し、特別な教育的支援を必要とする児童に対して、身の介助や学習活動を補助することにより、充実した学校生活を送れるよう支援する。				
取組内容・実績	小学校14校に、37人の特別支援学級介助員を配置し、特別支援学級に在籍する児童の教育的ニーズに応じた身辺介助や学習指導を実施した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童が安心して充実した学校生活を送れる体制を確保することができた。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、特別支援学級在籍児童数は、ほぼ横ばいで推移している。介助員の配置は、その学校での特別支援学級在籍児童数の増減と特性を考慮しながら、検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	特別支援教育推進事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,752		6,181	0	571
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	14	6,167
目 的	特別な教育的ニーズのある児童生徒及び就学予定者に対して就学相談を行い、適正な就学に向けた判断を行う。また、通常学級における特別な教育的ニーズのある児童生徒について、要請のあった学校の授業改善や巡回相談などの校内支援を実施する。				
取組内容・実績	特別支援教育会議では、幼児部会・小中部会合わせて、138件の審議を行った。特別支援教育推進嘱託指導主事は、幼児部会を中心に対応した。				
成 果	専門員の丁寧な調査により、就学先判断の保護者理解を得ることができた。特別支援教育推進嘱託指導主事が調査に入ること、専門員の負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	依頼件数の増加、依頼案件の複雑化・多様化に対応できるよう担当者の増員と質の向上を行う必要がある。件数の増加に伴い必要な検査実施など、専門員の負担が増えてきているため、解消する必要がある。また、就学相談のオンライン申請を開始し、保護者が申請しやすい環境を整える。				

事務事業名	キャリア教育推進事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,421		2,780	0	641
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	496	2,284
目 的	各種キャリア教育の実施により、ふるさと柏崎に誇りと愛着をもち、夢と希望に向かってたくましく生き抜く児童生徒を育てる。				
取組内容・実績	キャリア教育講演会やキャリア教育モデル校事業を行った。講演会は、コロナ禍で例年どおりに行うことが困難な状況だったが、32の個人・団体を講師に招いて、職業や生き方の講演を行った。				
成 果	キャリア教育モデル校事業では、外部講師との連携により取組の充実が図られた。キャリア教育講演会では、市内の多様な人々の生き方に触れることができた。				
課題・今後の方向性	キャリア教育モデル校での学びを他の中学校に共有するための情報交換の機会や教職員研修等を工夫する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	学校教育活動推進事業			決算書 掲載ページ	428
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	14,854		14,355	0	499
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	5,174	9,181
目 的	小・中学校と家庭・地域が協働して子どもの健全育成を図る。総合学力調査の結果を指導方針策定に役立てる。学校サポート嘱託指導主事の任用により学校教育活動を支援する。				
取組内容・実績	特色ある教育活動の充実を図るため、全小・中学校に奨励金を交付し、各学校の工夫ある取組の実践が行われた。				
成 果	引き続きコロナ禍で制限の多い1年であったが、各学校が体験活動、キャリア教育、小・中学校と地域が連携した取組などを工夫して実践し、特色ある教育活動を推進することができた。				
課題・今後の方向性	各学校が目指す子ども像を明確にし、今まで以上に工夫した取組を実践する必要がある。また、今後も学校教育活動を支援し、活動方法を工夫しながら、事業を推進する必要がある。				

事務事業名	学力向上推進プロジェクト事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,928		3,782	0	146
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	11	3,771
目 的	学力向上先進校視察により、向上的及び効果的な取組を参考とし、教員自らが授業改善を図るための支援を行う。				
取組内容・実績	学力向上推進員を1人任用し、学校訪問による助言、ICTツールの活用方法の提案等を実施した。また、学力向上先進校の県外視察（7月14日～16日秋田県大館市4人参加、7月1日東京都杉並区教育委員会2人参加）を実施し、9月6日に市内小・中学校を対象として視察報告会を実施した。				
成 果	学力向上推進員によるICTツールの活用方法の提案や、よい実践事例紹介の発信は、授業力及びICTスキル向上へつながった。また、多くの学校が、他県の先進的な取組を後期の授業に役立てたり、自校の研究に取り込んだりすることができた。				
課題・今後の方向性	全国学力・学習状況調査の過去問題の具体的ないかし方に関する研修や、教科・学年を絞った学力向上研修も必要であるため、小・中学校ともに、国語、算数・数学の授業力を高める研修を充実させていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	英語教育推進事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	30,095		27,838	0	2,257
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	10,995	16,843
目 的	A L T (外国語指導助手)を配置し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図り、グローバル社会で活躍する人材を育てる。				
取組内容・実績	常勤5人、非常勤1人のA L Tを配置し、小・中学校の全クラスで月2回以上、外国語活動やチームティーチング授業を行った。				
成 果	A L Tとの様々な活動を通して、児童生徒のコミュニケーション能力向上や異文化理解を深めることができた。				
課題・今後の方向性	小学校の外国語指導が少しずつ軌道に乗ってきたところではあるが、英語専科教員やA L Tとの連携を更に深める必要がある。				

事務事業名	指導補助事業			決算書 掲載ページ	430
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	03	義務教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	122,046		118,084	0	3,962
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,129		0	25,380	90,575
目 的	指導補助員を配置し、通常学級で支援を必要とする児童生徒に対して、学習指導や生徒指導を行う。また、日本語指導を必要とする児童生徒の就学体制を整備する。さらに、中学校に部活動指導員を配置し、指導の充実と教職員の負担軽減を図る。				
取組内容・実績	小・中学校26校に45人の指導補助員を配置し、学習指導や生徒指導の充実に向けた支援を行った。 小・中学校5校に、3人の日本語指導員を配置し、外国にルーツをもつ児童の日本語指導に向けた支援を行った。 中学校8校に10人の部活動指導員を配置し、部活動の充実に向けた支援を行った。				
成 果	指導補助員の配置により、授業のねらいの達成に結びつき細やかな支援を行い、児童生徒一人一人の能力を伸ばす教育を推進することができた。また、対人関係の構築が苦手の児童生徒への個別の指導・支援を充実させることができた。 日本語指導員の配置により、日本語指導や就学支援を充実させることができた。 部活動指導員の配置により、教員の負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	特別な教育的ニーズに応じた指導・支援のために、指導補助員を必要とする場面が増加している。 日本語指導員は、今後も必要に応じた配置が必要である。 部活動指導員は、今後も継続的に関われる人材の確保に努める必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	科学技術教育事業			決算書 掲載ページ	432
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	01	教育総務費	担 当	学校教育課	
目	04	教育センター費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,246		7,707	0	539
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,604	6,103
目 的	理科担当教員の指導力向上、児童生徒の適切な科学概念の形成及び地域の科学技術教育振興を図る。				
取組内容・実績	教職員の理科、生活科、総合、環境教育等の専門研修・相談支援のため研修会を42回実施し、252人が参加した。 科学教育振興として科学作品展、科学研究発表会、科学のえんま市2022等の事業を14回実施し、延べ1,578人が参加した。 科学教育支援として、学校等の要請研修(63回・1,871人)、教材機器等貸出し(112件)、理科教育相談支援(348件)を実施した。				
成 果	研修会参加者自己評価の結果は、「研修内容が分かりやすいか」「教材の提案は妥当か」「指導にいかしたいか」とも100%肯定的な評価であった。				
課題・今後の方向性	児童生徒がタブレットを活用し、個別最適化した深い学びの実現に向けた研修を設けていく必要がある。また、教育センター作成のデジタル教材の活用が進まないことから、広報するとともに研修内容に組み入れる必要がある。				

事務事業名	学校管理運営費			決算書 掲載ページ	436
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	340,566		321,804	0	18,762
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	7,018		0	47,533	267,253
目 的	教育活動が安定的かつ円滑に行われるように小学校の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				
取組内容・実績	学校における教育活動が円滑に行われるよう、施設の維持管理を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、国の補助金を活用の上、衛生管理用品(アルコール消毒液、ペーパータオルなど)を購入し、消毒作業員(73人)を配置した。さらに、校舎の戸締まり業務を行うため、日直業務員を5校(柏崎、比角、枇杷島、新道、田尻)に配置した。				
成 果	施設の維持管理により、教育活動が安定的かつ円滑に行うことができた。また、保健衛生用品を確保し、消毒作業員を配置したことにより、校内における集団感染の予防に努めることができた。さらに、日直業務員を配置したことにより、教職員の負担軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	施設の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				



第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	67,756		56,443	0	11,313
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	56,443
目 的	遠距離通学地区の児童に対して通学支援を行うことで、円滑な義務教育を実施する。				
取組内容・実績	遠距離通学の児童468人に対し、通学支援としてスクールバスの運行や通学定期券の支給、通学費の補助を行った。また、スクールバスを登下校のほか、校外学習等の移動手段として利用した。スクールバスの校外利用申請の受付及び運行手配業務を運行委託事業者に委託した。				
成 果	学校から提出されたスクールバスの運行計画に基づき、運行ルートの再編を行うことにより、遠距離通学の児童の負担軽減が図られた。また、スクールバス校外利用申請受付業務を運行委託事業者に委託し、業務の効率化を図った。				
課題・今後の方向性	児童の安全な通学支援を行うために、適正な運行管理を行うとともに、車両を良好な状態で運行するため、老朽化した車両を計画的に更新する必要がある。また、学校の意見を聞きながら児童が通学しやすい環境を整備する必要がある。				

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	129,641		129,640	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	129,640
目 的	児童の教育ICT環境を整備し、学習環境の充実を図る。				
取組内容・実績	教務室、教室等の情報環境の整備及び情報機器の保守管理を外部委託し、効率的に実施した。なお、契約期間は平成30(2018)年4月1日から令和5(2023)年3月31日までのため、債務負担行為を設定し、令和5(2023)年3月に令和5(2023)年4月1日から5年間の契約を締結した。				
成 果	学校教育におけるICTの促進及び校務の効率化が図られた。また、GIGAスクール構想を推進するため、引き続き、ICT支援室を設置し、児童及び教職員が情報機器を有効に活用する支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	ICTを活用した情報教育の更なる促進のため、必要な情報機器等の活用方法や支援策をICT連絡会議で検討する必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	一般教材整備費（学校教育課）			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,491		9,489	0	2
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	9,489
目 的	配信型デジタル教科書の活用により、児童・教職員のICT活用能力の向上を図り、「分かる授業づくり」を目指す。また、インターネットを通じた授業や課題提示等により、家庭での学習を充実させ、学力向上につなげる。				
取組内容・実績	小学校に、国語・算数（全学年）、社会・地図（5・6年）、理科（3～6年）のデジタル教科書を整備した。 GIGAスクール構想の導入に伴い、インターネットを通じて遠隔授業や課題提示等を行うために、著作権法が規定する授業目的公共送信の補償金を支払った。				
成 果	デジタル教科書の整備を行い、小学校での活用を進めたため、視聴覚からの情報を得やすくなり、みんなで一つの事象に注目できるなど、児童の学びが一層深まった。感染症禍でも遠隔授業の実施が可能となり、児童一人一人の学びを保障することができた。				
課題・今後の方向性	研修内容の充実やデジタル教科書を有効活用するための教員への指導を進めてきたが、デジタル教科書活用に学校差や教員差が見られる。より一層の活用を図り、児童の学びの深まりにつなげる必要がある。				

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	438
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 （千円単位）	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,943		32,116	0	6,827
決算額の財源内訳 （千円単位）	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	36		0	155	31,925
目 的	経済的理由で就学が困難な児童に対し就学援助費を支給することで、就学環境を保障し義務教育を円滑に実施する。				
取組内容・実績	要保護18人、準要保護367人、計385人の児童の保護者に就学援助費を支給した。				
成 果	就学援助費を支給し、学用品費等の費用を援助したことで、義務教育を円滑に行うことに貢献した。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、在籍児童数に占める認定者の割合は、ほぼ変わりなく、今後も継続して事業を進める必要がある。また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。さらに、オンライン申請を開始し、保護者が申請しやすい環境を整える。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,222		5,340	0	1,882
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,633		0	0	2,707
目 的	特別支援学級等に在籍する児童の就学環境を保障するため、学用品等の費用の一部を助成する。また、適正な就学の確保と特別支援教育の振興を図る。				
取組内容・実績	特別支援学級等に在籍する児童133人の保護者に、小学校の必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を支給した。また、児童58人の保護者に他校の通級指導教室へ通う際の交通費の一部を支給した。				
成 果	特別支援学級に在籍する児童や他校の通級指導教室へ通う児童の保護者の経済的な負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	小学校の在籍児童数は年々減少しているが、特別支援学級在籍児童数は、ほぼ横ばいで推移している。今後も特別支援学級等に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。また、オンライン申請を開始し、保護者が申請しやすい環境を整える。				

事務事業名	学校施設長寿命化事業			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	継続費通次繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	475,194		389,611	0	85,583
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	83,781		301,800	0	4,030
目 的	学校施設の長寿命化を図ることで、安全で快適な教育環境を整備する。				
取組内容・実績	榎原小学校大規模改修・校舎棟増築工事のⅡ期工事で、校舎棟と体育館棟の改修を行った。				
成 果	老朽化部分の改修工事により施設を長寿命化し、安全で快適な教育環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、適正な規模での学校配置や財政負担の平準化も考慮し、老朽化した学校施設を計画的に改修等を行っていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	小学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	513,029		275,889	228,500	8,640
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	54,461		189,900	0	31,528
目 的	施設の整備を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全確保と教育環境の向上を目指す。				
取組内容・実績	柏崎小学校の屋上防水改修工事及び中学校舎棟の外壁改修工事を行った。				
成 果	施設の改修により、児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	老朽化により、早急な改修を要する施設が増加していることから、児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

事務事業名	小学校グラウンド補修事業			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	125,000		96,378	0	28,622
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	17,146		79,100	0	132
目 的	経年劣化したグラウンドの排水・表面舗装などの機能回復や運動設備の改修により、屋外教育環境の改善を図る。				
取組内容・実績	半田小学校の経年劣化したグラウンドの排水機能向上及びグラウンド周囲の法面保護等の改修を行った。				
成 果	グラウンドの改修により、安全・安心な屋外教育環境を整備することができた。				
課題・今後の方向性	経年劣化により早急な改修を必要とする施設が増加していることから、児童の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	荒浜小学校校舎棟等改築事業			決算書 掲載ページ	440
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	02	小学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	539,990		92,407	447,090	493
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		64,300	0	28,107
目 的	安全で優れた学習環境及び地域の交流・防災拠点機能を有する施設を整備するため、老朽化が進んでいる既存校舎棟を建て替える。				
取組内容・実績	老朽化した校舎を改築するため、基本設計に基づき実施設計を行った。また、設計に必要な敷地の測量を実施した。				
成 果	老朽化した校舎の改築事業を進め、安全・安心で、かつ快適で高質な教育環境を整備するとともに、適正規模の学校施設となるよう計画的に改築の準備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	令和5（2023）年度からの校舎棟改築工事を進めるとともに、既存校舎解体工事やグラウンド改修工事の設計等を計画的に行っていく必要がある。				

事務事業名	学校管理運営費			決算書 掲載ページ	442
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	277,200		263,349	1,925	11,926
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,875		0	46,495	213,979
目 的	教育活動が安定的かつ円滑に行われるように小学校の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				
取組内容・実績	学校における教育活動が円滑に行われるよう、施設の維持管理を行った。また、新型コロナウイルス感染症対策として、国の補助金を活用の上、衛生管理用品（アルコール消毒液、ペーパータオルなど）を購入し、消毒作業員（42人）を配置した。さらに、校舎の戸締まり業務を行うため、日直業務員を5校（第一、第三、鏡が沖、松浜、東）に配置した。				
成 果	施設の維持管理により、教育活動を安定的かつ円滑に行うことができた。また、保健衛生用品を確保し、消毒作業員を配置したことにより、校内における集団感染の予防に努めることができた。さらに、日直業務員を配置したことにより、教職員の負担軽減が図られた。				
課題・今後の方向性	施設の維持管理を行い、教育環境の充実を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	通学支援事業			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	01	学校管理費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	47,793		43,419	0	4,374
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	816		0	0	42,603
目 的	遠距離通学地区の生徒に対して通学支援を行うことで、円滑な義務教育を実施する。				
取組内容・実績	遠距離通学の生徒143人に対し、通学支援としてスクールバスの運行や通学定期券の支給、通学費の補助を行った。また、スクールバスを登下校のほか、校外学習等の移動手段として利用した。さらに、スクールバスの校外利用申請の受付及び運行手配業務を運行委託事業者に委託した。				
成 果	学校から提出されたスクールバスの運行計画に基づき、運行ルートの再編を行うことにより、遠距離通学の生徒の負担軽減を図ることができた。また、スクールバス校外利用申請受付業務を運行委託事業者に委託し、業務の効率化を図った。				
課題・今後の方向性	生徒の安全な通学支援を行うために、適正な運行管理を行うとともに、車両を良好な状態で運行するため、老朽化した車両を計画的に更新する必要がある。また、学校の意見を聞きながら生徒が通学しやすい環境を整備する必要がある。				

事務事業名	一般教材整備費（学校教育課）			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,723		3,708	0	15
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,708
目 的	配信型デジタル教科書の活用により、生徒・教職員のICT活用能力の向上を図り、「分かる授業づくり」を目指す。また、インターネットを通じた授業や課題提示等により、家庭での学習を充実させ、学力向上につなげる。				
取組内容・実績	中学校に、国語・社会・数学・理科・英語（全学年）のデジタル教科書を整備した。GIGAスクール構想の導入に伴い、インターネットを通じて遠隔授業や課題提示等を行うために、著作権法が規定する授業目的公共送信の補償金を支払った。				
成 果	デジタル教科書の整備を行い、中学校での活用を進めたため、視聴覚からの情報を得やすくなり、みんなで一つの事象に注目できるなど、生徒の学びが一層深まった。感染症禍でも遠隔授業の実施が可能となり、生徒一人一人の学びを保障することができた。				
課題・今後の方向性	研修内容の充実やデジタル教科書を有効活用するための教員への指導を進めてきたが、デジタル教科書活用に学校差や教員差が見られる。より一層の活用を図り、生徒の学びの深まりにつなげる必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	情報機器管理費			決算書 掲載ページ	444
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	71,303		71,302	0	1
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	71,302
目 的	生徒の教育ICT環境を整備し、学習環境の充実を図る。				
取組内容・実績	教務室、教室等の情報環境の整備及び情報機器の保守管理を外部委託し、効率的に実施した。なお、契約期間は、平成30（2018）年4月1日から令和5（2023）年3月31日までのため、債務負担行為を設定し、令和5（2023）年3月に令和5（2023）年4月1日から5年間の契約を締結した。				
成 果	学校教育におけるICTの促進及び校務の効率化が図られた。また、GIGAスクール構想を推進するため、引き続き、ICT支援室を設置し、生徒及び教職員が情報機器を有効に活用する支援を行うことができた。				
課題・今後の方向性	ICTを活用した情報教育の更なる促進のため、必要な情報機器等の活用方法や支援策をICT連絡会議で検討する必要がある。				

事務事業名	就学援助費			決算書 掲載ページ	446
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	43,285		40,678	0	2,607
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	87		0	117	40,474
目 的	経済的理由で就学が困難な生徒に対し就学援助費を支給することで、就学環境を保障し義務教育を円滑に実施する。				
取組内容・実績	要保護10人、準要保護263人、計273人の生徒の保護者に就学援助費を支給した。				
成 果	就学援助費を支給し、学用品費等の費用を援助したことで、義務教育を円滑に行うことに貢献した。				
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は年々減少しているが、在籍生徒数に占める認定者の割合は、ほぼ変わりなく、今後も継続して事業を進める必要がある。また、学校と連携しながら、保護者への制度周知を徹底していく必要がある。さらに、オンライン申請を開始し、保護者が申請しやすい環境を整える。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

事務事業名	就学奨励費			決算書 掲載ページ	446
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	4,920		3,932	0	988
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,987		0	0	1,945
目 的	特別支援学級等に在籍する生徒の就学環境を保障するため、学用品等の費用の一部を助成する。また、適正な就学の確保と特別支援教育の振興を図る。				
取組内容・実績	特別支援学級等に在籍する生徒56人の保護者に、中学校の必要経費（学用品費、学校給食費等）の一部を支給した。また、生徒8人の保護者に他校の通級指導教室へ通う際の交通費の一部を支給した。				
成 果	特別支援学級に在籍する生徒や他校の通級指導教室へ通う生徒の保護者の経済的な負担を軽減することができた。				
課題・今後の方向性	中学校の在籍生徒数は年々減少しているが、特別支援学級に在籍生徒数は、ほぼ横ばいで推移している。今後も特別支援学級等に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減し、就学環境を保障する必要がある。また、オンライン申請を開始し、保護者が申請しやすい環境を整える。				

事務事業名	心の教室相談員事業			決算書 掲載ページ	446
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	学校教育課	
目	02	教育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,633		955	0	678
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	955
目 的	心の教室相談員の配置を通して、悩みやストレスを抱える生徒が相談しやすい、環境をつくり、生徒が安心して学校生活を送れるようにする。				
取組内容・実績	学校の実態に応じたよりきめ細やかな相談支援業務を実施した。生徒の悩み軽減や自己肯定感の向上につながるよう、校内での何気ない場面での声掛けや、相談対応を丁寧に行った。				
成 果	生徒との関わり（声掛け等）は延べ477件、個々に相談した教育相談件数は137件であり、前年度より増加した。生徒が安心して過ごせる環境づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	相談内容が多様であり、学校と連携した対応がより求められ、相談員の確保も課題である。今後も相談しやすい環境の整備を継続して行う必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	中学校施設整備事業			決算書 掲載ページ	448
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	105,474		11,774	93,700	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	11,774
目 的	施設の整備を適切に行うことにより、学校施設利用者の安全確保と教育環境の向上を目指す。				
取組内容・実績	自転車通学が開始された鏡が沖中学校において、駐輪場を追加整備した。				
成 果	施設整備により、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境を向上することができた。				
課題・今後の方向性	老朽化により、早急な改修を要する施設が増加していることから、生徒の安全・安心を確保し、良好かつ快適な教育環境の整備を継続して進めていく必要がある。				

事務事業名	東中学校改築事業			決算書 掲載ページ	448
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	03	中学校費	担 当	教育総務課	
目	03	学校建設費	現年度・繰越の別	現年度予算・継続費繰越予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,540,068		2,384,740	689,997	465,331
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	763,904		1,429,100	0	191,736
目 的	安全で優れた学習環境及び地域の交流・防災拠点機能を有する施設を整備するため、老朽化が進んでいる校舎棟及び体育館を建て替える。				
取組内容・実績	改築工事のⅡ期工事とともに、地中熱利用設備と太陽光発電設備の設置工事及び工事監理を実施した。また、グラウンド整備の設計を行った。				
成 果	老朽化した校舎と体育館の改築工事を進め、安全・安心で、かつ、快適で高質な教育環境を整備するとともに、適正規模の学校施設となるよう計画的に改築事業の準備を進めることができた。				
課題・今後の方向性	令和5（2023）年度及び令和6（2024）年度に行う既存校舎・体育館の解体工事、グラウンド整備工事を計画的に行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-2 家庭・地域の教育力を高め、共助社会を形成する

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			決算書 掲載ページ	448
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	子育て支援課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,436		1,166	0	270
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	352		0	0	814
目 的	放課後の安全・安心な居場所を提供し、地域の方々とともに、子どもたちの安全と健全育成を図る。				
取組内容・実績	県立こども自然王国を活用し、地域の方々の協力を得て、子どもたちとともに学習やスポーツ、文化活動等の取組を行った。年間活動日数197日、延べ1,676人が利用した。				
成 果	地域住民がボランティアで活動を支援したほか、地域に働きかけて地域ぐるみで子どもたちを育てようという雰囲気を広げたことにより、子どもたちが安全・安心に居心地良く過ごすことができた。				
課題・今後の方向性	現在は、放課後児童クラブがない高柳地区のみの開設となっているが、小学校統合に伴い、放課後等の子どもの居場所づくりについて地域との協議の場が必要である。				

事務事業名	市民大学運営事業			決算書 掲載ページ	450
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,067		716	0	351
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	309	407
目 的	市民が学ぶ喜び・楽しみから心の豊かさや生きがいを見いだし、自己実現や豊かな人生を送ることにつなげる。				
取組内容・実績	地元大学や地域の人材と連携して13講座(延べ32回)を開催し、延べ554人が受講した。				
成 果	市内2大学と連携し多岐にわたる分野の講座を開設し、市民が学ぶ喜び・楽しみから心の豊かさや生きがいを見い出す機会とすることができた。				
課題・今後の方向性	より多くの方々に学習機会を提供するため、主に20代から40代までをターゲットにした魅力ある講座を引き続き検討していく必要がある。あわせて、周知方法を工夫していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-2 地域の人・もの・資源を生かして若者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

事務事業名	地域学校協働活動推進事業			決算書 掲載ページ	450
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,900		2,407	0	1,493
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,603		0	0	804
目 的	学校と地域との連携・協働を促進し、地域の教育力向上を図る。				
取組内容・実績	全小中学校で、地域学校協働活動推進事業を行った。また、「地域と学校の連携・協働について～柏崎ステップアップ学びプランとの関連から～」についての講義・演習を実施し、地域コーディネーター21人・学校担当者29人の計50人が受講した。				
成 果	講義の受講とグループ討議により、学校と地域の課題を整理した上で、共に地域づくりに関わる活動に取り組むことで、地域ぐるみでの子どもの育成を図ることができた。				
課題・今後の方向性	学校や地域の課題を整理、共有することで地域の人材を効果的に結び付けながら、地域ぐるみで継続して教育活動を支援していく必要がある。				

事務事業名	市美術展覧会費			決算書 掲載ページ	454
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,074		1,827	0	247
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	419	1,408
目 的	市民の創作活動の成果を発表する機会を提供するとともに、市民の美術への関心を高める。				
取組内容・実績	中学生から出展できるよう募集要項を見直し、若い世代が芸術活動に対する興味関心を持つきっかけをつくることができた。				
成 果	出展者数は237人で、前年度より18人増となった。このうち募集要項を見直し、新たに出展対象となった中学生の出展者は7人であった。また、来場者は3,116人となり、前年度より416人の増となった。				
課題・今後の方向性	市展運営委員の交代により、新たな視点を取り入れ、様々な年齢層に興味関心を持ってもらう必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-2 市民の主体的な文化活動を支援する

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	文化振興支援事業			決算書 掲載ページ	454
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	01	社会教育総務費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,218		1,653	0	1,565
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	1,653
目 的	市民一人一人が文化芸術を身近に感じ、親しむことのできる魅力あるまちづくりに寄与する。				
取組内容・実績	文化会館アルフォーレの劇場広場を活用して野外おんがく堂を開催し、2,268人が入場した。また、古典フェスティバルでは、各種企画のほか狂言ワークショップを開催し、1,760人が入場した。				
成 果	野外おんがく堂は、主演者と観客双方から高評価を受け、音楽を通じた文化振興や地域の賑わいを創出した。古典フェスティバルは、「綾子舞アルフォーレ公演」や「立川志の輔独演会」等の企画を実施し、コロナ禍で入場制限を行いつつも多くの市民が伝統芸能に触れる機会とすることができた。				
課題・今後の方向性	市民の創作意欲を向上させる取組として、単発イベントを開催するだけでなく、若者の積極的な活動を促進する取組が必要である。				

事務事業名	綾子舞保存振興事業			決算書 掲載ページ	458
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,224		3,051	0	173
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	3,051
目 的	綾子舞を鑑賞する機会を広く市民に提供し、その保存伝承活動を充実させる。				
取組内容・実績	綾子舞の保存振興活動を支援することを目的として、「柏崎市綾子舞保存振興会」に対して補助金を交付した。				
成 果	柏崎市綾子舞保存振興会に補助金を交付することで、保存伝承活動が円滑に進められ、市民から綾子舞の認識を深めてもらうことができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化が進む中、後継者育成を図るために今後も柏崎市綾子舞保存振興会に対して支援を継続していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	埋蔵文化財調査費			決算書 掲載ページ	460
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	02	文化財保護費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	19,257		16,315	0	2,942
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	53	16,262
目 的	埋蔵文化財の調査を行う。				
取組内容・実績	非常勤職員等9人を雇用し、埋蔵文化財調査や資料整理を円滑に行うことができた。				
成 果	円滑な埋蔵文化財調査を実施することができた。				
課題・今後の方向性	今後も継続して埋蔵文化財調査を実施する必要がある。				

事務事業名	公民館講座運営事業			決算書 掲載ページ	464
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	文化・生涯学習課	
目	03	公民館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,661		2,082	0	579
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	1,199	883
目 的	市民の学習意欲の向上、興味関心の目覚めや発展を促す講座を開講し、「学ぶ喜び」を享受し、豊かな人生を構築する生涯学習の推進を図る。				
取組内容・実績	シニア世代対象のシニアコース（延べ788人が受講）、全年齢対象のエイジレスコース（延べ659人が受講）、小学生対象の子ども向けコース（延べ192人が受講）を設け、講座を開講した。				
成 果	各世代のニーズに合わせ、交流を通じて生きがいや学ぶ楽しさを見い出す学習機会を提供することができた。				
課題・今後の方向性	より多くの市民に学習機会を提供するため、引き続き講座内容や周知方法を工夫し、魅力ある講座にしていく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-1 知徳体のバランスの取れた教育を進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐくむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

事務事業名	図書館サービス事業			決算書 掲載ページ	466
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	56,963		56,305	0	658
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	274	56,031
目 的	図書館利用者が快適に資料を利用できる環境整備を図る。				
取組内容・実績	図書館の利用環境の整備に取り組み、本館で98,585人に、298,665点の資料を貸し出した。入館者は239,516人だった。また、学校読書支援員5人が小学校20校を巡回し、読書支援を行った。				
成 果	レファレンス対応やテーマに沿った資料展示により、引き続き、図書館を利用する方の生涯学習を支援することができた。学校読書支援員の小学校巡回により、学校図書館の整備や読書支援を充実させることができた。				
課題・今後の方向性	より幅広く多くの方からの図書館利用を促進するため、読書環境の充実を継続し、積極的に情報を発信する必要がある。また、学校読書支援では、中学校図書室の現状を把握し、環境整備の必要性を検討する必要がある。				

事務事業名	図書館施設整備事業			決算書 掲載ページ	468
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	図書館	
目	04	図書館費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	33,938		30,646	0	3,292
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	20,000		0	0	10,646
目 的	図書館施設の機能維持と利用者の快適性を確保する。				
取組内容・実績	図書館の受電設備の改修、非常放送設備の入替えを行った。				
成 果	老朽化していた受電設備と非常放送設備を入れ替えたことにより、快適な施設環境を安定して提供することが可能となった。				
課題・今後の方向性	今後も安全に快適に図書館を利用することができるよう、老朽化した施設や設備を計画的に整備していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-2 学びを通じて地域の『たくましさ』をはぐむ
	④-2-1 学びの機会を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

事務事業名	プラネタリウム管理運営費			決算書 掲載ページ	472
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	6,039		5,727	0	312
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	532	5,195
目 的	プラネタリウム投影や星空観察会などを通じ、星空や宇宙を中心とした市民の学習、自然科学への興味関心を育み、博物館への来館につなげる。				
取組内容・実績	投影回数は301回（定期投影161回、特別投影・イベント投影（団体利用等を含む。）84回、小中学校学習投影56回） 利用者数は6,403人				
成 果	定期投影や学習投影での利用に加え、イベント投影では子ども向けの「キッズプラネタリウム」、夏季イベント投影「行こう！人気の惑星ツアー」、天文講演会「アルマ天文台×プラネタリウム」など、幅広い世代のニーズに対応した投影を行い好評を得た。				
課題・今後の方向性	定期投影を機軸に、多様なイベント投影を行うことで満足度の高い投影を継続する。また、イベント投影利用者のリピーター化のほか、学習投影を通じて児童生徒の天文への興味を高め、家族での再来館の機会を創出する。				

事務事業名	WEBミュージアム推進事業			決算書 掲載ページ	472
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	05	博物館等費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,225		5,031	0	194
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	5,031
目 的	文化的価値のある所蔵品等をデジタルアーカイブ化及びデータベース化し、インターネット上で公開することにより、市民の生涯学習や地域学習の活動場面の一助とする。				
取組内容・実績	大人向け及び子ども向けのWEBミュージアムの運用を継続するとともに、大人向けのWEBミュージアムでは新たに5件の文化財等を高精細画像で撮影し、公開した。				
成 果	大人向けWEBミュージアムでは、画像の撮影、公開により、文化財等のデジタル化を推進した。また、子ども向けのWEBミュージアムは、引き続き地域の文化、風土を学習できるようにした。				
課題・今後の方向性	文化財等の高精細画像撮影費が高額であることから、単年度における新規更新件数は限定的であり、計画的に継続する必要がある。また、GIGAスクール事業により児童生徒のインターネット利用環境が充実したことから、学校でのWEBミュージアム活用促進に取り組む必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	⑤魅力・文化～『柏崎らしさ』をつなぐまちをめざして～
	⑤-3 歴史や文化の息づく『柏崎らしさ』をつくる
	⑤-3-1 歴史・文化を保全・活用し、継承する

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいがづくりを進める

事務事業名	飯塚邸管理運営費			決算書 掲載ページ	474
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	04	社会教育費	担 当	博物館	
目	07	飯塚邸費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	7,809	7,536	0	273	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	1,171	6,365	
目 的	柏崎市史跡として文化財に指定されている施設の維持保存を図りながら、市民や観光客が気軽に利用できる文化施設として管理運営を行う。				
取組内容・実績	委託先である地元町内会が施設の維持管理や来館者対応を適切に行うとともに、「新緑の秋幸苑とつるし雛かざり」等のイベントを行い、2,828人が利用した。				
成 果	地元町内会と市が連携し、適切な施設管理を行いながらイベントを実施したことにより、市民や観光客が気軽に利用できる文化施設として管理運営を行うことができた。				
課題・今後の方向性	今後も地元町内会と連携を図りながら、適切な施設管理を継続していく必要がある。				

事務事業名	市民スポーツ大会経費			決算書 掲載ページ	480
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	2,808	2,507	0	301	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	0	0	7	2,500	
目 的	市民誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境づくりとスポーツに親しむきっかけづくりを推進することで、柏崎市民の健康づくり・生きがいがづくり・地域づくりに結び付ける。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら各種行事を実施した。スポーツ推進委員会を中心に地区体育協会やこども自然王国と連携し、スポーツを楽しむ場、親しむ場を提供できた。 ・スポーツレクリエーショングランプリ5大会295人参加 ・市民スキー・スノーボード教室54人参加 ・ウォーキングイベント地区体協9地区参加				
成 果	感染症対策を講じながらスポーツ振興を進めることができた。令和3(2021)年度に初めて開催した県の健康アプリを活用したウォーキングイベントも、継続して開催することができた。				
課題・今後の方向性	スポーツイベントの開催において、熱中症・感染症対策を含めて適正に企画・運営をしていく必要がある。スポーツ推進員、地区体育協会などと連携し、多くの市民が参加し楽しむことができるイベントや運動習慣につながる企画等を検討して実施していく必要がある。				



第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいがづくりを進める

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	市町村生涯スポーツ振興事業			決算書 掲載ページ	482
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	1,103		459	0	644
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	48		0	0	411
目 的	各中学校の運動部活動の状況に応じて部活動外部指導者を派遣し、競技力向上と地域社会との連携を促進する。				
取組内容・実績	学校運動部活動指導者（外部指導者）派遣事業でその指導報酬などを負担し、4校5人の指導員を派遣した。				
成 果	中学校の運動部活動に対して、競技の説明・練習方法等を的確かつ丁寧に指導できる外部指導者を派遣し、運動部活動の活動支援を行い、専門的な指導が困難な教職員の負担軽減につながった。				
課題・今後の方向性	学校部活動の地域化（令和8（2026）年度から休日の地域移行実現）に向けて、（一財）柏崎市スポーツ協会と連携し、指導者を確保するとともに、その資質を向上する必要がある。				

事務事業名	スポーツ事業支援経費			決算書 掲載ページ	482
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	25,385		24,610	0	775
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	4,000	20,610
目 的	スポーツ振興や地域交流、経済波及効果の増大を図る。				
取組内容・実績	（一財）柏崎市スポーツ協会、各地区体育協会、マラソン大会等の活動を支援するため、運営費の補助を行った。また、（一財）柏崎市スポーツ協会に市民スポーツ・行事に関する事業を委託したことにより、選手強化、公認スポーツ指導者制度の確立、市民スポーツ・行事の円滑な運営が図れた。				
成 果	新規の取組として、フィジカルリテラシーの習得を目的として、プレゴールデンエイジ（3～8歳）及びゴールデンエイジ（9～12歳）の保護者に対して啓発のチラシを配布するとともに、「親子で運動あそび教室体験会」や「子どもスポーツ能力測定会」を開催した。また、働く世代への健康啓発事業「かしわざき健康サポートカンパニー」を立ち上げた。新規の取組を行いながら、市民スポーツ活動の活性化や生涯スポーツの普及・振興を図ることができた。				
課題・今後の方向性	少子高齢化が加速する中、時代や市民ニーズに合ったスポーツの推進、地域のスポーツ活動をけん引するために、関係団体、関係機関との連携が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-1 スポーツによる地域づくりや生きがいづくりを進める

事務事業名	選手強化事業			決算書 掲載ページ	482
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	5,000		5,000	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,591		0	0	3,409
目 的	県の強化指定を受ける3競技種目(水球・陸上・ハンドボール)において、小・中・高のジュニア世代選手の強化を図る。				
取組内容・実績	県の強化指定を受けている3競技(水球、陸上、ハンドボール)団体に対し、地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金を交付した。				
成 果	水球は、全日本ジュニア(U17)水球競技選手権でブルボンウォーターポロクラブ柏崎(男子)がベスト8、女子がベスト3位に入賞した。陸上は、全国高等学校総合体育大会で新潟産業大学附属高校の男子が200mで3位に入賞した。ハンドボールは、全国高等学校総合体育大会に柏崎工業高校の男子と柏崎高校の女子が出場した。				
課題・今後の方向性	県の強化指定を受けている3競技の活動支援、選手強化を継続し、ジュニア世代の競技力の維持・向上を図る必要がある。				

事務事業名	水球のまち柏崎推進事業			決算書 掲載ページ	482
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	水球のまち推進室	
目	02	体育振興費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	8,523		8,378	0	145
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	608		0	0	7,770
目 的	「水球のまち柏崎」の世界的地位を高めることにより、各種水球大会・合宿の誘致促進を図り、水球をきっかけとした国際交流の推進と市民の国際感覚の醸成を図る。				
取組内容・実績	柏崎水球事業実行委員会に負担金を支出し、各種大会の開催・合宿誘致事業、ホストタウン事業、水球を支え育むまちづくり事業を行い、水球によるまちづくりを推進した。また、(一社)ウォーターポロクラブ柏崎に対して社会人水球クラブ強化補助金を交付し、活動を支援することで選手強化につなげた。 ・第5回えちごんカップ7チーム参加・第6回新潟レディースカップ11チーム参加・シンガポール水球代表チーム合宿(女子19人、男子20人)・韓国水球クラブチーム合宿12人・早稲田大学水球部合宿15人・海で水球in柏崎の開催(柏崎港400人観戦、笠島漁港7チーム参加)・水球日本代表として国際大会に出場した選手4選手				
成 果	シンガポール男女代表チームが合宿を行った際にアジアリーグのプレ大会を開催し、アジア圏での合宿地としての知名度の向上につなげることができた。水球を支え育むまちづくり事業として行った海で水球in柏崎は、笠島漁港において、初めて参加して楽しむ水球(観光商品)として開催し、交流人口の拡大につなげることができた。ホストタウン事業として、海の花火大会に駐日セルビア共和国特命全権大使代理及び日本セルビア協会役員を招待、水球高校男子の練習見学と意見交換を実施し、交流を深めることができた。				
課題・今後の方向性	今後は、ホストタウン事業で得た世界水球界からの信頼をアジア圏の水球の聖地化につなげるとともに、水球を通じた国際交流を一般市民(特に児童生徒)に拡大させ、市民の国際感覚や語学力の向上につなげることが重要である。また、水球の競技力向上を図るため、負担・支援の継続が必要である。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-3 スポーツを通じた『たくましさ』をはぐくむ
	④-3-2 全国や世界に通用する競技者を育てる

事務事業名	体育施設管理運営経費			決算書 掲載ページ	484
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	390,935		390,316	0	619
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	7	390,309
目 的	指定管理者が管理する16体育施設と直営2施設からなる柏崎市の全体育施設を、安全・快適に利用していただくため適切な維持管理を行う。				
取組内容・実績	体育施設の指定管理に関する基本協定に基づく業務を指定管理者が適切に行った。また、スポーツハウスや県立柏崎アクアパークを修繕した。なお、年間利用者数は15施設で471,072人であった。				
成 果	利用者が安全・安心に施設を利用できるように、新型コロナウイルス感染症対策を講じて運営管理をした。スポーツハウスではPCBの入替え、県立柏崎アクアパークでは男子浴室天井の一部を修繕し、施設を適切に管理することができた。				
課題・今後の方向性	コロナ禍で落ち込んだ施設利用者の回復や時代のニーズに合致した運営の工夫が必要である。また、老朽化した体育施設の活用方法や施設の統廃合なども検討が必要である。				

事務事業名	陸上競技場整備事業			決算書 掲載ページ	484
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	スポーツ振興課	
目	03	体育施設費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,800		3,520	0	280
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,793		0	0	1,727
目 的	陸上競技場の観客スタンドを耐震化する。				
取組内容・実績	令和3(2021)年度に観客スタンドの耐震診断を行い、耐震改修工事が必要と診断されたため、耐震改修設計を実施した。				
成 果	利用者の安全性を確保するため、次年度の観客スタンド耐震改修工事に向けた設定をすることができた。				
課題・今後の方向性	安全で快適な施設を利用者に提供するため、適切な維持管理を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

事務事業名	給食業務運営経費			決算書 掲載ページ	486
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	315,750		312,364	0	3,386
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	312,364
目 的	安全・安心な学校給食を提供する。衛生検査及び設備の入替えなどを行い、衛生事故や異物混入を未然に防止する。				
取組内容・実績	中央地区学校給食共同調理場、東部地区学校給食共同調理場、中央地区第二学校給食共同調理場及び北部地区学校給食共同調理場の給食業務を株式会社メフォスに委託した。また、西部地区学校給食共同調理場、南部地区学校給食共同調理場、枇杷島地区学校給食共同調理場及び西山地区学校給食共同調理場の給食業務をシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社に委託することにより、市内小中学校へ安全・安心な学校給食を提供した。衛生検査及び設備の入替えなどを行い、衛生事故や異物混入を未然に防止した。				
成 果	維持管理運営に必要な業務を専門業者に委託することにより、安全・安心な学校給食が提供できた。				
課題・今後の方向性	今後も維持管理運営に必要な業務を専門業者に委託し、安全・安心な学校給食を提供する必要がある。				

事務事業名	給食設備整備事業			決算書 掲載ページ	488
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	繰越明許予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	9,185		7,364	0	1,821
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	7,364
目 的	老朽化した給食配送車は計画的に入れ替え、安全で確実に給食を提供する。				
取組内容・実績	平成10(1998)年製の老朽化(25年経過)した給食配送車を、フロアレベルの低い低床校舎へ給食配送が安全に行えるよう、後部リフト付き車両に入れ替え、安定した運行と安全な労働環境を確保し、安全で確実な給食を提供した。				
成 果	老朽化した給食配送車を計画的に入れ替えたことで、安全で安定した運行により確実に給食提供が行うことができた。				
課題・今後の方向性	老朽化した車両を計画的に入れ替え、安全で安定した運行により、確実に給食提供を行う必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	④教育・スポーツ～『たくましさ』をつなぐまちをめざして～
	④-1 子どもや若者の『たくましさ』をはぐくむ
	④-1-3 教育環境を充実させる

### 13款 諸支出金

第五次総合計画上の 位置付け	⑥自治経営～多様な主体と共創し共育するまちをめざして～
	⑥-3 持続可能な行政力をはぐくむ
	⑥-3-2 健全な財政を堅持する

事務事業名	学校給食費			決算書 掲載ページ	488
款	10	教育費	会 計	一般会計	
項	05	保健体育費	担 当	教育総務課	
目	04	学校給食運営費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	386,362		363,563	0	22,799
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	363,563
目 的	令和4(2022)年度から給食費の徴収を市が行うことで、学校教職員の給食費徴収業務の負担をなくし、安定した事業の継続を図る。				
取組内容・実績	令和4(2022)年度から市内小中学校の児童生徒及び教職員約6,050人分の学校給食費徴収業務を柏崎市が行うことで、学校教職員の給食費徴収業務の負担をなくし、安定した事業を継続した。口座振替可能な金融機関が増えること、口座振替手数料を市が負担することで、保護者の負担を軽減した。				
成 果	給食費の徴収を市が行うことで学校教職員の給食費徴収業務の負担がなくなり、また、安定的に事業を継続することができた。				
課題・今後の方向性	今後も給食費の徴収を市が行うことで、学校教職員の給食費徴収業務等の負担が軽減され、教職員の児童生徒と向き合う時間の増加が期待される。また、公会計で事業を行うことにより、物価上昇に左右されることなく、引き続き事業を安定的に継続していく。				

事務事業名	土地取得費			決算書 掲載ページ	492
款	13	諸支出金	会 計	一般会計	
項	01	普通財産取得費	担 当	財政管理課	
目	01	土地取得費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	470,000		469,659	0	341
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	0		0	0	469,659
目 的	国道8号柏崎バイパスに隣接する旧鯨波公園用地の利活用を進める。				
取組内容・実績	柏崎市土地開発公社から、旧鯨波公園用地として代行買収を委託した土地31,512㎡の買戻しを実施した。				
成 果	国道8号柏崎バイパスの供用開始により、需要が高まる当該地を取得したことで、産業団地などへの利活用について検討を開始することができた。				
課題・今後の方向性	取得した土地の用地測量や土壌汚染調査を実施し、産業団地などの利活用に当たり支障となる条件を明確にしていく必要がある。				

## 【国民健康保険事業特別会計事業勘定】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-1『健やかな』心と体をはぐくむ
	③-1-1心と体の健康づくりを進める

事務事業名	特定健康診査等実施事業			決算書 掲載ページ	519
款	04	保健事業費	会 計	国民健康保険事業 特別会計 事業勘定	
項	01	保健事業費	担 当	健康推進課	
目	01	保健衛生普及費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	74,107		62,389	0	11,718
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	30,404		0	3,527	28,458
目 的	国民健康保険被保険者を対象に、特定健診と特定保健指導を行うことでメタボリックシンドロームを始めとする生活習慣病予防を図る。また、健診の結果から必要な人に糖負荷試験を行い、糖尿病の早期発見・予防を図る。				
取組内容・実績	国民健康保険加入者の40歳から74歳までを対象に、55回の集団健診と医療機関での個別健診を実施し、5,748人が受診した。特定保健指導は、積極的支援対象者82人、動機付け支援対象者290人に初回面接を実施した。健診の結果から糖負荷試験を133人が受けた。				
成 果	受診者の健康管理及び生活習慣の改善、健康増進と医療費抑制に役立てることができた。				
課題・今後の方向性	特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上に向けて、効果的な普及啓発を図る必要がある。				

## 【介護保険特別会計】

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	訪問型サービス事業			決算書 掲載ページ	596
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	38,204		32,447	0	5,757
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	18,649		0	13,798	0
目 的	要支援認定を受けた方等に対して、訪問型の介護予防サービスを行う。				
取組内容・実績	年間延べ2,198件の利用があり、従前相当サービスの実人数68人、サービスAの実人数204人に対して支援を実施した。くわえて、市内2団体によるサービス提供を支援した。				
成 果	対象者の心身状態及び生活環境による多様なニーズに即したサービスを提供することができた。				
課題・今後の方向性	生活支援コーディネーターと連携し、住民主体のサービスの創出を推進していく必要がある。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	通所型サービス事業			決算書 掲載ページ	596
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	92,379		84,475	0	7,904
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	48,357		0	36,118	0
目 的	要支援認定を受けた方等に対して、通所型の介護予防サービスを行う。				
取組内容・実績	年間延べ4,427件の利用があり、従前相当サービスの実人数74人、サービスAの実人数451人に対して支援を実施した。				
成 果	対象者の心身状態及び生活環境による多様なニーズに即したサービスを提供することができた。				
課題・今後の方向性	生活支援コーディネーターと連携し、住民主体のサービスの創出を目指す。				

事務事業名	介護予防教室事業			決算書 掲載ページ	598
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,160		12,900	0	2,260
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	6,098		0	6,802	0
目 的	要支援・要介護状態になることを防ぐために、体力や筋力を向上させ、活発で自立した生活を送ることを目指す。				
取組内容・実績	パワーリハビリを3会場にて計731回実施し、実人数504人、延べ20,129人が利用した。また、西山いきいき教室を44回実施し、実人数24人、延べ576人が利用した。				
成 果	運動プログラムの実施により、高齢者の加齢に伴う運動機能の低下を防ぐことができた。				
課題・今後の方向性	コツコツ貯筋体操センターのパワーリハビリ会場において、コツコツ貯筋体操との連携を強化し、更なる介護予防事業の推進を図る。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	コツコツ貯筋体操センター事業			決算書 掲載ページ	598
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	23,245		20,664	0	2,581
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	11,423		0	9,241	0
目 的	高齢者等が、コツコツ貯筋体操を始めとする介護予防活動を通じて、活発でいきいきとした生活を送ることを支援し、要介護状態になることや、要介護状態が悪化することを予防する。				
取組内容・実績	新型コロナウイルス感染症の予防のため人数制限を行い、コツコツ貯筋体操を中心に実施し、実人数253人、延べ10,165人の利用があった。				
成 果	新たに77人がコツコツ貯筋体操センターを利用した。そのうち地域の会場に参加していない人は69人であり、体操人口の増加につながった。				
課題・今後の方向性	健康講座等、体操以外のメニューの実施や、土日の試行実施等により、新規利用者の増加を目指す。コツコツ貯筋体操センターと地域会場との連携を図り、更に高齢者が気軽に体操にアクセスできる環境の整備を進める。				

事務事業名	地域活動支援事業			決算書 掲載ページ	598
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	7,196		6,129	0	1,067
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	2,361		0	3,768	0
目 的	コツコツ貯筋体操等を通じて、体を動かすことの楽しさを実感し、足腰の筋力と体力を向上することにより、転倒しにくい体をつくり、自立した生活を送ることを目指す。また、参加者同士が主体的に取り組む体操の場づくりと健康な地域づくりを目指す。				
取組内容・実績	令和5(2023)年3月末で地域のコツコツ貯筋体操は186会場となり、実人数2,656人、延べ87,188人が参加した。また、体操普及の担い手である高齢者運動サポーターを新たに27人養成し、登録者が289人となった。そのうち252人の高齢者運動サポーターが年間9,334回活動した。さらに、3年ぶりにコツコツ貯筋体操まつりを実施し、490人が参加した。				
成 果	新たに5会場が立ち上がり、延べ参加人数が増加した。3年ぶりにコツコツ貯筋体操まつりを開催し、多くの方に体操を周知できた。また、会場訪問などを実施し、市民が主体的に取り組む体操の場を支援するとともに、体操を通じて支え合う地域づくりに寄与した。				
課題・今後の方向性	会場支援を継続するとともに、新規の会場や参加者の模索、高齢者運動サポーターの育成にも取り組む。				



第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	くらしのサポートセンター事業			決算書 掲載ページ	598
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	02	一般介護予防事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	一般介護予防事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	71,200		70,798	0	402
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	39,231		0	31,567	0
目 的	高齢者が住み慣れた地域や家庭で暮らし続けていけるよう、地域住民が主体となり介護予防のための活動を行う。また、住民ボランティア等を育成し、地域での支え合い体制を構築する。				
取組内容・実績	市内22地区の活動に対して補助金を支出し、実人数820人、延べ22,034人の利用があった。また、10地区ではボランティアによる助け合い活動等を実施した。				
成 果	交流や体操等を行う通いの場の支援により、閉じこもりや要介護状態の悪化を防ぐことができた。また、共に支え合う地域づくりへの意識が高まった。				
課題・今後の方向性	令和5(2023)年度新規設立予定の地区について、支援を行っていく。また、未実施地区においても、機会を捉えて事業実施の働きかけを行っていく。さらに、地区の中でくらしのサポートセンターが担う役割と、地区に合った居場所づくりや支え合い活動の形を引き続き検討していく。				

事務事業名	包括的支援事業			決算書 掲載ページ	600
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	01	包括的支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	141,329		141,116	0	213
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	79,708		0	61,408	0
目 的	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため、包括的支援事業を地域において一体的に実施する役割を担う中核機関として、地域包括支援センターを設置する。				
取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合相談件数 延べ4,902件</li> <li>・権利擁護事業 延べ677件</li> <li>・高齢者虐待への対応 延べ166件</li> <li>・介護支援専門員への支援 延べ1,253件</li> </ul>				
成 果	高齢者やその家族の相談への対応や高齢者の権利を守るための取組、地域の専門職への支援及びネットワーク構築を行うことにより、地域住民の保健医療の向上と福祉の増進を図ることができた。				
課題・今後の方向性	高齢者やその家族等の相談内容が多様化、複雑化しており、今後も医療・介護及び地域の関係者と連携し、継続して支援を行う。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	成年後見制度利用支援事業			決算書 掲載ページ	602
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	02	任意事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,969		3,061	0	908
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,768		0	1,293	0
目 的	認知症等により、判断力が十分でない高齢者が、成年後見制度を利用することについて支援を行い、高齢者の権利を保護する。				
取組内容・実績	成年後見人等へ支払う報酬に係る費用及び審判等に係る費用に対する助成を16件行い、市長申立ての申請を2件行った。また、成年後見制度の活用支援をした(延べ161件、実人数61人)。				
成 果	成年後見制度の活用支援により、判断力が不十分な方の財産と権利保護に寄与した。				
課題・今後の方向性	成年後見制度は、今後も利用者の増加が見込まれる。権利擁護センターと連携し、成年後見制度が必要な方に対して適切な後見人等が選任されるよう支援を行う。				

事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業			決算書 掲載ページ	602
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	03	在宅医療・介護連携推進事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	2,027		1,993	0	34
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,151		0	842	0
目 的	医療と介護が必要となっても、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供することを目指す。				
取組内容・実績	医療・介護専門職の多職種を対象とした研修会を4回開催し、延べ298人が参加した。また、市民講演会には198人が参加した。さらに、在宅医療・介護連携支援センターにおいて50件の相談に対応した。				
成 果	多職種研修会を通じ、医療・介護関係者の顔の見える関係づくりができ始め、医療・介護関係者のネットワークが進展した。市民講演会により、在宅医療やケアについて、自分事として考えるきっかけを提供することができた。				
課題・今後の方向性	医療・介護関係者の連携体制の構築や、市民への働きかけは継続的な取組が必要であるため、引き続き研修会や市民に向けた啓発に取り組んでいく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	生活支援体制整備事業			決算書 掲載ページ	602
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	04	生活支援体制整備事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	15,450		15,077	0	373
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	8,707		0	6,370	0
目 的	協議体（関係者間の連携会議）やくらしのサポートセンターえきまをを設置し、生活圏域を担当する生活支援コーディネーターを配置することにより、生活支援サービスの充実や地域の支え合いの体制づくりを推進する。				
取組内容・実績	くらしのサポートセンターえきまにおいて、延べ4,639人が介護予防や支え合いの活動に取り組んだ。また、生活支援コーディネーターは、支え合い体制推進のため2,699回地域で活動した。				
成 果	生活支援サービスの充実及び地域における支え合い活動の推進により、地域の見守り支援体制の強化や担い手となる高齢者の生きがいの創出を図ることができた。				
課題・今後の方向性	今後も生活支援サービスの充実や地域で支え合う体制づくりを推進していく。				

事務事業名	認知症初期集中支援推進事業			決算書 掲載ページ	604
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	05	認知症総合支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額		決 算 額	繰 越 額	不 用 額
	3,187		3,187	0	0
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金		市 債	そ の 他	一 般 財 源
	1,840		0	1,347	0
目 的	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、認知症の人やその家族に対し、関わりの初期段階で集中的な支援を行うための体制を構築する。				
取組内容・実績	認知症初期集中支援チームが10件の相談に対応し、チーム員（看護師・作業療法士）による初回訪問を6回、継続訪問を15回実施した。				
成 果	チーム員による集中的な支援により、適切な医療受診、介護保険サービスにつながり、支援者の連携が図られ、当事者、家族の負担が軽減された。				
課題・今後の方向性	対象者が適切な医療受診、介護サービスにつながり、家族の負担が軽減するように、地域包括支援センターの職員及び介護支援専門員に事業の周知を行い、事業の活用を進めていく。				

第五次総合計画上の 位置付け	③健康・福祉～『健やかさ』をつなぐまちをめざして～
	③-3 誰もが安心できる『健やかな』暮らしをつくる
	③-3-2 高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

事務事業名	認知症地域支援・ケア向上事業			決算書 掲載ページ	604
款	03	地域支援事業費	会 計	介護保険特別会計	
項	03	包括的支援事業・任意事業費	担 当	介護高齢課	
目	05	認知症総合支援事業費	現年度・繰越の別	現年度予算	
決算の状況 (千円単位)	予 算 額	決 算 額	繰 越 額	不 用 額	
	6,610	6,518	0	92	
決算額の財源内訳 (千円単位)	国県支出金	市 債	そ の 他	一 般 財 源	
	3,764	0	2,754	0	
目 的	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護の連携及び生活支援サービスなどの有機的な連携したネットワークの形成、地域における支援体制の構築、認知症ケアの向上を図るための取組を推進する。				
取組内容・実績	<p>認知症地域支援推進員、認知症サポート医の個別相談のほか、地域における認知症支援体制を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談実件数231件、延べ402件</li> <li>・チームオレンジ（認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対する生活面の支援等を行う取組）の構築に向けステップアップ講座を実施した。</li> </ul>				
成 果	認知症地域支援推進員が個別相談に対し関係者の連携を図ることで、状態に応じた適切なサービスが提供され、家族等の負担軽減につながった。また、ステップアップ講座を実施し、10か所のチームオレンジを設置することができた。				
課題・今後の方向性	チームオレンジの設置を推奨するとともに、既存のチームオレンジに対して認知症地域支援推進員と共に活動支援を行う。また、支援者向けの研修を実施し、認知症に対するケアの質の確保、向上を目指す。				